羽咋市家庭教育情報誌

羽咋市家庭教育推進協議会のあゆみ

未来を拓く心豊かな
羽咋っ子のために

羽咋市家庭教育推進協議会

羽咋市家庭教育推進協議会『40 周年記念誌』

40th ANNIVERSARY 1980-2019

羽咋市家庭教育情報誌

羽咋市家庭教育推進協議会のあゆみ

未来を拓く心豊かな羽咋っ子のために

羽咋市家庭教育推進協議会

４０周年記念誌の発刊にあたり

羽咋市家庭教育推進協議会会長　　**八島　和彦**

昭和５５年に設立された家庭教育推進協議会が、４０周年という節目を迎えました。その歩みを振り返り、活動の歴史の重みや意義に思いをはせ、４０周年の記念誌を発行できることを皆様と喜びたいと存じます。

この協議会は、より健やかな家庭づくりを目指し、市民憲章実践活動の一環として、市民ぐるみで家庭教育の推進を願い設立されました。そして、あいさつ運動の推進、家庭の日の推進、家庭クリーン運動の推進の実践を揚げ、市民の方々の深い理解と協力を得て、学校教育と生涯学習が連携しながら青少年健全育成の一躍を担うこととされています。

その活動方針は、次代を担う子ども達が、健やかにたくましく育つために、また保護者も自信を持って楽しく子育てができるように、きめ細やかな家庭教育支援を行っていくためのものです。

そのため、子ども達の発達段階に応じて、乳幼児部会、児童部会、生徒部会と、家庭の教育力の向上を支援する家庭教育支援部会の４部会からなり、特色ある事業を行っています。一例として、乳幼児部会の「親子ふれあいアルバム」や「子育て標語」、児童・生徒部会の「家族ふれあいカード」や「家族川柳」など、家族の絆を大切にした事業を中心として長年行われてきました。

さて、家庭教育支援の基本は、全ての親の親としての学びや育ちを応援することです。保護者自らが家庭教育の主体であるという意識を持ちつつ、地域を始めとした様々な繋がりの中で、助け合いながら子ども達の育ちを応援していくという考え方に立つことが大切です。つまり、支援する側（行政）、支援される側（親）という一方通行の関係ではなく、一緒になって家庭教育を行っていくという、いわば協働の関係により家庭教育支援に取り組むことです。

そこで、本市では、「学校教育の指導指針」を策定し、「未来を拓く心豊かな羽咋っ子」の育成を目指し、基本目標に「学校・家庭・地域が協働する“子育て共同体”づくり」を掲げました。本協議会としてもその主旨に沿って、学校・家庭・地域と協働しながら推進してまいりました。

そして、家庭教育の充実を図るためには、関係する組織及び団体と連携し、次代を担う子ども達を社会全体で育んでいく意識の醸成を図ると共に、より子育てしやすい環境を整備していかなければなりません。そのためにも、家庭教育の推進事業を今後も継続的かつ計画的に押し進めていきます。

最後に、４０年という長い歴史の中で、教育関係団体並びに多くの市民や保護者の方々のご協力をいただき、本市の家庭教育の基盤が形成されてきました。

令和という新しい時代を迎え、時代とともに様々な課題が生まれますが、家庭教育における不易を大切にしながら、次世代を生きる子ども達に何が大切なのかを見極め、家庭教育を進めていく必要があると考えています。

発刊に関わられた多くの方々に心からお礼を申し上げます。

子育てを支える地域力

乳幼児部会長　　**中屋　信枝**

羽咋市家庭推進協議会が設立されて 40 年間、市民ぐるみで家庭教育の推進を願い長きにわたり活動が継続し受け継がれて、市民の皆様のご理解を得ていることに感謝申し上げます。

40 年ともなれば時代は変わり、育てられ方も文化も変わって、昔はみんな当たり前にしていたことも、今では当たり前ではなくなっています。

少子高齢、核家族化のさらなる進化や、女性の社会進出、ＩＴによる情報化など社会環境の変化が加速し、家族の在り方や親子関係を含めた子どもの成育環境に大きな変化が起こっています。

特に乳幼児期の子どもの育ちには専門機関としての保育園、幼稚園、こども園が担う役割はとても大きく、子どもを取り巻く環境をより良くするために保育園、幼稚園、こども園はもちろん、小学校、地域、保護者がその枠組みを超えて知恵と力を出し合っていく必要があると考えます。

さらに、家庭教育、養育を充実するためには各関係機関が保護者と連携して子どもの育ちを支える視点をもち、子どもの姿や育ちの意味を保護者に丁寧に伝え、保護者と同じ目線で語り合う姿勢や、子どもの愛情や成長を喜び気持ちを共感しあう関係づくりが大切です。また、子育てに不安を感じている保護者が子育てに自信をもち、楽しいと感じることが出来る働きかけや環境が望まれます。

目の前の子どもが将来大人として生きていくとき、どんな生き方をしてほしいのか、どのような社会をつくっていってほしいのか、子どもたちと関わる人たちが考えるべきであり、この時代に子どもが育つことはどうゆうことかを家庭支援として、親子が暮らす地域全体で取り組む必要があります。

そして家庭支援を行うにあたり､子どもと保護者の関係､保護者同士の関係、子どもや保護者と地域の関係を把握し、それらの関係性を高めることが保護者の子育てや子どもの成長を支える大きな力になるように今後も働きかけていくことが大切です。

今後も、新しい世代の子育てに羽咋市家庭教育推進協議会乳幼児部会の活動を通して、各家庭において安定した親子関係が築かれ、保護者の養育力の向上につながることを目指し、常に情報発信していくことが役割と考え努めてまいりたいと思います。

家庭教育の変遷から考える

児童部会長　　**堀田　泰永**

1950 年代頃までは、全国的に第一次産業に従事している人口が多く、親は一生懸命働き、子どもも家事労働等を担っているという時代であり、家庭教育ということはそれほど重視されていませんでした。もっとも、子どもたちも家庭を維持していくための貴重な労働力であったという点では、それ自体が学びの多い家庭教育であったのかもしれません。

家庭教育が叫ばれ始めたのは、1960 年代から 70 年代です。ちょうど私が小中学生だったのがこの時代です。この頃日本は高度経済成長期で、「１億総中流」という言葉が生まれました。サラリーマン世帯が増えたことから、これまでの家業継承から、教育によって自分の将来を決めることに目が向けられるようになりました。また、様々な労働や家事が機械化により省力化され、時間も生まれました。このような時代背景の中、教育にお金と時間をかける家庭が増え、子どもたちに質の高い家庭教育を行っていったのです。当然、高校や大学への進学率も高まっていきました。一方、家庭と地域社会との繋がりも強く、社会全体が子どもたちの規範意識や行動能力を育てるべく学校教育・家庭教育を支えていた時代であったと言えます。

その後、バブル崩壊・リーマンショック等を経て現在の日本社会になります。近年、家庭の教育力低下が指摘されています。しかし、教育力の低下ではなく、家庭を取り巻く社会状況が変化したと考えたほうがよいと思います。そしてその変化要因は、次の３つです。

① 様々な課題を抱えた家庭の顕在化
② 地域のつながりの希薄化並びに地域力の低下
③ 社会全体の生活環境の変化に伴う子どもたちの生活習慣の乱れ

先に述べたそれぞれの時代にも、それぞれの時代の課題があり、その時々の大人達がそれを克服するための家庭教育を行ってきています。

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、乳幼児期からの親子の愛情による絆で結ばれた家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣・生活能力、規範意識等を身につける上で重要な役割を担うものであることは、どの時代も不変です。現代の課題克服に向け、大人達が自信を持ってこの不変の家庭教育を行っていってほしいと思います。

４０周年を迎えて

生徒部会長　　**井村　香澄**

羽咋市家庭教育推進協議会が発足して 40 年を迎えました。家庭教育における課題も時代とともに変遷し、核家族化や小家族化が進み、子育てへの不安感や負担感が取り沙汰される昨今です。そんな中、これまで本協議会が、様々な立場から子育てを考え支援体制を進めてきたことは意義あることと捉えています。改めて、生徒部会が取り組んできた活動の中から二つを取り上げ振り返ります。

まず、近年課題とされる携帯電話やスマートフォンを要因とした様々な課題について、家庭や親子がその問題点に目を向ける一助となるよう市内高校生及び中学生を対象にアンケート調査を実施しました。結果は広く関係機関やご協力いただいた各校へとお返しし、今後ご活用いただけるものと思います。

平成 22 年、石川子ども総合条例で子供の携帯電話の利用制限が謳われ県内に広く呼びかけられました。あれから 10 年近くが経ち、本市の結果からも社会情勢が変わりつつあることを感じます。高校生はもとより中学生でも全体のおよそ 80%以上が自分で使える通信端末を所有するようになり、保護者の意識の変化も読み取れます。今後は、生徒自身が主体的にその利便性と危険性を理解し、内発的に自己管理できる力を養うよう、次なる支援を進めていくことが重要だろうと思います。

もう一つの活動「家族川柳」は、日ごろ口にできない家族への思いを川柳仕立てで表現する毎年恒例の取組です。小・中・高校の年代に応じて、詠まれるテーマも「誕生」「夢」「部活動」「思春期」「入試」など、成長と共に家族が遭遇する『一大事』を素直な言葉で表現し、読み手に感動を与えてくれます。

40 周年の節目に当たり、様々な形でこれらの活動にご賛同いただき、多くのご協力を得られましたことに改めて感謝申し上げます。

家庭教育は子供の自立を支える大切なよりどころです。その最終目的は、自他を大切にし、よりよく生きる力を身につけ成長し続ける一人の大人を育てていくことにあります。

本協議会が、社会の変化に柔軟に対応し、家庭が担うべき責任や周囲が行うべき支援を見つめ直していくこと、そして、予測不能な世の中であればこそ変わらぬ家族の絆があることを踏まえ、今後も羽咋市の家庭教育の推進に寄与されますようご期待申し上げます。

時代が変わっても　変わらないもの

家庭教育支援部会長　　**八島　恵美**

『家庭教育推進協議会』家庭教育支援部会員として、羽咋市の子育て支援に携わりたいと思い６年の月日が過ぎました。

子育て支援に携わりたいと思ったきっかけは、自分自身が子育てに苦しみ、悩んでいたからです。

『家庭教育』一言でいえば“難しい”と感じているのは、私だけでしょうか。

私は、両親・祖父母の愛情いっぱい、何不自由なく育ってきました。自分が育ってきたように、子どもに接してもうまくいくことはありませんでした。

苦悩の子育ての中から、自分自身が子どもから親として成長させられたように思います。

家庭教育とは、すべての教育の出発点であると思います。子どもは、家族との温かい関わりや体験を通して、基本的な生活習慣や生きていくために必要な社会でのマナーなど、多くのことを学び成長していきます。

しかしながら、子どもは家庭の中だけで育つわけではありません。学校や地域の様々な人たちと関わり、見守られながらも成長していきます。

私が育ってきた時代背景と、近年の子どもたちの環境に大きな違いがあります。少子化・核家族化・共働き家庭の増加・情報の氾濫など社会状況が、子どもたちの育ち、家庭における親の子育てに変化をもたらしています。

親の子育て環境変化の中で、地域社会ではなにができるか。

家庭教育支援部会等では、「子育て意識調査」「スマートフォン利用調査」を実施し、昨今の問題点を考えたりしています。家庭教育情報紙には、「子育てヒント」や「家族川柳」「家族ふれあいカード」など、心温まる内容になっています。少しでも多くの保護者の皆様に読んでいただき、子育てのお役に立っていただければと願っています。

私の大好きな絵本「ラヴ・ユー・フォーエバー」（ロバート・マンチ作）

「アイ・ラヴ・ユー いつまでも　アイ・ラヴ・ユー どんなときも　わたしが いきている かぎり　あなたは ずっと わたしのあかちゃん」

お母さんのセリフです。母親は、子どもの成長とともにどんどん年老いていきます。でも生きている限り一生子どもの親である。時代や環境がどんなに変化しても、親子の絆や人として生きていくための本質的なことは、変わらないと思います。

私も、羽咋市の一市民として子育て支援に携わりながら、これからも家庭教育について学んでいきたいと思います。

本協議会の 40 周年と記念誌の発刊を心からお祝い申し上げますとともに、羽咋市の未来を拓く子どもたちの幸せを祈っています。

目　　次

発刊にあたり　　家庭教育推進協議会会長　八島和彦
発刊を祝って　　乳幼児部会長　中屋信枝
児童部会長　堀田泰永
生徒部会長　井村香澄
家庭教育支援部会長　八島恵美

羽咋市市民憲章
羽咋市家庭教育推進協議会　４０周年記念誌の見方

羽咋市家庭教育推進協議会について

羽咋市家庭教育推進協議会　設立趣旨……1
羽咋市家庭教育推進協議会　設置要項……2
羽咋市家庭教育推進協議会　活動方針……4
家庭教育支援事業の概要（組織及び年間の流れ）……5
羽咋市家庭教育推進協議会　運営委員組織……7
羽咋市家庭教育推進協議会　実施事業……8
乳幼児部会実施事業……親子アルバムづくり……9
子育て標語……10
羽咋市ふれあい読書……11
親子で遊ぼう大会……12
はくい福祉まつり「あそぼうコーナー」……13
世界にただ一枚のカレンダー……14
児童部会実施事業……家族ふれあいカード……15
家族川柳作品……16
羽咋市ふれあい読書……17
三行詩……18
生徒部会実施事業……家族ふれあいカード……19
家族川柳作品……20
スマートフォン等利用実態調査（対象：高校生）…21
スマートフォン等利用実態調査（対象：中学生）…22
家庭教育支援部会実施事業……家庭教育情報紙……23
かていきょういく通信……24
子育て意識調査……25
ＣＡＰ講演会……26
家庭教育講演会「ＣＡＰ講演会」……27
過年度の資料……28
歴代部会長・副部会長名簿……35
歴代運営委員・部会員名簿……36
事業内容経過報告……40

アンケート調査結果について

子育て意識調査……55

保護者が家庭教育に関して、どのような「悩みや気がかり」をお持ちかを調査した結果を掲載してあります。

小中学生の保護者を対象に、平成２８年７月実施。

スマートフォン等利用実態調査（対象：高校生）……59

市内の高校に通う生徒たちのスマートフォン等利用実態調査の結果を掲載してあります。

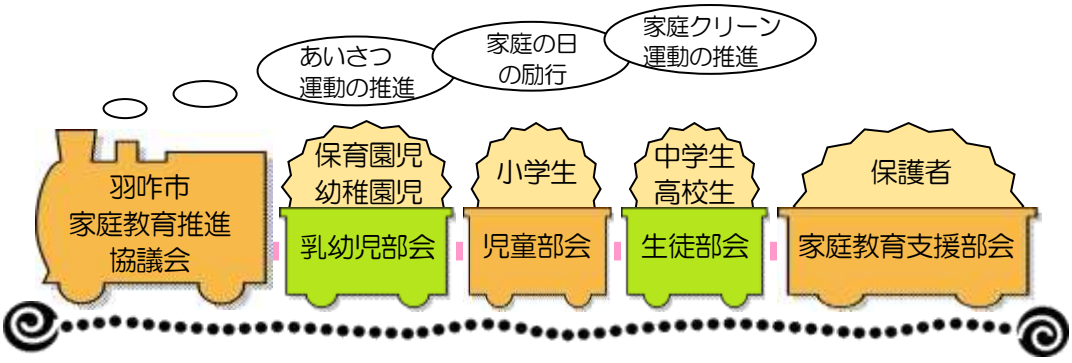
１、２年生対象に、平成３０年７月実施。

スマートフォン等利用実態調査（対象：中学生）……66

市内の中学校に通う生徒たちのスマートフォン等利用実態調査の結果を掲載してあります。

全学年対象に、令和元年７月実施。

編集後記……73



◆市の木　クロマツ
昭和４８年１０月３０日制定

◆市の花　サツキ
昭和４８年１０月３０日制定

◆市の鳥・ハクチョウ
平成２年３月２３日制定

羽　咋　市　市　民　憲　章

やさしい人情の能登に住み　未来にひろがる日本海のように
たくましく生きようとめざす羽咋市民のちかいです

私たちはみんなで　歴史と伝統を重んじ文化豊かな郷土を築きます
私たちはみんなで　恵まれた自然を守り育て環境の美しい郷土を築きます
私たちはみんなで　社会を正しくみつめ責任を果たし助けあう郷土を築きます
私たちはみんなで　家庭を大切にし仕事に励み活気ある郷土を築きます
私たちはみんなで　からだを鍛え教養を高め安全で平和な郷土を築きます

◇市の木・クロマツ　◇市の花・サツキ　◇市の鳥・ハクチョウ

この市民憲章は、昭和４８年１０月羽咋市市制１５周年を記念して制定されました。

当時の青年団体の有志が、1,000 人の市民に面接調査し、その声を集めて起草したものです。

「こんな市民になろう」「こんなまちをつくろう」という市民の希望が、共同のちかいとしてまとめられました。

羽咋市家庭教育推進協議会 40 周年記念誌の見方

羽咋市家庭教育推進協議会について

羽咋市では、昭和５５年６月、家庭教育の推進を願い、家庭教育推進協議会を設立しました。その組織や趣旨並びに年間の事業内容について、お知らせいたします。

なお、事業内容については、子どもの発達段階に合わせて「親子のふれあい」を基本に事業を展開しています。また、保護者を対象に、「関係情報の提供」や「子育て・親育ち講座」などの事業を実施しています。

本誌には、令和元年度までに実施した事業について掲載してありますが、実施年度により事業内容が変わることがあります。

アンケートの結果報告について

「子育て意識調査」については、保護者が家庭教育に関してどのような「悩みや気がかり」をお持ちかを調査した結果を掲載してあります。（平成２８年７月実施）

「スマートフォン等利用実態調査」は、高校生１，２年生を対象に、スマートフォン等の利用の実態を調査したものです。（平成３０年７月実施）

また、比較調査として中学校全学年を対象に、スマートフォン等の利用の実態を調査した結果を掲載してあります。（令和元年７月実施）

羽咋市家庭教育支援チームからのメッセージ

羽咋市家庭教育推進協議会では、子どもたちがすこやかに育つために、保護者の皆様が取り組んできた内容をまとめ、４０周年を記念した、この家庭教育記念誌を作成いたしました。

なお、このたびの情報は書面の都合上抜粋して掲載してありますので、ご了承ください。

これからも保護者の皆様に少しでもお力になれることを願いながら活動を進めてまいりますので、今後ともご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、本事業は、教育機関をはじめ関係団体のご協力を賜りながら実施いたしましたことを申し添えます。

部会長　八島恵美　　副部会長　富田則子

部会員　遠藤千恵美、岡田順子、坂本和美、福田弘美、古屋映子　（五十音順）

羽咋市家庭教育推進協議会について

羽咋市家庭教育推進協議会 設立趣旨
羽咋市家庭教育推進協議会 設置要項
羽咋市家庭教育推進協議会 活動方針
家庭教育支援事業の概要（組織及び年間の流れ）
羽咋市家庭教育推進協議会 運営委員組織
羽咋市家庭教育推進協議会 実施事業

乳幼児部会実施事業‥‥親子アルバムづくり
子育て標語
羽咋市ふれあい読書
親子で遊ぼう大会
はくい福祉まつり「あそぼうコーナー」
世界でただ一枚のカレンダー

児童部会実施事業‥‥‥家族ふれあいカード
家族川柳作品
羽咋市ふれあい読書
三行詩

生徒部会実施事業‥‥‥家族ふれあいカード
家族川柳作品
スマートフォン等利用実態調査（対象：高校生）
スマートフォン等利用実態調査（対象：中学生）

家庭教育支援部会実施事業‥‥‥家庭教育情報紙
かていきょういく通信
子育て意識調査
ＣＡＰ講演会
家庭教育講演会「ＣＡＰ講演会」

過年度の資料
歴代部会長・副部会長名簿
歴代運営委員・部会員名簿
事業内容経過報告

羽咋市家庭教育推進協議会 設立趣旨

昭和５５年６月に、より健やかな家庭づくりをめざし、市民憲章実践活動の一環として、市民ぐるみで家庭教育の推進を願い設立された。なお、**市民憲章の普及実践**について、「豊かな心で、明るく住みよいまちづくり」のため、**以下の三つの実践事項を掲げている。**このことから、家庭教育推進協議会は、市民の方々の深い理解と協力を得て、学校教育課、生涯学習課と連携しながら**青少年健全育成の一翼を担うこととしている。**

なお、羽咋市家庭教育推進協議会は、設置要項により運営されている組織である。

実践事項

１　あいさつ運動の推進

① きちんとあいさつをする子どもにしましょう。

② 子どものよいことを褒め、悪いことを注意しましょう。

２　家庭の日の推進

① 規則正しい生活ができる子どもにしましょう。

② 家庭とふれあいをもつ時間を大切にしましょう。

（社）青少年育成国民会議が、昭和４１年に青少年を取り巻く健全な環境づくりの一環として、全国に実施を呼びかけた。

石川県では、昭和４１年１２月１８日（日）を第一回家庭の日とし、以後、**毎月第３日曜日を「家庭の日」**としています。

３　家庭クリーン運動の推進

羽咋市環境方針基本理念として、市民憲章の中では「恵まれた自然を守り育て、環境の美しい郷土を築くこと」を市民の誓いとしており、私たちは、この豊かで貴重な自然環境の恵みを将来にわたって守り育む責務があります。

市民一人ひとりが、自然環境を守り育むとともに、家庭においても美しい環境づくりを実践することが重要であります。

羽咋市家庭教育推進協議会 設置要項

（目的及び設置）

第１条　市民憲章実践活動の一環として、市民ぐるみで、家庭における教育力の高揚を図り、青少年の健全育成を推進するため、家庭教育推進協議会を設置する。

（名称及び事務局）

第２条　家庭教育推進協議会（以下「この会」という）の名称及び事務局は、次のとおりとする。

名　称　　羽咋市家庭教育推進協議会

事務局　　羽咋市教育委員会生涯学習課内

（業　　務）

第３条　この会は、次の業務を行なう。

１、家庭教育に関する情報の収集、整理及び保存

２、情報の提供と実践事業の推進

３、市民の家庭教育意識の啓発

４、家庭教育に関する相談

５、その他家庭教育に必要な事項

（構　　成）

第４条　この会は、関係行政機関ならびに、その他の団体をもって毎年年度当初に構成する。

（役　　員）

第５条　この会に次の役員を置く。

１、会長１名　副会長２名

２、会長は、教育長をもって充てる。

３、副会長は、運営委員会委員の互選とする。

４、会長は、この会を代表する。

５、副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代表する。

（運営委員会）

第６条　この会の企画、運営について審議するため、運営委員会を置く。

１、運営委員会は、構成団体の代表及び家庭教育支援チーム員並びに学識経験者若干名をもって組織する。

（専門部会）

第７条　この会の実践活動を推進し、各発達段階における家庭教育のあり方の調査、研究並びに事業を推進するため、専門部会を置く。

１、専門部会は、乳幼児部会、児童部会、生徒部会、家庭教育支援部会の４部会とする。

２、専門部会は、この会の構成団体から推薦のあった者及び家庭教育支援チーム員をもって組織する。

３、専門部会には、それぞれ部会長及び副部会長を置くものとする。

（会　　議）

第８条　この会の会議は、運営委員会、合同専門部会、各専門部会とし、会長が召集する。ただし、専門部会は、部会長が召集することができる。

（その他）

第９条この要項に定めるもののほかこの会に関し、必要な事項は会長がこれを定める。

附則　この要項は、昭和５５年６月１日から施行する。

附則　この要項は、昭和５８年４月１日から施行する。

附則　この要項は、平成５年４月１日から施行する。

附則　この要項は、平成８年４月１日から施行する。

附則　この要項は、平成１０年４月１日から施行する。

附則　この要項は、平成２０年４月１日から施行する。

羽咋市家庭教育推進協議会 活動方針

１、　次代を担う子どもたちが、健やかにたくましく育つために、また、保護者も自信をもって楽しく子育てができるように、「家庭教育支援事業」を推進し、きめ細やかな家庭教育支援を行っていきます。

２、　家庭教育は子どもの人間形成に大きな影響を与えるものでありますが、近年この家庭の教育力の低下が問題となっています。

家庭の教育力を向上させるために、平成２０年度から「家庭教育支援チーム」及び「家庭教育支援部会」を設置し、「情報の提供」「学習の機会の提供」などの事業を展開しています。そして、様々な状況下にある保護者に対して、その状況に応じた家庭教育の支援を行っていきます。

さらに、子どもの発達段階にあわせた「親子のふれあい事業」などを通じて、家庭教育の充実を図っていきます。

３、　羽咋市では、「いきいきとひとが輝くまちづくり」を教育目標として掲げています。その方針実現に向け、平成２８年３月には、従来の「羽咋教育ビジョン」を改訂した「学校教育の指導指針」を策定し、「未来を拓く心豊かな羽咋っ子」の育成をめざし、基本目標に「学校・家庭・地域が協働する“子育て共同体”づくり」を掲げました。

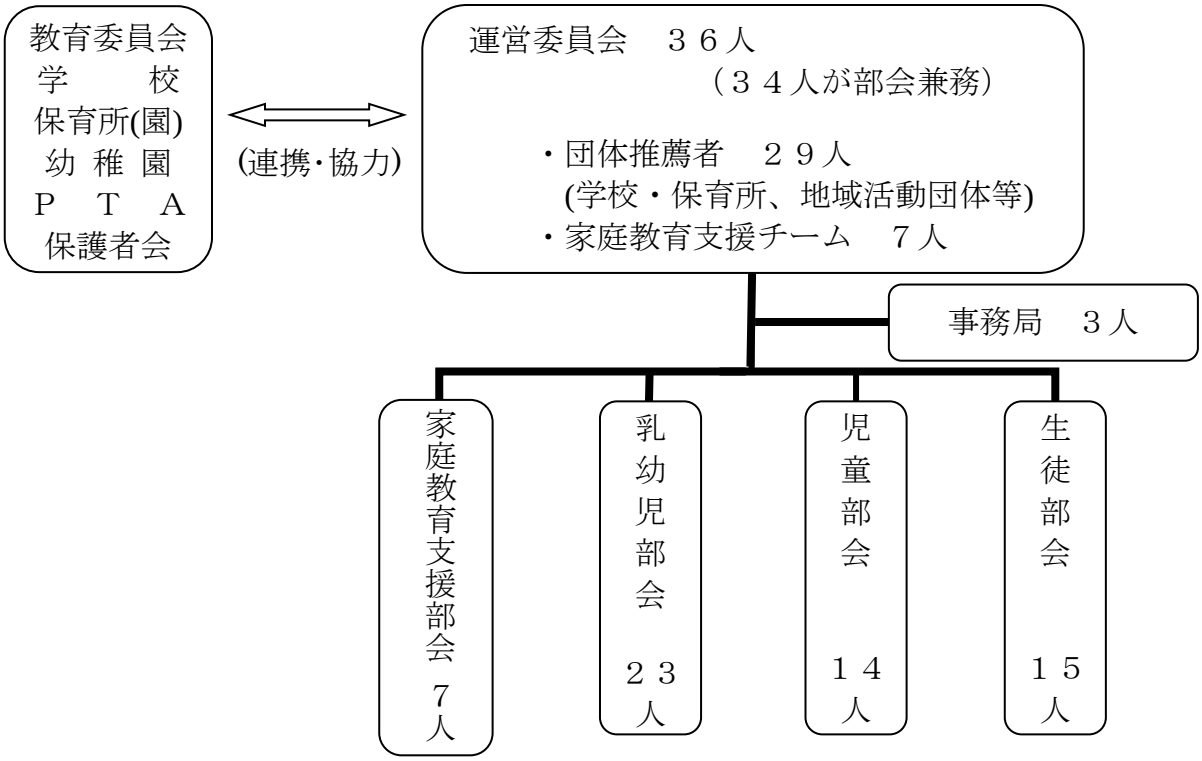
家庭教育推進協議会としても、「未来を拓く心豊かな羽咋っ子」の育成をめざし、学校・家庭・地域と協働し、「学校教育の指導指針」を推進していきます。

４、　家庭教育の充実を図るためには、関係する組織及び団体並びに各界各層と連携し、次代を担う子どもたちを社会全体で育んでいく意識の醸成を図ると共に、より子育てしやすい環境を整備していかなければなりません。

そのために、家庭教育推進事業を継続的かつ計画的に推し進めていきます。

家庭教育支援事業の概要

（１）組織



（２）年間の流れ

企画

家庭教育支援チーム会議の開催

開催回数：３～４回
構成員：子育てサポーターリーダー７人
役　割：家庭教育推進協議会の企画・運営

審議

運営委員会・第１回専門部会の開催

毎年５月中旬

事業の実施

家庭教育支援チーム会議

家庭教育支援チーム

- **乳幼児部会**　部会の開催・事業実施
- **児童部会**　部会の開催・事業実施
- **生徒部会**　部会の開催・事業実施
- **家庭教育支援部会**　部会の開催・事業実施

次年度企画事業の評価と

家庭教育支援チーム会議の開催

年度末開催予定

地域における家庭教育支援基盤形成事業、及び家庭教育支援事業

これまでの「家庭教育支援総合推進事業」「家庭教育総合推進事業」に替わり、平成２０年度は「地域における家庭教育支援基盤形成事業」、平成２１年度から「家庭教育支援事業」を実施してきた。
親や保護者を対象としたきめ細やかな家庭教育の支援を行っている。

	Ｈ１６年度～	Ｈ１９年度～	Ｈ２０年度～	Ｈ２１年度～
	家庭教育支援総合推進事業	家庭教育総合推進事業	地域における家庭教育支援基盤形成事業	家庭教育支援事業

本事業は、子育てサポーターリーダー、保健師、保育士、民生委員等の地域の人材から構成される「家庭教育支援チーム」を設置し、家庭教育に関する情報提供や学習機会のコーディネート等を実施する。

	主な役割	構成	子育てｻﾎﾟｰﾀｰﾘｰﾀﾞｰの主な役割	子育てｻﾎﾟｰﾀｰﾘｰﾀﾞｰの具体的活動
家庭教育支援チーム	・各家庭への求めに応じたきめ細かな情報提供 ・行政や団体等が提供する家庭教育関連の学習機会の提供（ＣＡＰ講演会）	子育てｻﾎﾟｰﾀｰﾘｰﾀﾞｰ、 （保健師、保育士、民生委員等）	・家庭教育支援に関する学習会等の企画立案や実施 ・子育てサポーター等の資質向上（連携促進・情報交換の機会提供等）	・家庭教育推進協議会運営委員会、専門部会（乳幼児部会・児童部会・生徒部会）に分かれ、各発達段階に応じた事業を展開 ・講座や活動の展開。（非行・被害防止講座、ＣＡＰ講演会など） ・現在７名登録

また、羽咋市の家庭教育推進協議会は時代の流れに応じ、専門部会（乳幼児部会・児童部会・生徒部会・家庭教育支援部会等）を編成している。

Ｓ５５年度～	Ｈ１６年度～	Ｈ１８年度～	Ｈ２０年度～
乳幼児部会 児童部会 生徒部会 青年部会	乳幼児部会 児童部会 生徒部会 子育てｻﾎﾟｰﾀｰ部会	乳幼児部会 児童部会 生徒部会	乳幼児部会 児童部会 生徒部会 家庭教育支援部会

家庭教育支援部会は、
・子育てサポーターリーダー、アドバイサー、保健師、保育士などから構成される。
・子育てサポーターリーダーを中心に、各家庭への求めに応じたきめ細かな情報提供、すなわち家庭教育支援部会の活動をＰＲするチラシ作成・配布する。
・子育て・親育ち講座（ＣＡＰ講演会）を開催する。

家庭教育支援部会は、部会の事業のみでない。
構成員は同じであるが、家庭教育支援チームとして、運営委員会のメンバーの一員となり、家庭教育推進協議会の事業を企画・運営していく。
また、家庭教育支援チームの子育てサポーターリーダーが二人ずつ専門部会（乳幼児部会・児童部会・生徒部会）のメンバーともなり、部会や事業内容に対し、実践活動をしていく。

羽咋市家庭教育推進協議会　運営委員組織

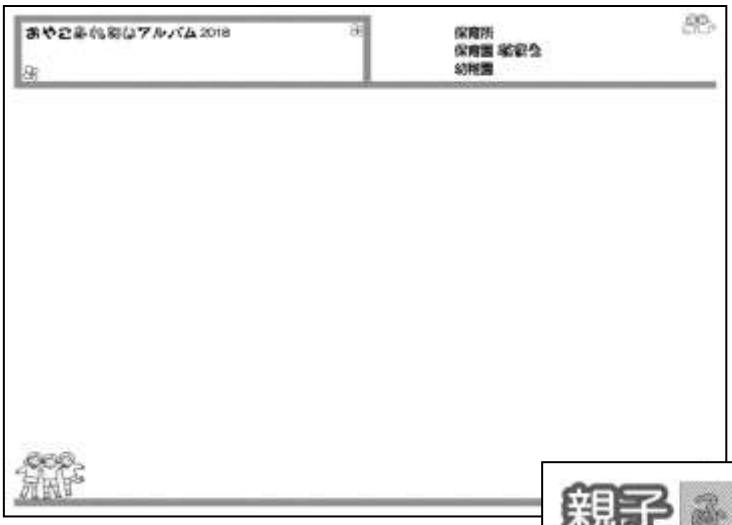
所属団体名	
羽咋市教育委員会	羽咋市子ども会育成会
羽咋市保育部会 （羽咋市保育所保育士会）	羽咋市公民館連絡協議会
羽咋市立粟ノ保保育所	羽咋市町会長連合会
羽咋市立余喜保育所	羽咋市民生委員児童委員協議会
羽咋市立西北台保育所	羽咋市立千里浜児童センター
千里浜保育所	羽咋市青年団体連絡会議
こすもす保育園	石川県羽咋警察署
とき保育園	羽咋保護区保護司会
邑知保育園	羽咋地区更生保護女性会
ゆりかご保育園	羽咋ライオンズクラブ
羽咋幼稚園	羽咋ロータリークラブ
羽咋白百合幼稚園	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー
羽咋市校長会（小学校）	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー
羽咋市校長会（中学校）	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー
石川県立羽咋高等学校	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー
石川県立羽咋工業高等学校	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー
石川県立羽松高等学校	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー
羽咋市ＰＴＡ連合会	家庭教育支援チーム 子育てサポーターリーダー

羽咋市家庭教育推進協議会 実施事業

乳幼児部会	○親子ふれあいアルバム　８月 ○子育て標語　８月 ○羽咋市ふれあい読書　９月 ○はくい福祉まつりに「遊ぼうコーナー」として参加　１０月 （羽咋体育館） ○ＣＡＰ講演会　（市内保育所（園）・幼稚園　３ヶ所） ○家庭教育推進協議会関連事業（家庭教育講演会）
児童部会	◎家族ふれあいカード（小学校全学年）　６月 ◎家族川柳（小学校３～６年生） テーマ「家族のふれあい」に関すること　７～８月 ○羽咋市ふれあい読書（小学校１～２年生）　９月 ○非行・被害防止講座　（市内全小学校） ○家庭教育推進協議会関連事業（家庭教育講演会）
生徒部会	◎家族ふれあいカード（中学校全学年）　６月 ◎家族川柳作品募集（中高生） テーマ「家族のふれあい」に関すること　７～８月 ○スマートフォン等利用実態調査（中学生）　７～８月 ○非行・被害防止講座　（市内全中学校） ○家庭教育推進協議会関連事業（家庭教育講演会）
家庭教育 支援部会	○関係情報の提供 ・子育てに関する情報紙の作成 ・家庭教育推進協議会 40 周年記念誌発行 ・スマートフォン等利用実態調査の結果に基づいた情報を提供 ○学習機会の効果的な提供 ・ＣＡＰ講演会（市内保育所（園）・幼稚園３ヶ所） ・家庭教育推進協議会関連事業（家庭教育講演会）

◎については、羽咋市ＰＴＡ連合会との共催事業

乳幼児部会　親子アルバムづくり



　平成５年度から１０年度、「ぬりえ」を作成し、裏に親へのメッセージを入れました。
　平成１０年度から現在に至るまで、「親子ふれあいアルバム作り」が続いています。

作品例

平成 30 年度　羽咋市文化祭

乳幼児部会　子育て標語

平成９年度に、初めて「子育て標語」を実施しました。

平成２９年度に２０年ぶりに復活し、３０年度、令和元年度は継続して実施しました。

つないだ手 暑い夏でも はなさずに	しかっても 抱きしめ伝える 親心	はい、どうぞ 分けあう優しさ ママ感動	いつまでも つないでいたい 手とこころ	てつなぎが さいごはいつも かたぐるま	おこっても すぐにゆるして だきしめる
ぎゅとして 微笑む笑顔 いとおしい	ひさびさの 公園で気づく 子の成長	響かせよう テレビの音より 家族の会話	スマホとじ 子どもの顔見て 話聞く	いやされる 寝る時我が子が 抱きまくら	あさ　おきて ママが好きよと ダイブする

平成 30 年度　入選作品

月めくりカレンダー型

サイコロ型

平成 29 年度　羽咋市文化祭

クリアファイル型

乳幼児部会　羽咋市ふれあい読書

読書例　↑↓

乳幼児部会では、平成２０年度から、大人と子どものふれあい読書を実施しています。
対象は、保育所(園)・幼稚園の全乳幼児の親子です。

読書カードを実施して

◆子どもの心の発達が促されます。
◆親と子の『きずな』が深まります。

ふれあい読書の
達成度に合わせ、
認定証を発行します。

乳幼児部会　親子で遊ぼう大会

平成９年度から２０年度までの１２年間、親子がふれあう楽しい遊びの会を開催しておりました。保育所・保育園・幼稚園を問わず、みんなで楽しく遊びました。未入所の子どもも参加しました。

↑　体操「ミッキーマウス体操」

↑　ジャンケン電車

↑　プレイバルーン

↑　親子でヘンシン！体操リレー

↑　手あそび

↑　親子で体操「ジャングルぐるぐる」

乳幼児部会　はくい福祉まつり「あそぼうコーナー」

平成２２年度から、社会福祉協議会主催のはくい福祉まつりに参加し、親子でのふれあいの場を設けています。親子であそんだり、つくったりして、楽しんでいます。

↑ 魚つりゲーム

↑ アンパンマンの的当てボール

↑ わなげ

↑ ボウリング

↑ アンパンマンのお面作り

↑ かざぐるま作り

↑ミッキーとミニーのサンバイザー作り
↑ハロウィンバッグ作り

乳幼児部会　世界にただ一枚のカレンダー

平成８年度、１０年度から１９年度には、子どもたち一人ひとりのオリジナルカレンダーを作成しました。

平成１４年用カレンダーのスローガンは
「生涯教育の基礎である幼児教育を見直そう」です。

テーマを「家族」とし子どもたちに家族の似顔絵を書いてもらいました。

そして、カレンダーに今年１年の自分の目標をお父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんなど家族と話し合って書いてもらいました。

「世界にただ一枚のカレンダー」とは、親子が思いのままに自由に絵を書いたり、手形足形、ちぎり絵など世界広しといえど同じ物はありえないものです。
各家庭、幼稚園、保育園、保育所独自の方法で作成し、展示しました。

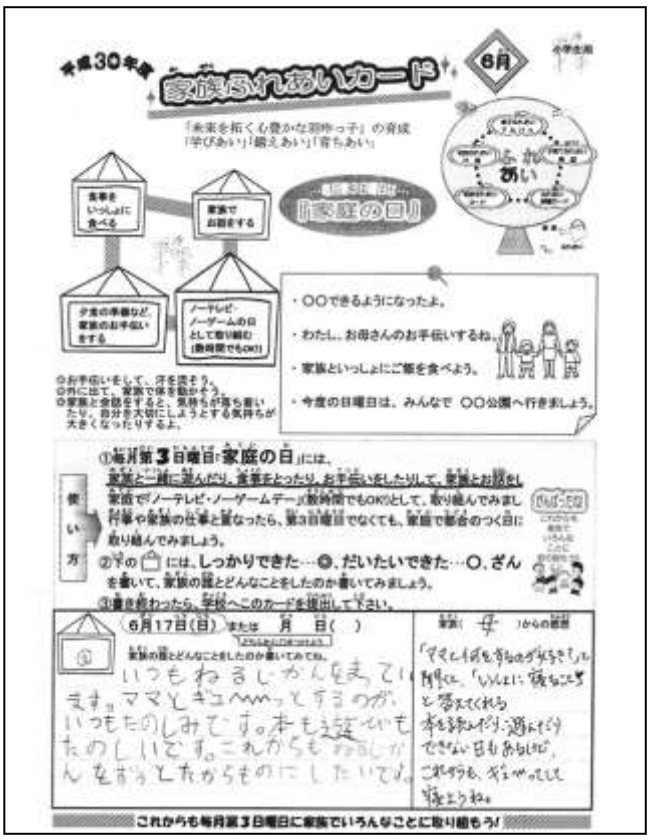
年長児クラスで作製
顔（目・鼻・口）の部分が
『福笑い』になっている。
カレンダーとして、ゲームとして、
家族で楽しむことができる。

年少児クラスで作製
干支（えと）の戌（いぬ）を
西暦２００６年の『０』に
見立てている。

児童部会　家族ふれあいカード

児童部会では、平成１９年度から、家族ふれあいカードを実施しています。
石川県では、毎月第３日曜日は「家庭の日」と制定されています。
「家庭の日」（第３日曜日、あるいは各家庭で都合のつく日）に家族で下記の①～⑤に取り組みます。

①　「ノーテレビ･ノーゲームデー」として、取り組む。
　　（一定の時間でも可）
②家族で一緒に遊んだり、運動をしたりする。
③夕食の準備など、子どもたちにお手伝いをしてもらう。
④家族一緒に食事をする。
⑤家族で会話をする。　など



【取り組み例】

学年	子ども	家　族
小学１年生	おとうさんと じてんしゃのれんしゅうをしました。こわかったけど、おとうさんが おさえてくれて ありがとう♡ 男子	おとうさんといっしょに、じてんしゃのり（補助輪なし）をがんばって れんしゅうしたんだね。けっきょく まだのりこなせてないけど、これからまた おとうさんにおしえてもらって、のれるようになれるといいね。 母
小学３年生	今日、ごみ出しをして来ました。いつもは、お姉さんと行ったり、おばあさんが行ったりしているけど、今日は１人で行けました。みんなに「ありがとう。」と言われて、うれしかったです。これからも お手伝いをがんばりたいです。 女子	ごみ出しの準備をしてたら、そこへ◯◯が来て、手伝ってくれたのです。それで、とっても助かったり、有難うネと頭を撫でてやりました。とても嬉しかったんだと思います。 祖母
小学５年生	家族全員でご飯を食べた。あらためて、みんなでいっしょに食事することは、大切なのだなと思った。これからも、家族そろってできることを できるかぎりしていきたいと思った。 女子	今日はみんなで テレビをみたり、お話ししながら、ご飯を食べる事が出来ました。みんな一緒だと楽しいね。 母

児童部会　家族川柳作品

羽咋市では、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し家族で作った二つの句（初句・返句）を一組とする川柳を募集しています。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり家族のふれあいを深める目的で実施しています。
令和元年度で、10 周年を迎えました。

平成 30 年度　羽咋市文化祭

広報はくい 12 月号

小学生の部

お父さん　スマホ見ないで　ぼくを見て　　小学3年　男
ユーチューブ　ばかり見ないで　父を見て　　父
がんばれの　祈り詰めこむ　おべんとう　　母
がんばれの　おうえん きいて　やるきでる　　小学4年　男
いつまでも　長生き健康　願ってる　　小学5年　女
ありがとう　孫の応援　うれしいな　　祖母
帰宅して「おかえり」の声　落ち着くな　　小学6年　女
「ただいま」と　聞こえた瞬間　ほっとする　　母

児童部会　羽咋市ふれあい読書

読書例　↑↓

児童部会では、平成１６年度から、大人と子どものふれあい読書を実施しています。
対象は、小学校１，２年生と大人です。

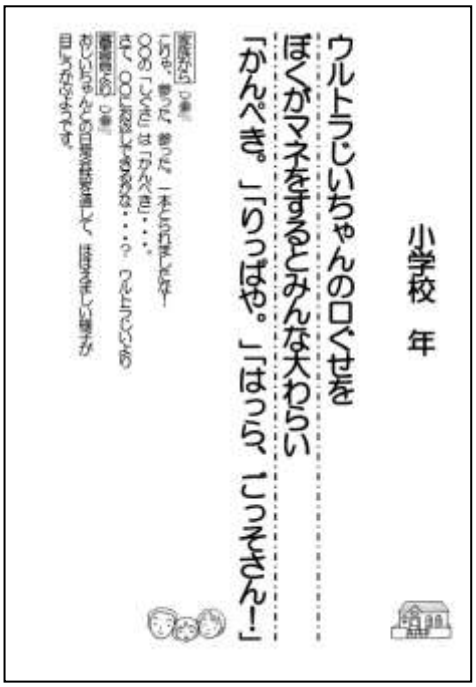
読書カードを実施して

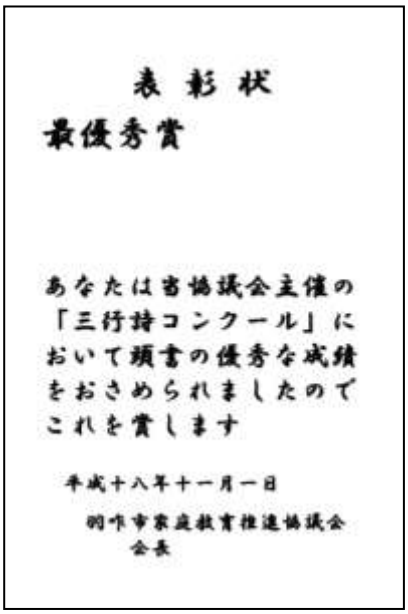
◆子どもの心の発達が促されます。
◆親と子の『きずな』が深まります。

ふれあい読書の
達成度に合わせ、
認定証を発行します。

児童部会　三行詩

平成１１年度頃から平成２１年度まで、三行詩作品の募集を行いました。テーマに合わせ、子どもたちからの三行にしたためられた想いに対し、保護者から返しの言葉を書いていただきました。最優秀賞、優秀賞を選出し、市文化祭にて掲示しました。



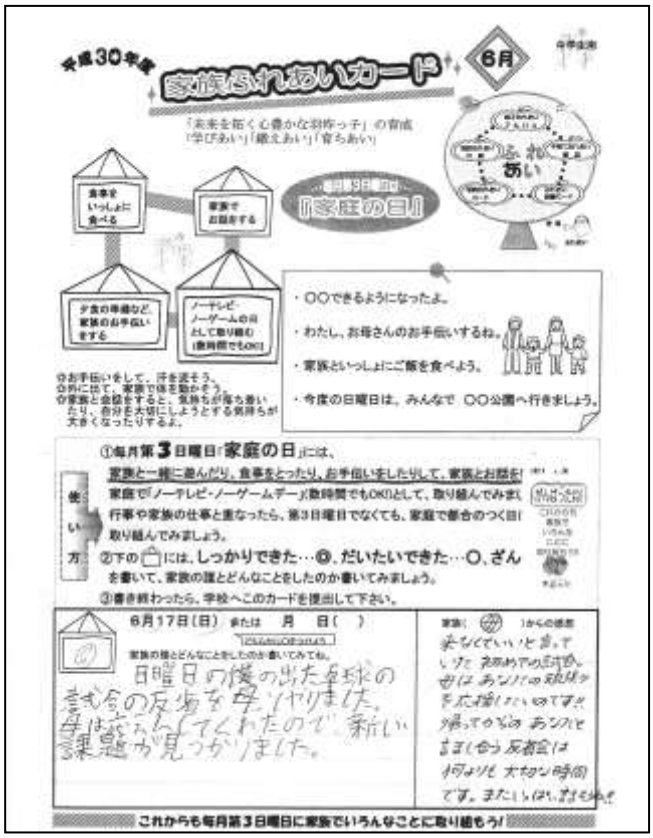


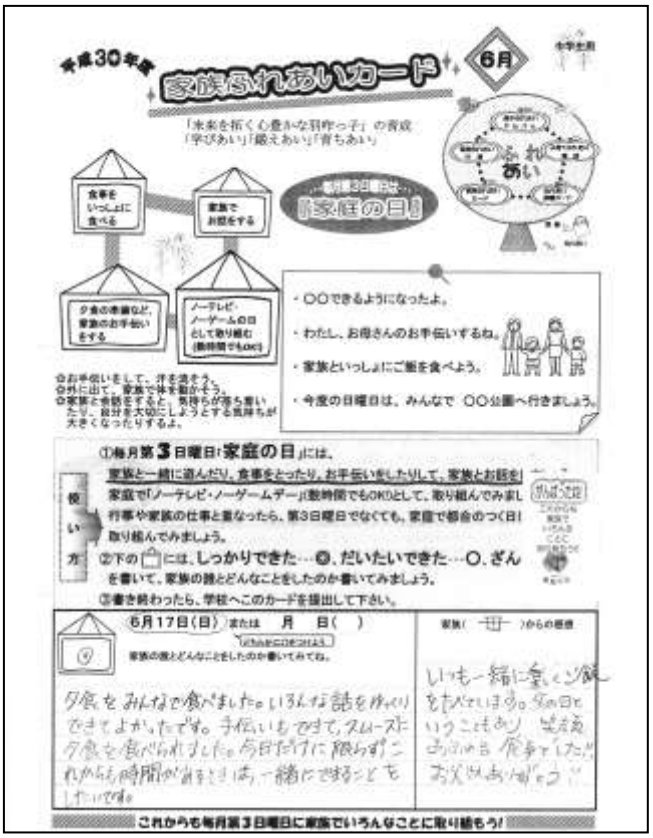
平成 18 年度　羽咋市文化祭

生徒部会　家族ふれあいカード

　生徒部会では、平成１９年度から、家族ふれあいカードを実施しています。
石川県では、毎月第３日曜日は「家庭の日」と制定されています。
「家庭の日」（第３日曜日、あるいは各家庭で都合のつく日）に家族で下記の①～⑤に取り組みます。

①　「ノーテレビ・ノーゲームデー」として、取り組む。
　　（一定の時間でも可）
②家族で一緒に遊んだり、運動をしたりする。
③夕食の準備など、子どもたちにお手伝いをしてもらう。
④家族一緒に食事をする。
⑤家族で会話をする。　など





【取り組み例】

学年	子ども	家　族
中学１年生	家族みんなでそうじをしました。家がきれいになって、気持ちよかったです。毎日母が家事をしているので、母の大変さが分かりました。中学校に入って、手伝いすることが減ったので、しっかり手伝いたいです。また、料理にも挑戦したいです。楽しかったです。 女子	大人になったら、いやでも家事はやらなければなりません。手伝いをしているうちに、自然に身についてくるので、積極的に手伝う様にして下さい。 父
中学２年生	今日、家族で公園に行きました。私が中学生になってから家族で遊びに行くのが減ったので、今日は久しぶりでした。たまには、家族で遊ぶのも良いなと思いました。 女子	公園に行くのも本当に久しぶりだったね。友達と出かけることはあっても 家族全員で出かけることが難しくなり、今日は母もとっても嬉しかったです。たまには、いいよね。また行こうね。 母
中学３年生	家族と一緒にご飯を食べました。いつもは家族全員でそろって食べることは少ないし、テレビをつけて食べることが多いと思います。ですが、この取り組みをして、家族で一緒に食べることは、改めて大切なことだと分かりました。 女子	いつも帰りが遅い父も早く帰ってきて、みんなそろって夕食を食べれたね。会話をたくさんして、楽しくおいしい食事だったね。 母

生徒部会　家族川柳作品

羽咋市では、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し家族で作った二つの句（初句・返句）を一組とする川柳を募集しています。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり家族のふれあいを深める目的で実施しています。
令和元年度で、10 周年を迎えました。

中学生の部

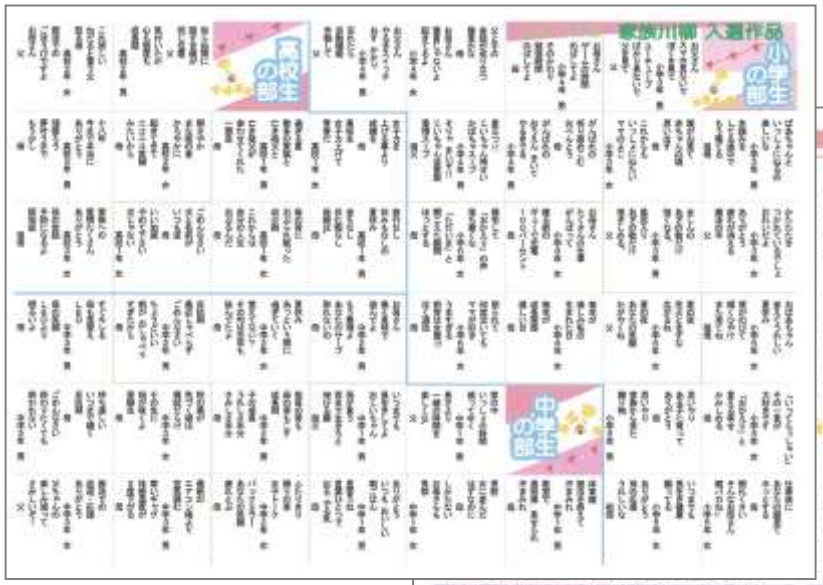
家の中　いっしょの時間　減ってゆく	中学1年	男
長さより　一緒の時間を　楽しくな	父	
祖母の背も　母の背もこす　成長期	中学2年	男
子の成長　うれしさ半分　さみしさ半分	母	
待ち遠しい　いつまで続く　反抗期	母	
ごめんなさい　終わりたくても　終われない	中学3年	男

高校生の部

過ぎる夏　数多の家族と　亡き祖父と	高校1年	男
亡き祖父が　会わせてくれた　一周忌	母	
家族への　愛情たくさん　ありがとう	高校3年	女
孫の世話　予防になるよ　認知症	祖母	

広報はくい 12 月号

平成 30 年度　羽咋市文化祭



生徒部会　スマートフォン等利用実態調査（対象：高校生）

平成 30 年度、市内高等学校のご協力によりスマートフォン等利用実態調査を実施することができました。

アンケートより、市内の高校に通う生徒たちのスマートフォン等の利用実態を把握することができました。

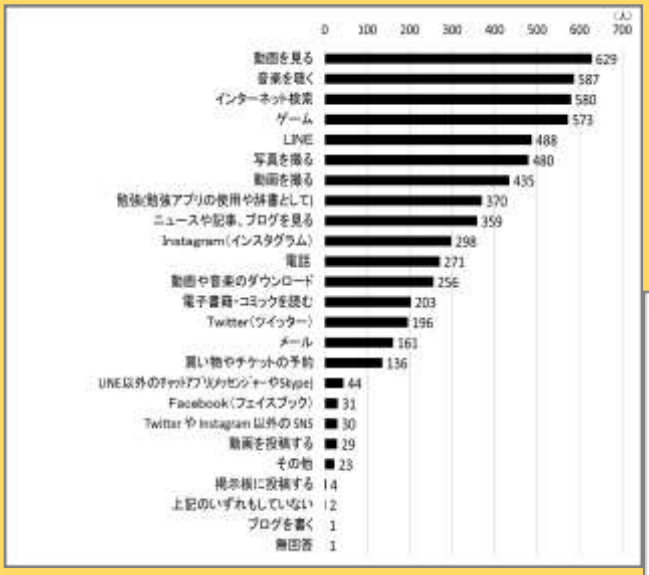
多くの生徒たちは健全な生活や主体的な考えに基づいた生活を送っています。ただ、今回の調査により、ますます家庭、地域社会、学校が連携して子どもたちの健全育成に力を入れていかなければならないことが明らかになりました。

調査対象　羽咋市内高等学校（３校）

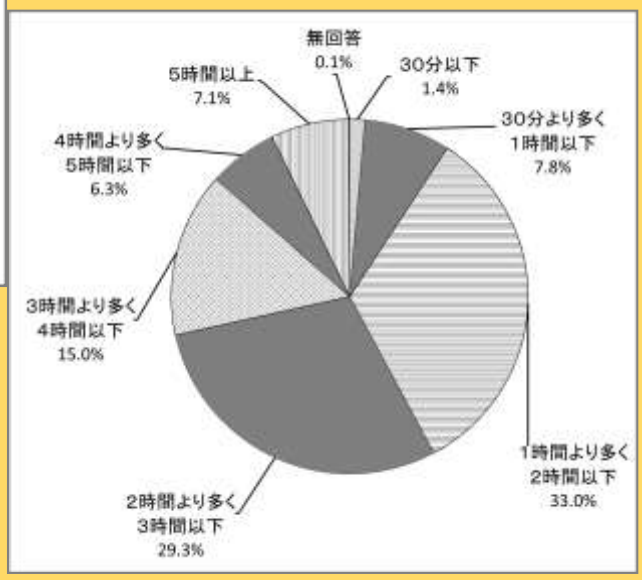
調査学年　１，２年生　　計　６５２人
　　１年男子 ・・・ １９６人、女子 ・・・ １３１人
　　２年男子 ・・・ １９６人、女子 ・・・ １２９人

調査内容　①スマートフォン等の用途
　　②スマートフォン等の利用時間
　　③スマートフォン等を利用していて、気になることや体調の変化
　　④スマートフォン等のウイルス対策等

◆スマートフォン等を使って普段していること（複数回答）



◆１日のスマートフォン等のおおよその利用時間（単数回答）



生徒部会　スマートフォン等利用実態調査（対象：中学生）

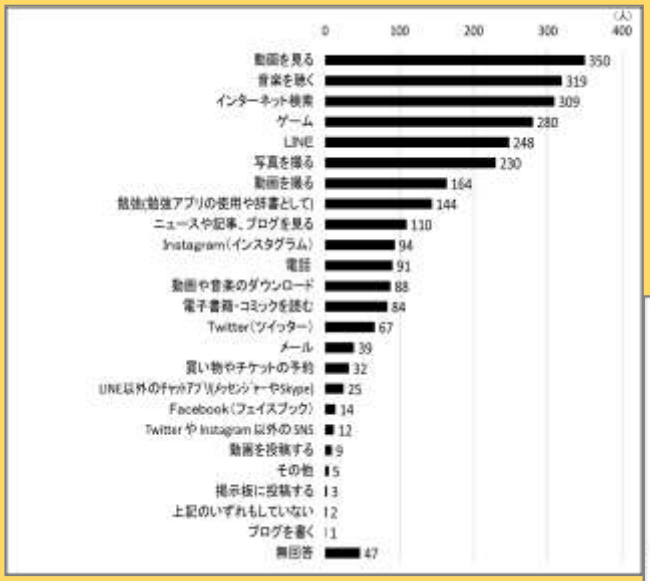
令和元年度、市内中学校のご協力によりスマートフォン等利用実態調査を実施することができました。

アンケートより、市内の中学校に通う生徒たちのスマートフォン等の利用実態を把握することができました。

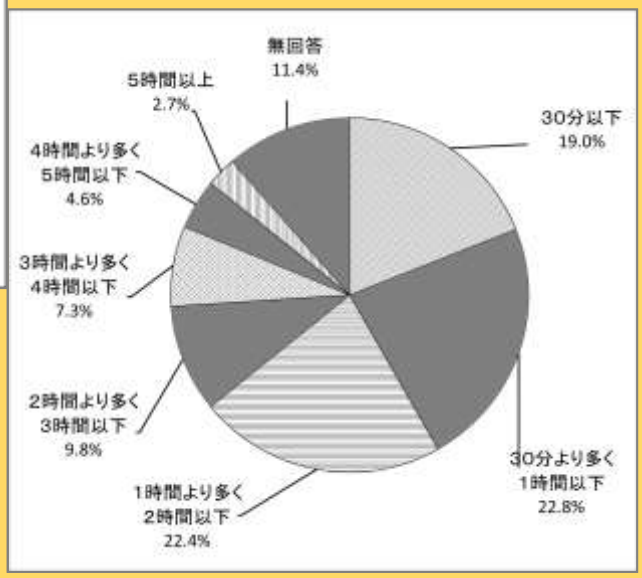
多くの生徒たちは健全な生活や主体的な考えに基づいた生活を送っています。ただ、今回の調査により、ますます家庭、地域社会、学校が連携して子どもたちの健全育成に力を入れていかなければならないことが明らかになりました。また、中学生がスマートフォン等を利用し、有害なウェブサイトを閲覧できないようにするフィルタリング対策の確認及び啓発が継続的に必要なものであります。スマートフォン等やアプリにフィルタリングやパスワードをかけて、有害な情報から子どもたちを守っていきたいものです。

調査対象　羽咋市内中学校（２校）
調査学年　１，２，３年生　　計　４３８人
　　１年男子　・・・　５３人、女子　・・・　８９人
　　２年男子　・・・　８４人、女子　・・・　６６人
　　３年男子　・・・　６５人、女子　・・・　８１人
調査内容　①スマートフォン等の用途
　　②スマートフォン等の利用時間
　　③スマートフォン等を利用していて、気になることや体調の変化
　　④スマートフォン等のウイルス対策等

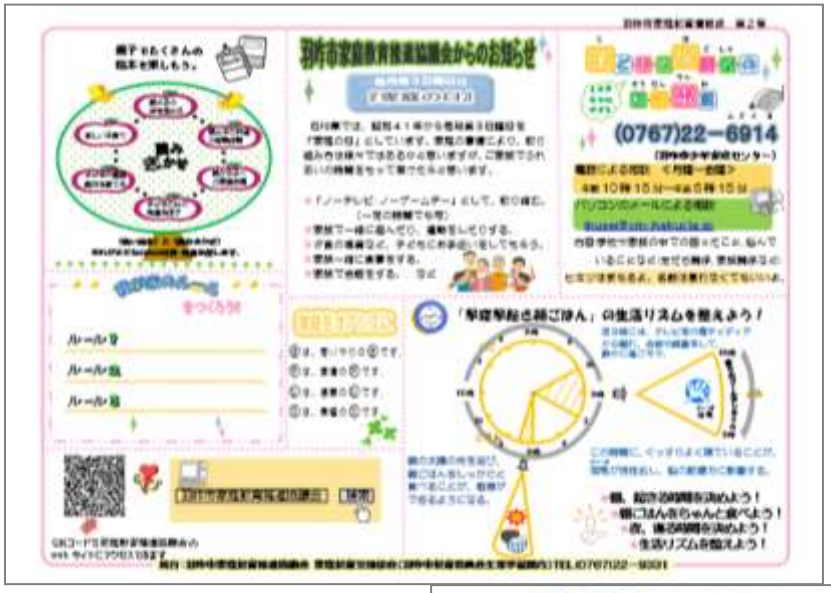
◆スマートフォン等を使って普段していること（複数回答）



◆１日のスマートフォン等のおおよその利用時間（単数回答）



家庭教育支援部会　家庭教育情報紙



平成 27 年度　情報紙第２号

平成２１年度から２３年度には、「羽咋市家庭教育相談情報紙」を発行しました。

一部内容を変更し、平成２４年度から現在に至るまで、毎年２，３回、「羽咋市家庭教育情報紙」を発行しています。

平成 28 年度　情報紙第２号

平成 29 年度　情報紙第２号

家庭教育支援部会　かていきょういく通信

令和元年度の予定表

活動のながれ

羽咋市市民憲章は昭和 48 年 10 月 30 日に制定されました。

実践活動の推進を願い、昭和 55 年 6 月、羽咋市家庭教育推進協議会が設立されました。

平成 20 年度からは、家庭教育支援部会を新たに加えて、今年で 12 年目となります。

この支援部会は、7 名の子育てサポーターリーダーを中心に、親や保護者を対象として家庭教育の支援を行っています。

主な活動として、保護者のための講座及び家庭教育関係情報の提供などを実施しています。

この度のCAP講演会は、家庭教育支援部会として 27 年度までに市内全小学校及び中学校に於いて保護者や子どもを対象に実施しました。

また、22 年度～24 年度には、市内保育所・保育園・幼稚園に於いても実施しました。

今年度は、**羽咋白百合幼稚園・羽咋保育所・ゆりかご保育園**を予定しています。

これらの幼稚園・保育所・保育園に於いては、大人ワークショップに加え、子どもワークショップも実施します。

かていきょういく通信

羽咋市家庭教育推進協議会

40th ANNIVERSARY 1980-2019

― 市民ぐるみの家庭教育推進運動 ―

◇◆◇子育てや家庭教育の大切さ◇◆◇

時代は流れ、昭和５５年に発足した家庭教育推進協議会は、昭和・平成をかけ抜け、令和の時代に入りました。おかげさまで、当協議会は今年で４０周年を迎えました。

しかし、**子育て**や家庭における教育というものは、時が流れようとも普遍的なものであり、根本はなんら変わりありません。昨今、スマートフォン等の普及の影響により、親子関係等に様々な変化が見られるようになってきました。便利なスマートフォン等の利用もいいですが、目の前にいない相手とのやり取りより、まずは近くにいる大切なお子さんやご家族と向き合って、**話をしたり触れ合ったり**して下さい。きっと、これからの家庭を支える大切な土台になるにちがいありません。

家庭教育推進協議会（会長：教育長）

業務内容

- 家庭教育に関する情報収集
- 情報の提供と実践事業の推進
- 市民の家庭教育意識の啓発活動
- 家庭教育指導資料作成
- 広報活動
- 家庭教育相談
- 学習機会の提供
- 保護者のための講座等
  （子育て・親育ち講座、家庭の日の励行）

家庭で困ったとき、悩んでいるときは、相談して下さい。

＊＊子どもと保護者の相談電話＊＊

（0767）22－6914

電話相談・面接相談：月曜日～金曜日
9：00～17：00
メール相談：ikusei@city.hakui.lg.jp
対象：１８才までの子どもとその保護者
内容：健康・子育て、家族関係、
しつけ、育児不安、虐待など

羽咋市家庭教育推進協議会　検索

QRコードで
家庭教育推進協議会の
web サイトに
アクセスできます

CAP講演会

家庭教育支援部会
子育てサポーターリーダーは
CAPを支援しております

※ＣＡＰは　Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の略です。
子どもが、いじめ、虐待、誘拐、性暴力などのさまざまな暴力に対して、自分に何ができるかを伝える学習プログラムです。

【CAPのと】とは

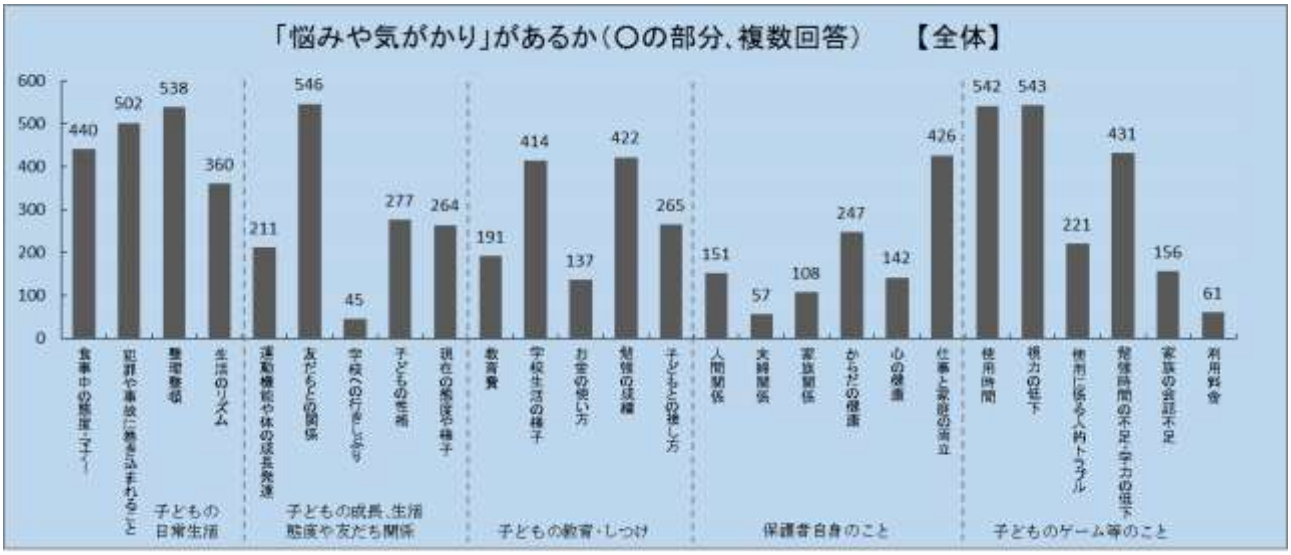
平成18年4月に発足、能登全域の子どもたちに、安心・自信・自由の権利を伝え、自分自身を大切にする心、そして相手も大切と思う心をもって強く生きられるように活動を続けています。

お問い合わせ

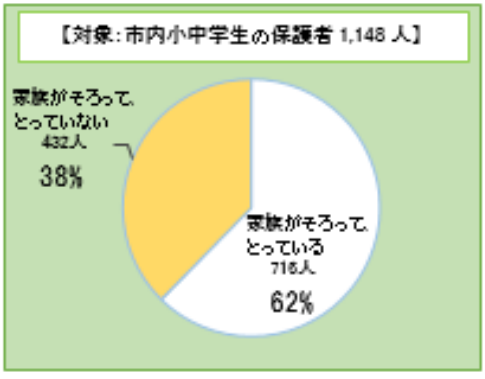
羽咋市教育委員会 生涯学習課
家庭教育推進協議会
（羽咋市役所内）
☎22－9331

家庭教育支援部会　子育て意識調査

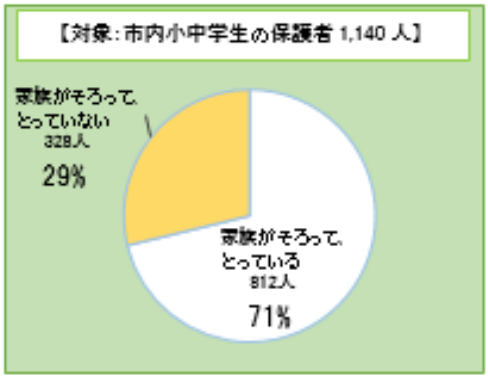
平成 28 年度、家庭教育推進協議会家庭教育支援部会では、羽咋市内小学生及び中学生の保護者に対して「情報の提供」を進めるにあたり、「子育て意識調査～子育ての「悩みや気がかり」「考え」を教えてください～」を実施させていただきました。この集計結果より、子育てに対して保護者の皆様の様々な状況や悩みを知ることができました。



朝食の摂取状況



夕食の摂取状況



子どもと接している中で、楽しいと感じるとき、不安を感じるとき

楽しいと感じるとき

・うれしい顔をしたり、笑ったりすると、自分も楽しくなる。

・子供と一緒に料理をするのが楽しい。

・学校や友達のことを話すのを聞くとき。

不安を感じるとき

・親に反抗するようになってきた。

・友達関係の悩みを聞いたとき。

・ゲーム漬けになっているとき。

家庭教育支援部会　ＣＡＰ講演会

〔趣　旨〕

子どもがあらゆる暴力から自分を守り、人権意識を高めるための人権教育プログラムを保護者と子どもそれぞれに伝え、理解を得る。

〔内　容〕

大人ワークショップ、子どもワークショップ　　講師：ＣＡＰのと

・ＣＡＰの基本となる考え方
・被害を受ける要因とその心理状態、対処法
・ワークショップとロールプレイの紹介

↑大人ワークショップ

↑ 子どもワークショップ

〔アンケート感想〕　大人

・忘れかけていた子供に対する接し方を思い出したような気がします。かわいい我が子を守っていきたいと思います。
・劇で分かりやすく、教えて下さり、とても良かったです。親だけでなく、子どもにも聞かせて下さるのは、とても嬉しいです。

〔アンケート感想〕　子ども

・にんぎょうげき、たのしかった。「あんしん・じしん・じゆう」をお家で上手に教えたよ。
・げきにでれて、うれしかった。しらない人とどれくらいはなれるか分かって、良かった。

ＣＡＰ講演会　実施状況

小学校

平成20年度

学校名	種別
西北台小学校	保護者ワークショップ
粟ノ保小学校	〃
羽咋小学校	〃
瑞穂小学校	〃
邑知小学校	〃
余喜小学校	〃

中学校

平成21年度

学校名	種別
邑知中学校	保護者ワークショップ
羽咋中学校	〃

保育所・保育園・幼稚園

平成22年度

保育所・幼稚園名	種別
千里浜保育所	保護者ワークショップ
とき保育園	〃
邑知保育園	〃
余喜保育所	〃
こすもす保育園	〃

平成23年度

保育所・幼稚園名	種別
粟ノ保保育所	保護者ワークショップ
羽咋幼稚園	〃
ゆりかご保育園	〃
西北台保育所	〃

平成24年度

保育所・幼稚園名	種別
羽咋白百合幼稚園	保護者ワークショップ

小学校

平成24年度

学校名	種別
余喜小学校	保護者ワークショップ
瑞穂小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
粟ノ保小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ

平成25年度

学校名	種別
邑知小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
西北台小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
羽咋小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ

平成26年度

学校名	種別
瑞穂小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
余喜小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
粟ノ保小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ

平成27年度

学校名	種別
邑知小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
西北台小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ
羽咋小学校	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ

保育所・保育園・幼稚園

平成28年度

保育所・幼稚園名	種別
こすもす保育園	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）
とき保育園	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）

平成29年度

保育所・幼稚園名	種別
西北台保育所	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）
邑知保育園	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）

平成30年度

保育所・幼稚園名	種別
余喜保育所	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）
千里浜保育所	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）
羽咋幼稚園	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）

令和元年度

保育所・幼稚園名	種別
粟ノ保保育所	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）
ゆりかご保育園	保護者ワークショップ
羽咋白百合幼稚園	保護者ワークショップ
	子どもワークショップ（3日間）

家庭教育支援部会　家庭教育講演会「ＣＡＰ講演会」

〔趣　旨〕　青少年の健全な育成を推進するため、地域における青少年活動の振興・社会環境の浄化等､住民ぐるみの運動を展開するための取り組み方と対策を学ぶ。

〔参加者〕　石川県青少年育成推進指導員、市町青少年担当職員、青少年育成関係、家庭教育関係、教育関係者、ＰＴＡ関係者、県関係者等

〔内　容〕　オカリナ演奏
講師
ライリッシュ･オカリナ連盟 石川織姫会

「ｂｅｌｉｅｖｅ」「花は咲く」
「ふるさと」

皆様の息の合った演奏、そしてオカリナの素朴な音色が心に染み渡った。とても素晴らしい演奏で、癒されるひとときであった。

ＣＡＰ講演会
講師　ＣＡＰのと
演題　「私たち大人にできること」～子育て意識調査から読みとる～

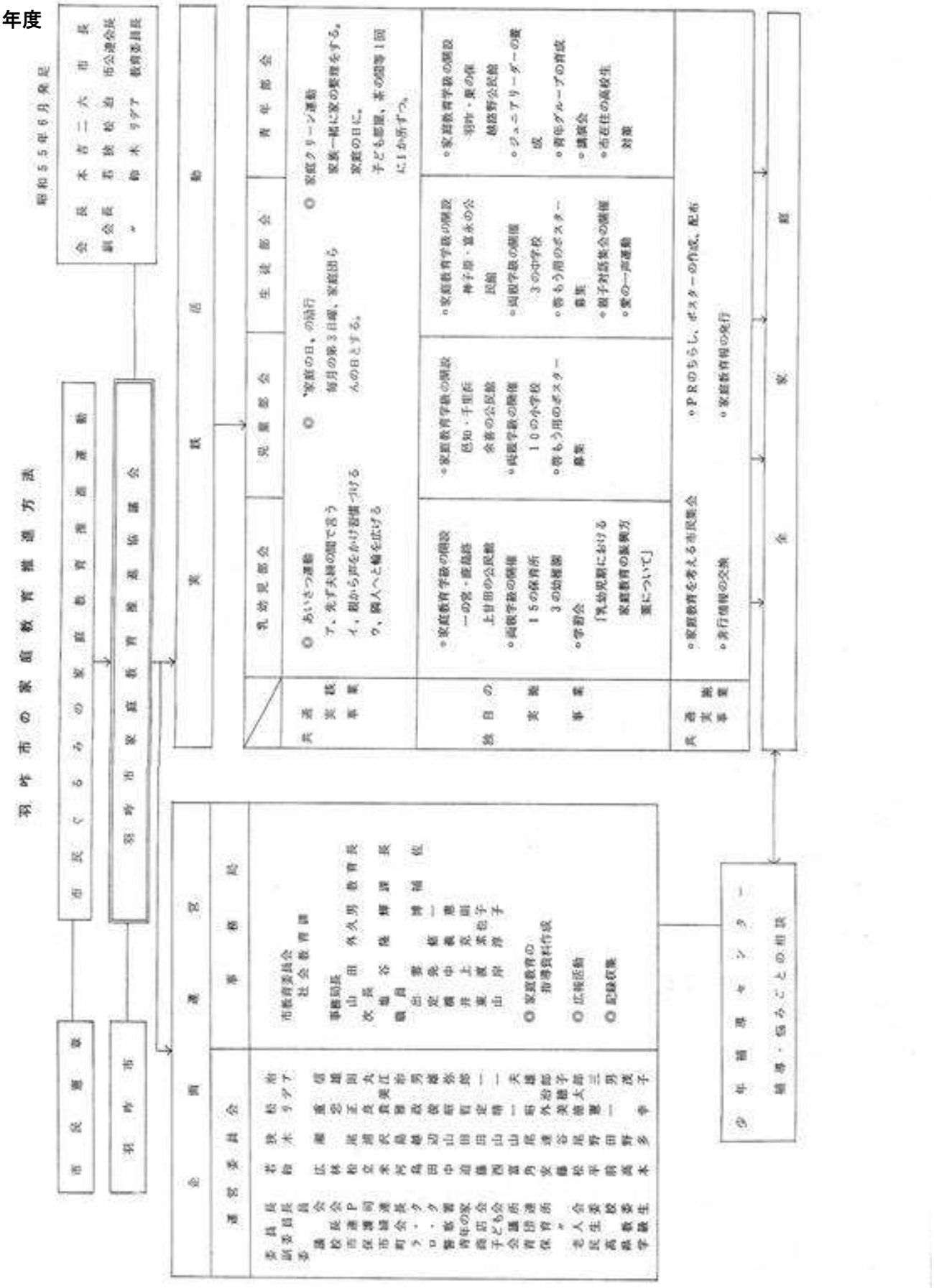
ＣＡＰの基本となる考え方の一つに人権意識があるが、権利とは「生きていくためになくてはならない大切なもの」であり、特別に大切な３つの権利「安心」「自信」「自由」について、教えていただいた。

また、大人は子どもの言うことを信じず、否定しがちなところがあるが、子どもが話してくれたときには、「よく話してくれたね。ありがとう。」「あなたのことを信じるよ。」と子どもに伝えることが大切であると学んだ。

石川県青少年健全育成「羽咋郡・市ブロック会議」の開催に合わせて、実施した。

過年度の資料

平成 55 年度



心と心をつないで、より健やかな家庭をつくりましょう。

羽咋市家庭教育推進協議会のお知らせ

平成８年度

これは、平成８年から羽咋市中央町地内に掲げられている看板です。
あいさつ運動標語の優秀標語です。

「あいさつは みんなの心を 開く窓」

フェンスにくくり付け、四半世紀（約２５年間）市民の皆さんに「あいさつ」を呼びかけていましたが、令和２年１月８日の強風により、外れて歩道に落ちるほどになってしまいました。看板は強風にあおられて、かなり歪みが発生し、結果として、残念ながら処分することになってしまいました。

明るい家庭をつくる10ポイント

おとうさん

あなたは、
子どもに働くこと、
強く前向きに生きることの
大切さを教える教師であり
モデルです。大黒柱のあなたが
どっしりとしていてこそ
子どもは明るくたくましく
成長することが
できるのです。

おかあさん

あなたは、
子どもにとって太陽です。
明るさと温かさをいつも
注いでくれる存在です。
あなたの声と
優しさとほほえみが、
子どもの情緒を安定させ、
家族に安らぎを
与えます。

1 思いやりのある円満な家庭をつくりましょう。

- 子どもの話をよく聞きましょう。
- 家庭の対話で親子のきずなを深めましょう。
- やすらぎのある楽しい家庭をつくりましょう。

2 基本的生活習慣をしっかりつけましょう。

- 自分のことは自分でする子に育てましょう。
- 身なりの清潔に心がける子に育てましょう。
- 規則正しい生活を心がけましょう。

3 子どもの社会参加を促しましょう。

- 社会のルールを守らせましょう。
- 地域の行事に参加させましょう。
- ボランティア活動に参加させましょう。

4 子ども同士のかかわりを大切にしましょう。

- 自然の中で伸びやかに遊ばせましょう。
- 友とでも仲良く遊ばせましょう。
- 友だちの約束を守らせましょう。

5 健康な身体をつくりましょう。

- 家族ぐるみで健康な体づくりに励みましょう。
- スポーツを通じて人と人とのふれあいを育てましょう。

6 責任感を育てましょう。

- 自分の立場を自覚し、役割を最後まではたす子に育てましょう。
- 正しいことは勇気をだしてやれる子に育てましょう。

7 豊かな感性を育てましょう。

- 美しいものに触れたり、見たり、聞いたりさせましょう。
- 相手の立場で考えるやさしい心を育てましょう。
- 自然環境を大切にする心を育てましょう。

8 生きる力をつけさせましょう。

- 子どもの欲求をむやみに満たさないようにしましょう。
- 家族で話し合い子どもの夢と希望に目を傾けましょう。
- 子どものよい点を認め、自信をもたせましょう。

9 国際的な視野を広げましょう。

- 国際社会に目を向け、外国文化への理解を深めましょう。
- 広い視野をもち、行動するように努力させましょう。

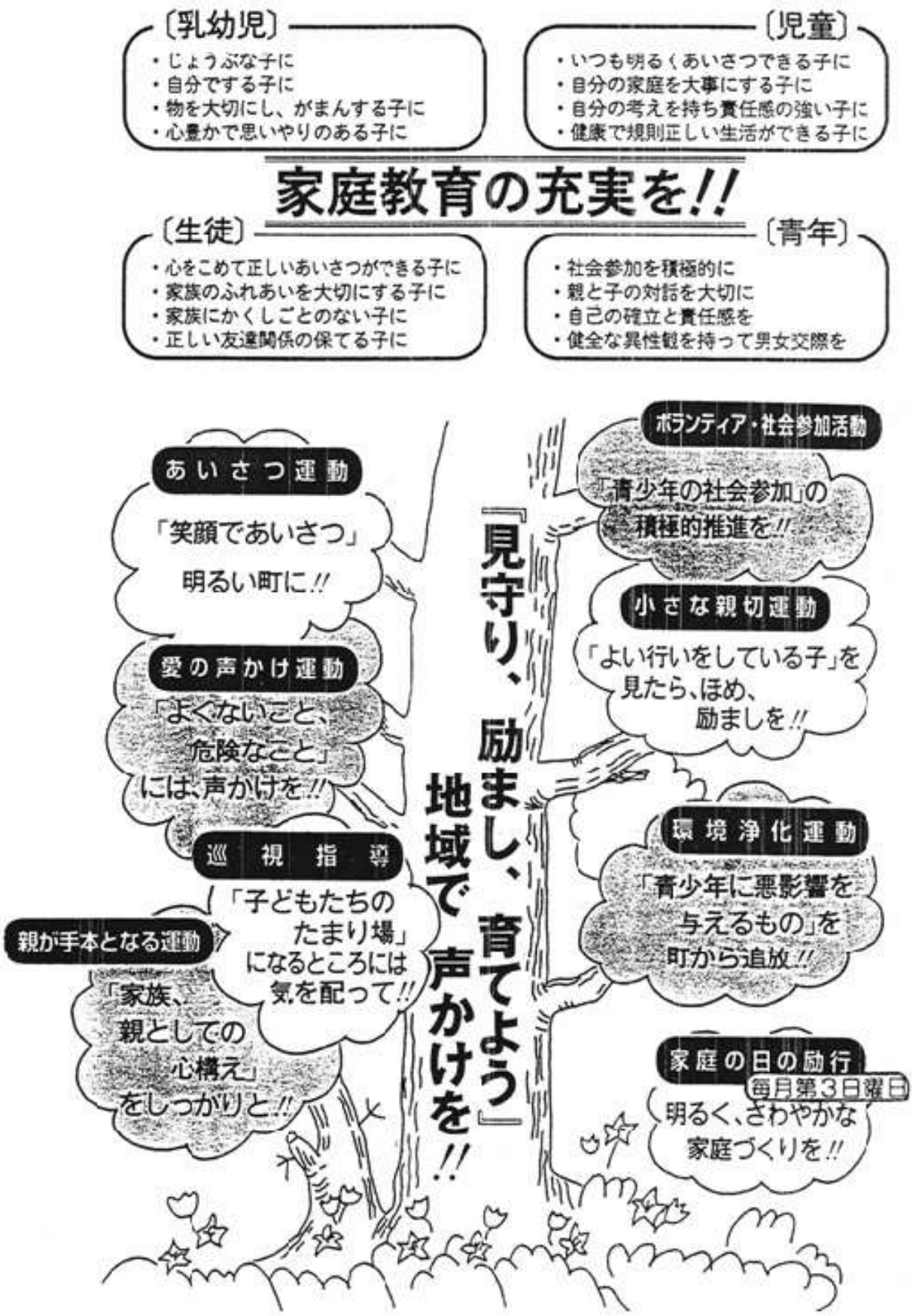
10 働く喜びを体験させましょう。

- 幼いときから、家事や家業の手伝いをさせましょう。
- 働くことの価値、尊さを身につけさせましょう。
- 職業を持つことの楽しさを教えましょう。

家庭教育の充実を!!

羽咋市家庭教育推進協議会

平成 12 年度



羽咋市家庭教育推進協議会

（羽咋市家庭教育支援センター）

みなさんは お父さんとお母さんの 宝物（たからもの）

しあわせは"家庭"から

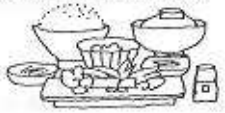
あいさつは こころのかよう 第一歩

おはよう　こんにちわ
ありがとう　すみません
さようなら　おやすみ

あいさつがなければ、おたがいの暖かい関係は生まれません。

食卓は とうさんかあさん いっしょだよ

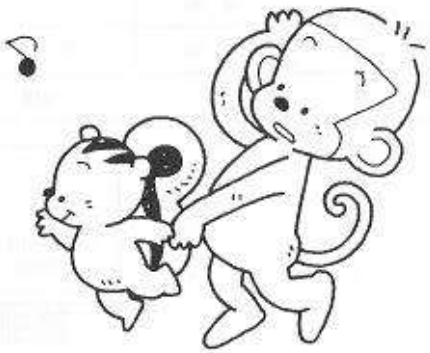
〈おとうさん、おかあさん〉
いそがしいでしょうが、つとめて子どもといっしょにたのしい食事ができるようがんばってくださいね！



外あそび みんなながよく 元気よく

太陽にあたり、外気を吸って、強いからだとこころをきたえましょう。いい遊びは健康とともに、友情や社会性をはぐくみます。

羽咋市家庭教育推進協議会



平成13年度

我が家の家訓 子育ての知恵

羽咋市家庭教育推進協議会児童部会では親子のふれあい、話し合い、家庭教育の充実を目指してアクションプログラム事業として「我が家の家訓」「子育ての知恵」の募集を実施しました。

家訓の中で、一番多くの記載があったのは「あいさつ」でした。家訓の中に、一番多く取り入れられている「あいさつ」は９２％を示しています。又、応募者の中で「あいさつ」を第一条に掲げた人は４０％です。第二条に上げた人は２３％、第三条に上げた人は１５％でした。７８％の人が第三条までに上げています。全体の９２％の応募者の７８％が上位に位置づけていることは、とても重要な意味を持っていると考えます。あいさつを単なる会釈という範囲に止まらず人間関係、相手との関係を保つための入口としての行動という解釈でまとめてみました。

家訓（かくん）

第一条　人に会ったら挨拶をする
第二条　他者への思いやりの心を持つ
第三条　人に迷惑をかけない
第四条　自然との触れあいを大切にする
第五条　出来ることは自分でする
第六条　子どもの目線で見る
第七条　責任ある行動をする
第八条　目標を持って生きる
第九条　親がしっかり生きる
第十条　家族を大切にする

子育ての知恵

第一条　挨拶・話し合いをする
第二条　善悪の区別をきちんと教える
第三条　出来ることは自分でさせる
第四条　大きい声ではっきりといわせる
第五条　お手伝いをさせる
第六条　健康に気をつける
第七条　ほめる・認める・しかる
第八条　思いやりの心を育てる
第九条　お金・物を大切にする
第十条　子どもの友達を知る

平成十三年度
羽咋市家庭教育推進協議会
児童部会

歴代部会長・副部会長名簿

〔平成１４年度～３０年度、令和元年度〕

生徒部会

	部会長		副部会長	
	所属	氏名	所属	氏名
平成１４年度	羽咋市校長会	石田　護		
１５年度	羽咋市校長会	中村康徳	羽松高校	木村　亮
１６年度	羽咋市校長会	中村康徳	公民館連絡協議会	立中英夫
１７年度	羽咋市校長会	中村康徳	公民館連絡協議会	立中英夫
１８年度	羽咋市校長会	中村康徳	公民館連絡協議会	立中英夫
１９年度	羽咋市校長会	中村康徳	公民館連絡協議会	立中英夫
２０年度	羽咋市校長会	中村康徳	公民館連絡協議会	立中英夫
２１年度	羽咋市校長会	藤田　茂	公民館連絡協議会	立中英夫
２２年度	羽咋市校長会	中村康徳	公民館連絡協議会	細川　聰
２３年度	羽咋市校長会	北川信之	公民館連絡協議会	細川　聰
２４年度	羽咋市校長会	北川信之	公民館連絡協議会	細川　聰
２５年度	羽咋市校長会	久保雅裕	公民館連絡協議会	細川　聰
２６年度	羽咋市校長会	久保雅裕	公民館連絡協議会	山森茂男
２７年度	羽咋市校長会	牧野利明	公民館連絡協議会	山森茂男
２８年度	羽咋市校長会	牧野利明	公民館連絡協議会	山森茂男
２９年度	羽咋市校長会	牧野利明	公民館連絡協議会	山森茂男
３０年度	羽咋市校長会	井村香澄	公民館連絡協議会	堀　和秀
令和元年度	羽咋市校長会	井村香澄	公民館連絡協議会	堀　和秀

家庭教育支援部会

	部会長		副部会長	
	所属	氏名	所属	氏名
平成２０年度	子育てサポーターリーダー	山田和子	子育てサポーターリーダー	西村麗子
２１年度	子育てサポーターリーダー	中越隆一	子育てサポーターリーダー	西村麗子
２２年度	子育てサポーターリーダー	中越隆一	子育てサポーターリーダー	西村麗子
２３年度	子育てサポーターリーダー	中越隆一	子育てサポーターリーダー	西村麗子
２４年度	子育てサポーターリーダー	橋本　穣	子育てサポーターリーダー	釜谷千恵子
２５年度	子育てサポーターリーダー	橋本　穣	子育てサポーターリーダー	釜谷千恵子
２６年度	子育てサポーターリーダー	川合勇一	子育てサポーターリーダー	八島恵美
２７年度	子育てサポーターリーダー	川合勇一	子育てサポーターリーダー	八島恵美
２８年度	子育てサポーターリーダー	川合勇一	子育てサポーターリーダー	八島恵美
２９年度	子育てサポーターリーダー	川合勇一	子育てサポーターリーダー	八島恵美
３０年度	子育てサポーターリーダー	八島恵美	子育てサポーターリーダー	酒井由美子
令和元年度	子育てサポーターリーダー	八島恵美	子育てサポーターリーダー	富田則子

乳幼児部会

	部会長		副部会長	
	所属	氏名	所属	氏名
平成１４年度	子育てサポーター	岡野利恵		
１５年度	公民館連絡協議会	石山尚徳	こすもす保育園保護者会	川崎美紀
１６年度	公民館連絡協議会	橋本　穣	保育所保育士会	酒井照子
１７年度	公民館連絡協議会	塩谷　進	保育所保育士会	稲原美智子
１８年度	公民館連絡協議会	細田宏昭	保育所保育士会	稲原美智子
１９年度	公民館連絡協議会	細田宏昭	保育所保育士会	岡野枝美子
２０年度	保育所保育士会（健康福祉課）	渡辺久枝	公民館連絡協議会	塩谷義栄
２１年度	保育所保育士会	三星式子	公民館連絡協議会	塩谷義栄
２２年度	保育所保育士会	福田弘美	公民館連絡協議会	塩谷義栄
２３年度	保育所保育士会	瀬戸春美	公民館連絡協議会	塩谷義栄
２４年度	保育所保育士会	板井みそ美	公民館連絡協議会	塩谷義栄
２５年度	保育所保育士会	杉浦佐和子	公民館連絡協議会	塩谷義栄
２６年度	保育所保育士会	遠藤千恵美	公民館連絡協議会	岩城孝之
２７年度	保育所保育士会	坂本厚子	公民館連絡協議会	岩城孝之
２８年度	保育所保育士会	盛田いずみ	公民館連絡協議会	平井正信
２９年度	保育所保育士会	山本恭子	公民館連絡協議会	清水久範
３０年度	保育所保育士会	山本恭子	公民館連絡協議会	清水久範
令和元年度	保育部会	中屋信枝	公民館連絡協議会	山岸孝司

児童部会

	部会長		副部会長	
	所属	氏名	所属	氏名
平成１４年度	公民館連絡協議会	篠田　修		
１５年度	羽咋市校長会	広橋　賢	公民館連絡協議会	篠田　修
１６年度	羽咋市校長会	広橋　賢	公民館連絡協議会	篠田　修
１７年度	羽咋市校長会	藤田　茂	公民館連絡協議会	橋本　穣
１８年度	羽咋市校長会	藤田　茂	公民館連絡協議会	政近顕英
１９年度	羽咋市校長会	藤田　茂	公民館連絡協議会	政近顕英
２０年度	羽咋市校長会	藤田　茂	公民館連絡協議会	政近顕英
２１年度	羽咋市校長会	内田恒平	公民館連絡協議会	政近顕英
２２年度	羽咋市校長会	内田恒平	公民館連絡協議会	政近顕英
２３年度	羽咋市校長会	松山智明	公民館連絡協議会	政近顕英
２４年度	羽咋市校長会	松山智明	公民館連絡協議会	政近顕英
２５年度	羽咋市校長会	松山智明	公民館連絡協議会	政近顕英
２６年度	羽咋市校長会	松山智明	公民館連絡協議会	政近顕英
２７年度	羽咋市校長会	松山智明	公民館連絡協議会	政近顕英
２８年度	羽咋市校長会	松山智明	公民館連絡協議会	岩城孝之
２９年度	羽咋市校長会	竹内弘司	公民館連絡協議会	岩城孝之
３０年度	羽咋市校長会	竹内弘司	公民館連絡協議会	泉　敏克
令和元年度	羽咋市校長会	堀田泰永	公民館連絡協議会	泉　敏克

運営委員会

	会長		副会長	
	所属	氏名	所属	氏名
平成１４年度	羽咋市教育委員会	川口絹子		
１５年度	羽咋市教育委員会	川口絹子		
１６年度	羽咋市教育委員会	川口絹子	公民館連絡協議会	辻角邦昭
			ＰＴＡ連合会母親代表	深見万里子
１７年度	羽咋市教育委員会	川口絹子	公民館連絡協議会	辻角邦昭
			ＰＴＡ連合会母親代表	濱辺静香
１８年度	羽咋市教育委員会	疋津利彦	公民館連絡協議会	橋場浩和
			ＰＴＡ連合会（中学校）	駒井澄子
１９年度	羽咋市教育委員会	疋津利彦	公民館連絡協議会	橋場浩和
			ＰＴＡ連合会（中学校）	高野節子
２０年度	羽咋市教育委員会	疋津利彦	羽咋市校長会（小学校）	藤田　茂
			ＰＴＡ連合会（中学校）	大窪幸子
２１年度	羽咋市教育委員会	小幡秀治	羽咋市校長会（中学校）	藤田　茂
			ＰＴＡ連合会	長瀬亮子
２２年度	羽咋市教育委員会	石田　護	羽咋市校長会（中学校）	中村康徳
			ＰＴＡ連合会	三井陽子
２３年度	羽咋市教育委員会	石田　護	羽咋市校長会（中学校）	北川信之
			公民館連絡協議会	橋場浩和
２４年度	羽咋市教育委員会	石田　護	羽咋市校長会（中学校）	北川信之
			公民館連絡協議会	橋場浩和
２５年度	羽咋市教育委員会	石田　護	羽咋市校長会（中学校）	久保雅裕
			公民館連絡協議会	橋場浩和
２６年度	羽咋市教育委員会	北山吉郎	羽咋市校長会（中学校）	久保雅裕
			公民館連絡協議会	山森茂男
２７年度	羽咋市教育委員会	北山吉郎	羽咋市校長会（小学校）	松山智明
			公民館連絡協議会	山森茂男
２８年度	羽咋市教育委員会	北山吉郎	羽咋市校長会（小学校）	松山智明
			公民館連絡協議会	山森茂男
２９年度	羽咋市教育委員会	北山吉郎	羽咋市校長会（中学校）	牧野利明
			公民館連絡協議会	山森茂男
３０年度	羽咋市教育委員会	八島和彦	羽咋市校長会（小学校）	竹内弘司
			公民館連絡協議会	堀　和秀
令和元年度	羽咋市教育委員会	八島和彦	羽咋市校長会（小学校）	堀田泰永
			公民館連絡協議会	堀　和秀

歴代運営委員・部会員名簿

〔平成１７年度～２４年度〕

		平成１７年度	１８年度	１９年度	２０年度	２１年度	２２年度	２３年度	２４年度
1	羽咋市教育委員会	川口　絹子	疋津　利彦	疋津　利彦	疋津　利彦	小幡　秀治	石田　　護	石田　　護	石田　　護
2	羽咋市保育所保育士会	稲原美智子	稲原美智子	岡野枝美子	渡辺　久枝	三星　式子	福田　弘美	瀬戸　春美	板井みそ美
3	羽咋市保育部会								
4	羽咋市立富永保育所					原　多恵子	遠藤千恵美		
5	羽咋市立富永保育所保護者会	中藤　一成	木舩　　浩	松田　敏行	三輪　孝浩	徳和　梨恵	石崎　尚子		
6	羽咋市立粟ノ保保育所					奥村　正子	田中　久美	奥村　正子	田中　久美
7	羽咋市立粟ノ保保育所保護者会	安田　美和	赤井ゆかり	嵐　　真紀	星場真理子	酒井あゆみ	岩野　靖子	池田あゆり	酒井裕美子
8	羽咋市立余喜保育所					盛田　和美	福田　弘美	瀬戸　春美	坂本　厚子
9	羽咋市立余喜保育所保護者会	松下　和美	吉田　恵美	所司　浩子	稲村有希子	石川　美穂	上田　理奈	谷内田　光	堀　多樹子
10	羽咋市立西北台保育所					三星　式子	杉浦佐和子	盛田いずみ	板井みそ美
11	羽咋市立西北台保育所保護者会	酒井　美和	山岸　　愛	池田　綾美	上坂　昌子	西村　暁子	本吉チエミ	和賀　珠美	長浜　由季
12	千里浜保育所				古川　弘恵	古川　弘恵	古川　弘恵	中井　幸子	田中美佐子
13	千里浜保育所保護者会	柴中さおり	細川久美子	津田　京子	一谷　真澄	武元由美子	古川　絵奈	清水　仁美	檜垣　一美
14	こすもす保育園	坂下　和美	坂下　和美	鹿島　雅代	渡辺　幸江	渡辺　幸江	渡辺　幸江	渡辺　幸江	鹿島　雅代
15	こすもす保育園保護者会	西屋　孝子	飛澤　紀子	西屋　孝子	高井　澄枝	澤田妃佐恵	居田　泰子	大鍋　佐栄	村上　順花
	こすもす保育園保護者会	福島美知代	坂本喜代美	吉野　紀子	福島美知代	深見　春美			
16	とき保育園	渡辺　幸江	堀田　靖子	渡辺　幸江	鹿島　雅代	鹿島　雅代	鹿島　雅代	鹿島　雅代	疋田志津恵
17	とき保育園保護者会	坂本　浅子	荒瀬　裕子	福浦亜衣子	山　　君栄	半田　陽子	石川絵美子	多々見法子	堅田　磨美
	とき保育園保護者会	中西　　恵	山下　　梢	折本　和美					
18	邑知第一保育所保護者会	久保　京子							
19	邑知第二保育所保護者会	石田　美樹							
20	神子原保育所保護者会	高澤　涼子							
21	邑知保育園		出越　弘美	出越　弘美	出越　弘美	山本　静代	松井　弘美	松井　弘美	松井　弘美
22	邑知保育園保護者会		石田　美樹	夏嶋　久代	中越　眞澄	山田　直美	折田　澄江	清水　奈美	竹谷　友子
23	ゆりかご保育園	菊田　由美	奥村　宏美	奥村　宏美	菊田　由美	菊田　由美	菊田　由美	菊田　由美	菊田　由美
24	ゆりかご保育園（保護者会）	中越　淳子	松柳　友加	松柳　友加	新木あゆみ	山瀬真奈美	山瀬真奈美	坂下　愛里	坂下　愛里
25	羽咋白百合幼稚園（保育園）	繁在家真紀	繁在家真紀	繁在家真紀	横山ゆかり	横山ゆかり	横山ゆかり	石山　佳子	石山　佳子
26	羽咋白百合幼稚園保護者会	板坂　亜紀	辻田ゆかり	山口いず美	松井　美穂	松島　正代	岡山　尚子	畑　亜希子	高畠　美樹
	羽咋白百合幼稚園保護者会	藤岡真由美	井浪　紀子	若狭　葉子	西村　麻美				
27	羽咋幼稚園	山田　雅子	山本　静代	国田かおり	国田かおり	桜井　直美	中村　裕香	昔農　麻姫	片原真理子
28	羽咋幼稚園保護者会	平木　雅代	堀井　美佳	雄谷　直美	中山　明子	北出　　香	長田　雅子	山口　紀子	濱名　幸子
29	羽咋市校長会（小学校）	藤田　　茂	藤田　　茂	藤田　　茂	藤田　　茂	内田　恒平	内田　恒平	松山　智明	松山　智明
30	羽咋市校長会（中学校）	中村　康徳	中村　康徳	中村　康徳	中村　康徳	藤田　　茂	中村　康徳	北川　信之	北川　信之
31	羽咋市立羽咋小学校ＰＴＡ	田多　悦子	鹿肝　治美	庵　　正子	小林　弘美	中谷留美子	河崎由香里	平場加奈子	新木理恵子
32	羽咋市立粟ノ保小学校	岡田　明子	岩田　千佳	福島　里栄	福島　里栄	労網　秀子	労網　秀子	上杉満貴子	上杉満貴子
33	羽咋市立富永小学校ＰＴＡ	和角　静香							
34	羽咋市立越路野小学校	西部まさみ							
35	羽咋市立鹿島路小学校ＰＴＡ	松生　朋広							
36	羽咋市立瑞穂小学校		西部まさみ	西部まさみ	北山　啓子	瀬戸　裕子	松本美希子	労網　秀子	宮本桃美子
37	羽咋市立西北台小学校ＰＴＡ	岩城　健二	木曽　直樹	西野　康憲	今川　康博	岩城　利之	栗木　政明	山崎　輝雄	宮嵜　宏正
38	羽咋市立邑知小学校ＰＴＡ	橋本智恵子	安達　信枝	狭間　和美	中村　史代	五十嵐　京	中嶋　華菜	山田　史夏	大野　雅子
39	羽咋市立余喜小学校ＰＴＡ	中村真奈美	芝田　香織	辻田めぐみ	白藤　郁子	今井　真紀	谷口　夏子	稲村　克己	池田　一悟
40	羽咋市立羽咋中学校ＰＴＡ	片山みゆき	長岡香代子	村牧　和吉	松浦　顕雄	三波　嘉徳	塩谷　　悟	松本　　裕	松生　正友
41	羽咋市立邑知中学校（ＰＴＡ）	久保　千秋	金山　寿恵	金山　寿恵	谷内由美子	中越　　令	深見　春美	藤多　　理	大谷　　彰
42	羽咋市ＰＴＡ連合会（邏）	落合　千絵	北　　美香	赤池由紀子	北田クニ子	長瀬　亮子	三井　陽子	清水　和美	清水　仁美
		濱辺　静香	駒井　澄子	高野　節子	大窪　幸子				
43	羽咋市ＰＴＡ連合会（児）	落合　千絵	北　　美香	赤池由紀子	北田クニ子	谷内外美恵	服部　雅美	村田　正恵	上島久仁子
44	羽咋市ＰＴＡ連合会（生）	濱辺　静香	駒井　澄子	高野　節子	大窪　幸子	松井　由里	大山富美子	宮本小百合	久保田清美

歴代運営委員・部会員名簿

〔平成２５年度～３０年度、令和元年度〕

		２５年度	２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度
1	羽咋市教育委員会	石田　護	北山　吉郎	北山　吉郎	北山　吉郎	北山　吉郎	八島　和彦	八島　和彦
2	羽咋市保育所保育士会	杉浦佐和子	遠藤千恵美	坂本　厚子	盛田いずみ	山本　恭子	山本　恭子	
3	羽咋市保育部会							中屋　信枝
4	羽咋市立富永保育所							
5	羽咋市立富永保育所保護者会							
6	羽咋市立粟ノ保保育所	角橋　恵子	河島　真	山本　恭子	河島　真	山本　恭子	山本　恭子	大塚　千絵
7	羽咋市立粟ノ保保育所保護者会	金沢　麻美	中橋　久美	保志場知枝	中村　恵美	倉本　郁美	前多　美香	酒井裕美子
8	羽咋市立余喜保育所	杉浦佐和子	山本　恭子	坂本　厚子	中野　恵美	北山　和泉	北山　和泉	北山　和泉
9	羽咋市立余喜保育所保護者会	谷内田　光	宮本真佐江	坂井　好美	村田　典子	稲村　幸江	松本　純枝	今井　園子
10	羽咋市立西北台保育所	遠藤千恵美	遠藤千恵美	北川　恭子	盛田いずみ	北川　恭子	北川　恭子	北川　恭子
11	羽咋市立西北台保育所保護者会	和賀　珠美	長浜　由季	山岸　愛	竹川　千穂	小西　景子	西　奈津子	藤井　静香
12	千里浜保育所	田中美佐子	若狭由香里	髙橋めぐみ	塚本真紀子	高橋めぐみ	長田　絢香	青木　綾佳
13	千里浜保育所保護者会	池田　理恵	小川　一美	河副　陽子	宮本　理絵	竹本　真希	宮本　美弥	上野　優子
14	こすもす保育園	米谷　佳恵	盛田さおり	山本　愛	清水　美穂	原田　泰子	谷口　香織	中屋　信枝
15	こすもす保育園保護者会	森多真由美	浜本　悦子	根岸　祐己	高田　洋子	本吉　絵美	楠　佳菜	藤田　加奈
	こすもす保育園保護者会							
16	とき保育園	山本　靖子	元永　仁美	石田　博美	元永　仁美	飯室　香奈	村本　奈歩	本多麻衣子
17	とき保育園保護者会	中居千恵子	馬場かおり	幸田美和子	北村めぐみ	辻口　芙美	野嶋　瞳	堅田　磨美
	とき保育園保護者会							
18	邑知第一保育所保護者会							
19	邑知第二保育所保護者会							
20	神子原保育所保護者会							
21	邑知保育園	俵　陽子	俵　陽子	奥村　宏美	出越　弘美	俵　陽子	奥村　宏美	奥村　宏美
22	邑知保育園保護者会	永長　明子	北川　琴絵	藤岡　洋子	浅野　涼子	北川　琴絵	櫻井　玲子	中越　典子
23	ゆりかご保育園	菊田　由美	松本　智子	道井　明美	東　こみち	松本　智子	道井　明美	杉浦　涼香
24	ゆりかご保育園（保護者会）	奥田　泉	本多　由貴	杉浦　涼香	杉浦　涼香	山田　真友	山田　真友	山田　真友
25	羽咋白百合幼稚園（保育園）	石山　佳子	石山　佳子	横山ゆかり	石山　佳子	石山　佳子	石山　佳子	浜田彩由里
26	羽咋白百合幼稚園保護者会	丹羽　文実	杉村真由美	伊藤　陽子	梅田真由美	酒井　睦	吉川　さや	島野　理恵
	羽咋白百合幼稚園保護者会							
27	羽咋幼稚園	片原真理子	片原真理子	蔵野果緒莉	末廣　理央	上森　美鈴	上森　美鈴	小松かおり
28	羽咋幼稚園保護者会	中橋　美香	岡田　由貴	大橋奈美江	村上　栄美	栗山　純子	千田　陽子	東　由希
29	羽咋市校長会（小学校）	松山　智明	松山　智明	松山　智明	松山　智明	竹内　弘司	竹内　弘司	堀田　泰永
30	羽咋市校長会（中学校）	久保　雅裕	久保　雅裕	牧野　利明	牧野　利明	牧野　利明	井村　香澄	井村　香澄
31	羽咋市立羽咋小学校ＰＴＡ	大橋　見佳	岡部めい子	坂本　祥江	福田　薫	本多　有紀	川島　誠	谷口　尚美
32	羽咋市立粟ノ保小学校	上杉満貴子	上杉満貴子	上杉満貴子	上杉満貴子	上杉満貴子	上杉満貴子	上杉満貴子
33	羽咋市立富永小学校ＰＴＡ							
34	羽咋市立越路野小学校							
35	羽咋市立鹿島路小学校ＰＴＡ							
36	羽咋市立瑞穂小学校	宮本桃美子	労網　秀子	江場田裕美子	三原　彩香	松生美知子	辰尾絵里子	堀越　裕之
37	羽咋市立西北台小学校ＰＴＡ	塩谷　悟	小田原純一	曽福　重光	紺野　晴美	本吉　敏康	磯見　英美	岩野　竜之
38	羽咋市立邑知小学校ＰＴＡ	深見　明子	小石　美幸	寺井みゆき	多田由里子	盛田いずみ	能山明日香	木村　瞳
39	羽咋市立余喜小学校ＰＴＡ	今井　清弘	石川　美穂	今井　弘美	稲村　幸江	岡田　悦充	中村　和美	谷内田　光
40	羽咋市立羽咋中学校ＰＴＡ	駒井　直樹	濱名　和也	金田真由美	藤井　勝彦	山口　香	梅田　美紀	北出　宏予
41	羽咋市立邑知中学校（ＰＴＡ）	高沢　昭人	安達　和彦	若部　秀伸	長野　力也	川嶋　学	堀井　寛央	服部　可奈
42	羽咋市ＰＴＡ連合会（連）	西　有美	和田　典子	新田　照子	長野真寿美	上杉三枝子	儘田　春名	藤井　ルミ
43	羽咋市ＰＴＡ連合会（児）	吉田　理絵	村田　珠実	江場田裕美子	仲原美乃里	横井　雅子	山﨑　朋恵	上田　理奈
44	羽咋市ＰＴＡ連合会（生）	坂井　芳美	中村奈美恵	堀井　久美	山中みゆき	辰尾絵里子	小森和歌子	竹津真理子

歴代運営委員・部会員名簿

〔平成１７年度～２４年度〕

		平成１７年度	１８年度	１９年度	２０年度	２１年度	２２年度	２３年度	２４年度
45	羽咋市子ども会育成会	清水　栄一	安田　正則	渡辺　成子	山崎　隆雄	上島　　威	金森　　誠	中田　和也	保志場　守
46	石川県立羽咋高等学校	小泉　　伸	小泉　　伸	小泉　　伸	井表　照彰	井表　照彰	坂野　典子	坂野　典子	坂野　典子
47	石川県立羽咋工業高等学校	浅野　　順	坪田　美如	坪田　美如	坪田　美如	枡田　真里	枡田　真里	枡田　真里	枡田　真里
48	石川県立羽松高等学校	草木　康裕	釜谷　知雄	釜谷　知雄	釜谷　知雄	白藤　金一	白藤　金一	白藤　金一	草木　康裕
49	羽咋市公民館連絡協議会（運）	辻角　邦昭	橋場　浩和	橋場　浩和	橋場　浩和	橋場　浩和	橋場　浩和	橋場　浩和	橋場　浩和
50	羽咋市公民館連絡協議会（乳）	塩谷　　進	細田　宏昭	細田　宏昭	塩谷　義栄	塩谷　義栄	塩谷　義栄	塩谷　義栄	塩谷　義栄
51	羽咋市公民館連絡協議会（児）	橋本　　穣	政近　顕英	政近　顕英	政近　顕英	政近　顕英	政近　顕英	政近　顕英	政近　顕英
52	羽咋市公民館連絡協議会（生）	立中　英夫	立中　英夫	立中　英夫	立中　英夫	立中　英夫	細川　　聰	細川　　聰	細川　　聰
53	羽咋市町会長連合会（運）	一谷　　昭	一谷　　昭	田村　義信	本田　吉則	今井　憲昭	石井　　毅	石井　　毅	若狭隆太郎
54	羽咋市町会長連合会（児）	福浦　俊雄	保志場　堯	田村　義信	本田　吉則	今井　憲昭	石井　　毅	石井　　毅	若狭隆太郎
55	羽咋市町会長連合会（生）	宮本　　弘	川合　修一	山中　喜春	柳澤　豊志	水口　俊彦	迎　　明	谷内　碩央	谷内　碩央
56	羽咋市民生委員児童委員協議会（運）	松本　利明	松本　利明	松本　利明	酒井　照子	酒井　照子	酒井　照子	濱田　靖夫	濱田　靖夫
57	羽咋市民生委員児童委員協議会（乳）				酒井　照子	酒井　照子	酒井　照子	酒井　照子	酒井　照子
58	羽咋市民生委員児童委員協議会（児）	上田裕美子	松本　利明	松本　利明	川合　修一	川合　修一	川合　修一	濱田　靖夫	濱田　靖夫
59	羽咋市民生委員児童委員協議会（生）	石井　清介	石井　清介	石井　清介	石井　清介	石井　清介	石井　清介	石井　清介	石井　清介
60	羽咋市立千里浜児童センター	昔農　康隆	昔農　康隆	昔農　康隆	昔農　康隆	昔農　康隆	昔農　康隆	昔農　康隆	昔農　康隆
61	羽咋市青年団体連絡会議	古永　義文	松田　和也	畝　　和弘	今村　建典	干場　充宏	坂室　幸志	安達　裕俊	安達　裕俊
62	石川県羽咋警察署	村本　長好	坂本　　茂	坂本　　茂	四柳　善彦	四柳　善彦	四柳　善彦	細川　哲郎	細川　哲郎
63	羽咋保護区保護司会	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫
64	羽咋地区更生保護女性会（児）	木谷登枝子	木谷登枝子	松岡　昌子	松岡　昌子	木谷登枝子	松岡　昌子	松岡　昌子	松岡　昌子
		釜谷恵美子							
65	羽咋地区更生保護女性会（生）	田中小智子	松田　欣子	松田　欣子	松田　欣子	若狭智鹿子	若狭智鹿子	若狭智鹿子	吉田佳津子
		松田　欣子							
66	羽咋ライオンズクラブ	曽山　茂樹	高田　健一	大窪　哲夫	米谷　和義	杉本　孝司	杉本　孝司	杉本　孝司	杉本　孝司
		杉本　孝司							
67	羽咋ロータリークラブ	坂室　英仁	青山　善信	松田　健一	重光　康生	安田　　徹	坂室　英仁	岡山　耕二	三輪　孝浩
68	子育てサポーターリーダー				山田　和子	山田　和子	山田　和子	山田　和子	
					西村　麗子	西村　麗子	西村　麗子	西村　麗子	西村　麗子
					釜谷千恵子	釜谷千恵子	釜谷千恵子	釜谷千恵子	釜谷千恵子
					橋本　　穣	橋本　　穣	橋本　　穣	橋本　　穣	橋本　　穣
					中越　隆一	中越　隆一	中越　隆一	中越　隆一	中越　隆一
								酒井　照子	酒井　照子
					岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子
69	アドバイザー				山森　茂男	山森　茂男	山森　茂男	中村　康徳	中村　康徳
70	指導保育士				坪田美枝子	渡辺　久枝	渡辺　久枝	渡辺　久枝	渡辺　久枝
71	保健師				加茂野恭子	加茂野恭子			

歴代運営委員・部会員名簿

〔平成２５年度～３０年度、令和元年度〕

		２５年度	２６年度	２７年度	２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度
45	羽咋市子ども会育成会	中村　弘幸	米谷　　徹	柳森　絵美	松村　虎鉄	盛田　祐介	竹谷　真一	幸田健太郎
46	石川県立羽咋高等学校	坂野　典子	坂野　典子	飯田　泰春	本多健太郎	本多健太郎	松浦　倫子	宮嵜　宏正
47	石川県立羽咋工業高等学校	枡田　真里	枡田　真里	枡田　真里	枡田　真里	枡田　真里	鍋島明寿美	鍋島明寿美
48	石川県立羽松高等学校	藏野　紀夫	藏野　紀夫	藏野　紀夫	藏野　紀夫	藏野　紀夫	藏野　紀夫	草木　康裕
49	羽咋市公民館連絡協議会（運）	橋場　浩和	山森　茂男	山森　茂男	山森　茂男	山森　茂男	堀　　和秀	堀　　和秀
50	羽咋市公民館連絡協議会（乳）	塩谷　義栄	岩城　孝之	岩城　孝之	平井　正信	清水　久範	清水　久範	山岸　孝司
51	羽咋市公民館連絡協議会（児）	政近　顕英	政近　顕英	政近　顕英	岩城　孝之	岩城　孝之	泉　　敏克	泉　　敏克
52	羽咋市公民館連絡協議会（生）	細川　　聰	山森　茂男	山森　茂男	山森　茂男	山森　茂男	堀　　和秀	堀　　和秀
53	羽咋市町会長連合会（運）	島　　義信	北野　重彦	浜名　　猛	浜名　　猛	古永　哲也	酒井　一人	酒井　一人
54	羽咋市町会長連合会（児）	島　　義信						
55	羽咋市町会長連合会（生）	北野　重彦	北野　重彦	濱名　　猛	濱名　　猛	古永　哲也	酒井　一人	酒井　一人
56	羽咋市民生委員児童委員協議会（運）	濱田　靖夫	北野　清喜	北野　清喜	北野　清喜	濱名　　猛	濱名　　猛	濱名　　猛
57	羽咋市民生委員児童委員協議会（乳）	酒井　照子	原　　清美	原　　清美	原　　清美	森田美千子	森田美千子	森田美千子
58	羽咋市民生委員児童委員協議会（児）	濱田　靖夫	北野　清喜	北野　清喜	北野　清喜	浜名　　猛	濱名　　猛	濱名　　猛
59	羽咋市民生委員児童委員協議会（生）	石井　清介	岡田　正治	岡田　正治	岡田　正治	三輪　　守	三輪　　守	三輪　　守
60	羽咋市立千里浜児童センター	澤田　茂樹	澤田　茂樹	澤田　茂樹	澤田　茂樹	澤田　茂樹	澤田　茂樹	澤田　茂樹
61	羽咋市青年団体連絡会議	石井　昌志	酒井　恵美	酒井　恵美	酒井　恵美	吉野　輝子	杉本　孝丸	升本　侑太
62	石川県羽咋警察署	北濱　　篤	北濱　　篤	中嶋　泰弘	黒田　大樹	小坂　亮輔	小坂　亮輔	窪田　大輔
63	羽咋保健区保健司会	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	桜井　哲夫	上井　忠彦	上井　忠彦
64	羽咋地区更生保護女性会（児）	松岡　昌子	吉田佳津子	吉田佳津子	吉田佳津子	吉田佳津子	吉田佳津子	吉田佳津子
65	羽咋地区更生保護女性会（生）	吉田佳津子	北野　敬子	北野　敬子	北野　敬子	北野　敬子	北野　敬子	北野　敬子
66	羽咋ライオンズクラブ	米谷　和義	大塚　幸男	寺井　哲也	紙谷　和彦	大塚　幸男	紙谷　和彦	初谷　雅樹
67	羽咋ロータリークラブ	金井亮太郎	坂井　　忍	松中　雅樹	林　　一夫	三輪　孝浩	島田　二郎	駒井　秀宏
68	子育てサポーターリーダー							
		釜谷千恵子						
		橋本　　穣						
		酒井　照子						
		川合　勇一	川合　勇一	川合　勇一	川合　勇一	川合　勇一		
		八島　恵美	八島　恵美	八島　恵美	八島　恵美	八島　恵美	八島　恵美	八島　恵美
		酒井小夜子	酒井小夜子	酒井小夜子				
			丸谷れい子	丸谷れい子	丸谷れい子	丸谷れい子		
			酒井由美子	酒井由美子	酒井由美子	酒井由美子	酒井由美子	
					富田　則子	富田　則子	富田　則子	富田　則子
							遠藤千恵美	遠藤千恵美
							古屋　映子	古屋　映子
								坂本　和美
								福田　弘美
		岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子	岡田　順子
69	アドバイザー	中村　康徳						
70	指導保育士	渡辺　久枝						
71	保健師							

事業内容経過報告

市民憲章実践活動の一環として市民ぐるみで、家庭教育の推進を願い結成された。

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成１年目 (昭和 55 年度)	実践活動の基本方針のスローガンとして ・　「あいさつ運動」「家庭の日の励行」「家庭クリーン運動」設定 ・　夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成２年目 (昭和 56 年度)	・　前年度の「スローガン」の周知、実践 家庭教育の実態を 2,297 人を対象にアンケート調査 「あいさつ運動」　・若い世代は交している。 ・母親より父親が交さない。 「家庭の日の励行」　・意味がよく理解されていない。 ・励行している家庭　25% ・今後励行したい家庭　63% 「家庭クリーン運動」　・意味がよく理解されていない。 ・実施している家庭　37% ・実施しない家庭　60% ・　夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成３年目 (昭和 57 年度)	調査結果に基づき、子どもの発達状況に応じた「家庭のしおり」を作成。各部会毎に実践項目を掲げ、広報・チラシ・ステッカーを市内に配布 ・青少年健全育成チラシ　・あいさつ運動のステッカー ・手作り広報　・夏休みのチラシ「我が家の夏休み計画表」発行　・家庭教育のしおり「そだてる・はぐくむ」の発行
結成４年目 (昭和 58 年度)	親の教育に焦点を置き、子どもの発達段階における、家庭教育を考える集い ・　講演会の開催 ・　市民憲章推進実態調査と同時に、家庭教育のしおりの活用状況についてアンケート調査 ・　地域の特性を活かし「邑知健児を育てる会」と生徒部会の合同懇談会開催、意見交換 ・　夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成５年目 (昭和 59 年度)	青少年の社会参加と地域ぐるみの家庭づくりの推進に努め、各種団体と合同で青少年に関する意見交換会を開催 ・「そだてる・はぐくむ」のしおりの利用状況の実態調査 ・結果に基づき一層の推進をはかる ・夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成６年目 (昭和 60 年度)	・合同部会と講演会 「家庭教育推進協議会のあり方と家庭教育の充実をめざして」 ・県家庭教育推進大会参加 ・家庭教育地域活動 （公民館事業の実施） ・夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成７年 ～12 年目 (昭和 61 年 ～平成３年度)	・生涯教育計画策定並びに生涯教育推進委員会の中に包含しつつ、運動を展開 ・夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成 13 年目 (平成４年度)	・「そだてる・はぐくむ」の内容を一部修正し、改訂版を作成。関係機関配布 ・夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成 14 年目 (平成５年度)	・設置要項に基づき運営委員会を再結成し、専門部会を開催「そだてる・はぐくむ」をもとにして、推進事業を立案 ・乳幼児部会では、ぬり絵を作成、裏に親へのメッセージを入れ活用 ・夏休みチラシ「我が家の夏休み計画表」発行
結成 15 年目 (平成６年度)	・「そだてる・はぐくむ」改訂版を市内全家庭配布 ○乳幼児部会「そだてる、はぐくむ」冊子の中から、挿絵をぬり絵に作成し、裏へ親へのメッセージを入れ活用 ○児童部会　ユニークな家庭教育に関する講演会の実施 ○生徒部会「オアシス運動」のポスター原画作成 ○青年部会　成人を迎える親への意識調査

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 16 年目 (平成 7 年度)	○乳幼児部会 ・ 家庭教育冊子「そだてる・はぐくむ」の中から自分でする子にしようの挿絵をぬり絵に作成し、裏へ親へのメッセージを入れ活用 ・ 子育て講演会の実施（市内幼稚園、保育所、保育園、一般市民）や子育てふれあい広場を開催し、育児に関する学習、交流を図る ○児童部会 ・ 「親子ラジオ体操」「家庭クリーン・アップ」運動の実施 ・ 子育て座談会の実施（市内小・中学校生徒の保護者及び教師） ・ 野外活動など、親と子のふれあい交流活動を実施 ○生徒部会 ・ あいさつ運動ポスターを作成し、市内幼稚園、保育所、保育園、小学校、中学校、公民館等市内主要場所に掲示し意識を高める ・ あいさつ運動ポスターを市内小・中学校児童生徒より募集し、その意識を高める ・ 応募作品はマルシェ、ジョイフルにて展示し、意識の向上を図る ○青年部会 ・ 昨年度に引き続き「成人を迎える親への意識調査」の実施 ３５２名を対象に実施、結果は次のとおりであった 昨年度同様、予想以上に家庭教育の実態は良好であった 現在の若者は社会活動、地区活動、公民館活動より交友関係重視型である 新成人を迎える若者の家庭は健全な家庭が多い 親は社会参加、公民館活動への参加を望んでいる ・ 青年団層と懇談会を実施

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 17 年目 (平成８年度)	家庭教育ふれあい事業の実施 ○乳幼児部会 ・ 家庭教育冊子「そだてる・はぐくむ」の中からじょうぶな子にしようの挿絵をぬりえに作成、間違い探し形式とし裏へ親へのメッセージを入れ２回に渡り活用実施 （市内全幼稚園、保育所、保育園、子育てふれあい広場で実施） ・ ぬりえの募集 応募数３１１点（市内全幼稚園、保育所、保育園で実施） 市内公共施設にて展示 （マルシェ－9/7~9/18）（ジョイフル－9/21~10/16） ・ 子育て講演会 「今！親に求められているもの－子育ての原点－」の開催 ・ あいさつ運動ポスターの作成、掲示し意識の向上を図る。 ・ 世界でただ一枚のカレンダーの制作 （市内全幼稚園、保育所、保育園で実施） ○児童部会 ・ 夏休みラジオ体操の実施 （市内小・中学校へチラシ作成し配布） ・ いじめや不登校を克服する講演会の開催 ・ 野外活動等、親と子の触れ合い交流活動を実施 ・ あいさつ運動標語募集 ・ 座談会「ビデオによる問題提起－我が子を伸ばす親の一言」の開催。県の推薦によりげんき日記に放送 「子育てで親も育つ」－１月 12 日(日)午前 7:00~7:15－ ○生徒部会 ・ あいさつ運動ポスターを作成し市内幼稚園、保育所、保育園、小学校、中学校、公共施設に掲示し意識を高める。 ・ あいさつ運動標語を募集し、意識を高める 応募数４００点－あいさつは みんなの心を 開く窓－ ・ いじめや不登校を克服する講演会の開催 ・ あいさつ運動の優秀標語を看板に作成、掲示し意識の向上を図る。 ○青年部会 ・ 青年と語る会開催 ・ 「成人を迎える親への意識調査」の実施 －平成６年～８年迄　３年間実施－ ・ ３４８名を対象に実施、結果は別紙のとおりであった。

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 18 年目 (平成９年度)	○乳幼児部会 ・ 家庭教育冊子「そだてる・はぐくむ」の中から自分でする子にしようの挿絵をぬりえに作成、間違い探し形式とし裏へ親へのメッセージを入れ２回にわたり活用実施 （市内全幼稚園、保育所、保育園、子育てふれあい広場） ・ ぬりえの募集－応募数４９９点 （市内全幼稚園、保育所、保育園） 応募数１７点（子育てふれあい広場） 市内公共施設にて掲示 (マルシェ－8/22~8/29)（ジョイフル－9/1~9/22) ・ 子育て標語の募集－応募数１５０点 （市内全幼稚園、保育所、保育園） 応募数１５点（子育てふれあい広場） 羽咋市福祉祭りにて子育て標語掲示(コスモアイル羽咋にて)意識の向上を図る。 ・ 親子ゲーム大会（市内全幼稚園、保育所、保育園、 子育てふれあい広場、市内未就学児） ・ 文化祭にて羽咋市家庭教育推進協議会乳幼児部会の紹介、子育て標語の掲示 ・ 月めくり子育て標語集作成 ○児童部会 ・ 夏休みラジオ体操の実施（市内小・中学校へチラシ、 ポスター作成し配布掲示、各地域において実施日を記入） チラシ・ポスターの図は中学生に依頼し、使用 ・ おもしろ科学実験実施 ・ 父親の出前講座「共に作ろう夏休みクッキング」開催 ・ 子育てについての座談会 ビデオ視聴「ともに育てる」による問題提起－座談会開催 ・ いじめや不登校を考える講演会 ○生徒部会 ・ 子どもの職場参観実施（市内中学校２校） ・ 夏休み「職場参観」実施 ・ あいさつ運動標語募集、意識を高める。－２年目に入る。優秀標語については年間を通じて啓蒙していく。 ・ あいさつカレンダー（入選標語入り）作成利用。 ・あいさつ運動ポスターを作成し市内幼稚園、保育所、保育園、小・中学校、公共施設に掲示し意識の向上を図る。

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 18 年目 (平成 9 年度)	○青年部会 ・ 青年と語る会開催 市内１１公民館より１８才以上の青年代表 ・ 「成人式を迎える親への意識調査」の実施 平成６年～平成８年（３年間継続） 平成９年度は字句修正、見直しの実施（意識調査の実施） ○専門部会共通推進事業 ・ 家庭教育スローガンの啓蒙実践活動の推進 (1)あいさつ運動(2)家庭の日の励行(3)家庭クリーン運動 ・ 家庭の教育力充実事業 子育てネットワークの形成 ｱ)ネットワーカーの派遣 ｲ)子育て広場の開設 ｳ)親子交流ふれあい事業 ・親子交流ふれあい事業 ・子育てグループの家庭教育学習活動 ・お年寄りの知恵伝授講座 （子どもとの交流事業） ｴ)父親の家庭教育への参加促進 ・父親のための家庭教育出前講座 ・子どもの職場参観 30minutes books・明るい家庭づくり読本･ﾋﾟﾝｸﾞｰのｸﾗｯｼｯｸｺﾝｻｰﾄ等教材活用家庭教育冊子「そだてる･はぐくむ」の活用 各発達段階における家庭教育を考える講演会・座談会・懇談会の開催 あいさつ運動のﾎﾟｽﾀｰ作成、市内主要箇所に掲示
結成 19 年目 (平成 10 年度) 別名：羽咋市家庭教育支援センター	○乳幼児部会 ・ ぬりえ　展示期間 各保育所･保育園･幼稚園 7 月下旬~8 月上旬 ﾏﾙｼｪ羽咋店 8 月 14 日~31 日　ｼﾞｮｲﾌﾙ 9 月 1 日~14 日 文化祭展示羽咋公民館 11 月 1 日~3 日 ・ あいさつ標語　あいさつ標語集作成 文化祭展示羽咋公民館 11 月 1 日~3 日 ・ 家族のアルバムを作ろう「我が家の夏」 文化祭展示羽咋公民館 11 月 1 日~3 日 ・ 母親父親の家庭教育参加講座 「子育て時代を夫婦でどう生きるか」 ・ 親子ゲーム大会　千里浜公民館 11 月 29 日 ・ 世界にただ一枚のカレンダー 「心豊かに思いやりのある子にしよう」 ・ 年間まとめーたんぽぽの作成 ・家庭教育冊子「そだてる・はぐくむ」改訂版を市内配布

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 19 年目 (平成 10 年度)	○児童部会 ・「もらってほのぼの手紙を出そう」－手紙でわかった家族の心－　応募総数 395 名　まとめ感想チラシ配布 ・「テレビを見て親子で語ろう」 応募総数 455 名　まとめ感想チラシ配布 ・講演会開催「子育てで今問われていること」池岡悟氏 ・講演会開催「ふれあい～愛の始まり～」大下陸郎氏 ・年間まとめ－しあわせは家庭からのリーフレットの作成 ○生徒部会 ・あいさつ運動標語ポスター募集、３年目に入る。優秀標語については年間を通じて啓蒙していく。 ・あいさつポスター写真入りカレンダー作成。優秀作品４点を写真づりカレンダーに掲載、市内小、中学校全学級へ配布、掲示活用してもらう。 ・あいさつ運動ポスターを作成し市内幼稚園、保育所、保育園、小・中学校、公共施設に掲示し意識の向上を図る。 ・講演会開催「ふれあい～愛の始まり～」大下陸郎氏 ・いま、少年たちは－子どもの本音、大人の視線－ 少年たちの心は何処にあるのか－アンケート調査実施 (市内中･高校生) ・もらってほのぼの－中高校生からの手紙－冊子作成 ・年間まとめ－しあわせは家庭からのリーフレット作成 ○青年部会 ・「成人式を迎える青年の意識調査」の実施　(平成 10 年度第１回目)　回答 252 名－アンケート調査結果の報告チラシ作成 ・青年と語る会開催 市内１１公民館より２０才の青年代表 ○運営委員会 ・ともにたのしむ子育てを－家庭の在り方を見直そう－の発行 ・家庭教育のしおり「そだてる・はぐくむ」の発行

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 20 年目 (平成 11 年度) 別名：羽咋市家庭教育支援センター	○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子ゲーム大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「たんぽぽ冊子」 「子育てネットワーカーの講習会実施」 「子育て広場の実施（市文化会館、公民館、市児童センター)」 ○児童部会　「三行詩」「あいさつ運動ポスター」 「伝統工芸品を使った遊び」 ○生徒部会　「三行詩」「あいさつ運動ポスター」 「子どもの職場体験、及び親の職場参観」
結成 21 年目 (平成 12 年度) 別名：羽咋市家庭教育支援センター	○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子ゲーム大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「たんぽぽ冊子」 「子育てネットワーカーの講習会実施」 「子育て広場の実施（市文化会館、公民館、市児童センター)」 ○児童部会　「三行詩」「あいさつ運動ポスター」 「伝統工芸品を使った遊び」 ○生徒部会　「三行詩」「あいさつ運動ポスター」 「子どもの職場体験、及び親の職場参観」
結成 22 年目 (平成 13 年度) 別名：羽咋市家庭教育支援センター	「子育てサポーター養成講座・講習会・研修会」 ○乳幼児部会　「親子アルバム」文化祭展示羽咋体育館 11 月 2 日~4 日「親子で遊ぼう大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「我が家の夏コンテスト（家族っていいな、子育て体験談)」「三世代家庭教育ふれあい交流フェスティバル（水カンリンバ作り)」「父親の家庭教育出前講座」「たんぽぽ冊子」 ○児童部会　「三世代家庭教育ふれあい交流フェスティバル（水カンリンバ作り)」「三行詩」「子育て体験談」「あいさつ運動ポスター」「三行詩優秀作品「こんちまん」に掲載」「父親の家庭教育出前講座」「我が家の家訓」「子育ての知恵」 ○生徒部会　「あいさつ運動ポスター」「親子のきずなを求めて」（短歌形式のハガキ歌）「三行詩」

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 23 年目 (平成 14 年度)	○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子で遊ぼう大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「たんぽぽ冊子」 ○児童部会　「三行詩」「三行詩優秀作品集」 ○生徒部会　子育て学習推進事業、「生徒の生活の様子を伺うアンケート」（対象：中学２年、高校２年）「思春期講座」
結成 24 年目 (平成 15 年度)	○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子で遊ぼう大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「たんぽぽ冊子」 ○児童部会　「三行詩」「非行・被害防止講座」「三行詩優秀作品集」 ○生徒部会　「生徒の生活の様子を伺うアンケート」「思春期子育て講座」
結成 25 年目 (平成 16 年度)	○子育てサポーター部会　子育てたんぽぽ広場(育児悩み相談) 妊娠期子育て講座(両親学級)､イベント開催時の乳幼児一時保育 ○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子で遊ぼう大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「たんぽぽ冊子」（作成しない） ○児童部会　「三行詩」「羽咋市ふれあい読書」（７～２月）「非行・被害防止講座」「三行詩優秀作品集」 ○生徒部会　「生徒の生活の様子を伺うアンケート」「明日の親となる中高生対象子育て講座」「非行・被害防止講座」「父親家庭教育セミナー」（講演会、裁縫教室、料理教室）
結成 26 年目 (平成 17 年度)	○子育てサポーター部会　子育てたんぽぽ広場(育児悩み相談) 妊娠期子育て講座(両親学級)､イベント開催時の乳幼児一時保育 ○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子で遊ぼう大会」「世界でただ一枚のカレンダー」 ○児童部会　「三行詩」「羽咋市ふれあい読書」（７～10 月）「非行・被害防止講座」「三行詩優秀作品集」(作成しない) ○生徒部会　「生徒の生活の様子を伺うアンケート」「明日の親となる中高生対象子育て講座」「非行・被害防止講座」「父親家庭教育セミナー」（講演会）

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 27 年目 (平成 18 年度)	○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子で遊ぼう大会」 「世界でただ一枚のカレンダー」 ○児童部会　「三行詩」「羽咋市ふれあい読書」 「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「生徒の生活の様子を伺うアンケート」 「明日の親となる中高生対象子育て講座」 「非行・被害防止講座」 「父親家庭教育セミナー」（講演会・２回）
結成 28 年目 (平成 19 年度)	○乳幼児部会　「親子アルバム」「親子で遊ぼう大会」「世界でただ一枚のカレンダー」「次世代の親となる中高生の楽しいふれあい交流事業（新)」 ○児童部会　「三行詩」「羽咋市ふれあい読書」「家族ふれあいカード（新)」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「生徒の生活の様子を伺うアンケート」「家族ふれあいカード（新)」「思春期子育て講座」「非行・被害防止講座」「父親家庭教育セミナー」(講演会)
結成 29 年目 (平成 20 年度)	○家庭教育支援部会 ●関係情報の提供 「子育て意識調査」「子育て意識調査結果公表用チラシ」 「家庭教育情報誌」「家庭教育推進協議会の啓発用チラシ」 ●相談体制の整備 「両親学級での、子育てサポーターリーダーによる育児相談、訪問相談」 ●子育て・親育ち講座 「両親学級」「ＣＡＰ講演会(市内小学校又は小学校ＰＴＡ)」 ○乳幼児部会　「親子アルバム」「羽咋市ふれあい読書」「親子で遊ぼう大会」 ○児童部会　「三行詩」「羽咋市ふれあい読書」「家族ふれあいカード」「子育て意識調査」「非行・被害防止講座」「ＣＡＰ講演会」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「子育て意識調査」「非行・被害防止講座」「父親家庭教育セミナー」

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 30 年目 (平成 21 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育相談情報紙発行（子育て意識調査結果に基づいた情報を提供)」「相談事業に関する連携」 「ＣＡＰ講演会」「水谷修家庭教育講演会」 ○乳幼児部会　「親子アルバム」「羽咋市ふれあい読書」「親子で遊ぼう大会（インフルエンザ感染拡大防止のため中止)」 ○児童部会　「三行詩」「羽咋市ふれあい読書」「家族ふれあいカード」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「生活指導講演会」 「非行・被害防止講座」「ＣＡＰ講演会」
結成 31 年目 (平成 22 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育相談情報紙改訂版発行」「相談事業に関する連携」「ＣＡＰ講演会」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」「ＣＡＰ講演会」 ○児童部会　「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」 「羽咋市ふれあい読書」「家族ふれあいカード」 「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」 「家族ふれあいカード」「非行・被害防止講座」
結成 32 年目 (平成 23 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育相談情報紙再改訂版発行」「相談事業に関する連携」「ＣＡＰ講演会」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」「ＣＡＰ講演会」 ○児童部会　「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」 「羽咋市ふれあい読書」「家族ふれあいカード」 「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」 「家族ふれあいカード」「非行・被害防止講座」

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 33 年目 (平成 24 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第３号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」「ＣＡＰ講演会(大人ワークショップ)」 ○児童部会　「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「家族ふれあいカード」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「家族ふれあいカード」「非行・被害防止講座」
結成 34 年目 (平成 25 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第３号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「非行・被害防止講座」
結成 35 年目 (平成 26 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第２号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「家庭教育アンケート」「非行・被害防止講座」

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 36 年目 (平成 27 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第３号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」「はくい子育て講演＆座談会（はくい郡市流子育て)」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「非行・被害防止講座」
結成 37 年目 (平成 28 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第２号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」「子育て意識調査」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「非行・被害防止講座」

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 38 年目 (平成 29 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第２号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「子育て標語」「月めくり子育て標語集作成」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「非行・被害防止講座」
結成 39 年目 (平成 30 年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第２号）発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」「家庭教育講演会（羽咋郡・市ブロック会議）「ＣＡＰ講演会」」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「子育て標語」「子育て標語集（ＢＯＸ型）作成」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」（台風の影響を考慮して中止）「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「スマートフォン等利用実態調査（高校生対象)」「非行・被害防止講座」

年　度	推　進　事　業（活　動）
結成 40 年目 (令和元年度)	○家庭教育支援部会 「羽咋市家庭教育情報紙（第１号～第２号）発行」「家庭教育推進協議会４０周年記念誌発行」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○乳幼児部会　「親子ふれあいアルバム」「子育て標語」「子育て標語集（クリアファイル型）作成」「羽咋市ふれあい読書」「はくい福祉まつり「遊ぼうコーナー」に参加」「ＣＡＰ講演会（大人ワークショップ、子どもワークショップ)」 ○児童部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「羽咋市ふれあい読書」「非行・被害防止講座」 ○生徒部会　「家族ふれあいカード」「家族川柳」「家族川柳入選作品集発行」「スマートフォン等利用実態調査（中学生対象)」「非行・被害防止講座」

アンケート調査結果について

子育て意識調査

保護者が家庭教育に関して、どのような「悩みや気がかり」をお持ちかを調査した結果を掲載してあります。

小中学生の保護者を対象に、平成２８年７月実施。

スマートフォン等利用実態調査（対象：高校生）

市内の高校に通う生徒たちのスマートフォン等利用実態調査の結果を掲載してあります。

１、２年生対象に、平成３０年７月実施。

スマートフォン等利用実態調査（対象：中学生）

市内の中学校に通う生徒たちのスマートフォン等利用実態調査の結果を掲載してあります。

全学年を対象に、令和元年７月実施。

子育て意識調査

子育ての「悩みや気がかり」「考え」を教えてください

羽咋市家庭教育推進協議会では、小学生、中学生の保護者の皆様を対象にして、子育て情報を提供させていただきたいと思っています。

つきましては、保護者の皆様が子育てや家庭教育に関してどのような「悩み・気がかり」や「考え」をお持ちなのかをお聞きして、その結果に基づいて情報を発信していきたいと考えています。

そのための意識調査ですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査の結果は、すべて統計的に処理され、目的外に使用することは一切ありません。

1　あなたは、次のような「悩みや気がかり」がありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、それぞれ（1）～（5）の中で特に気になるものには、◎をつけてください。

（1） お子様の【日常生活】について

a. 食事中の態度・マナー　　b. 犯罪や事故に巻き込まれること

c. 整理整頓　　d. 生活のリズム

（2） お子様の【成長、生活態度や友だち関係】について

e. 運動機能や体の成長発達　　f. 友だちとの関係　　g. 学校への行きしぶり

h. 子どもの性格　　i. 現在の態度や様子

（3） お子様の【教育・しつけ】について

j. 教育費　　k. 学校生活の様子　　l. お金の使い方

m. 勉強の成績　　n. 子どもとの接し方

（4）あなた自身のこと

o. 人間関係　　p. 夫婦関係　　q. 家族関係　　r. からだの健康

s. 心の健康　　t. 仕事と家庭の両立

（5）お子様の【ipod touch、携帯電話、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ、ﾀﾌﾞﾚｯﾄ、ﾊﾟｿｺﾝ、ｹﾞｰﾑ等】について

u. 使用時間　　v. 視力の低下　　w. 使用に係る人的トラブル

x. 勉強時間の不足・学力の低下　　y. 家族の会話不足　　z. 利用料金

2　あなたはお子様（あるいは、あなた自身）が上記（5）の機器を使用するに当たって、どのような考えをお持ちですか。ご自由にお書き下さい。

（　　）

3　あなたの家庭では、家族がそろって食事をとっていますか。あてはまる方に○をつけてください。また、とっていない場合、その理由も簡潔にお書き下さい。

朝：　とっている　・　とっていない　　**夜：　とっている　・　とっていない**

理由 ↓　　理由 ↓

（　　）　（　　）

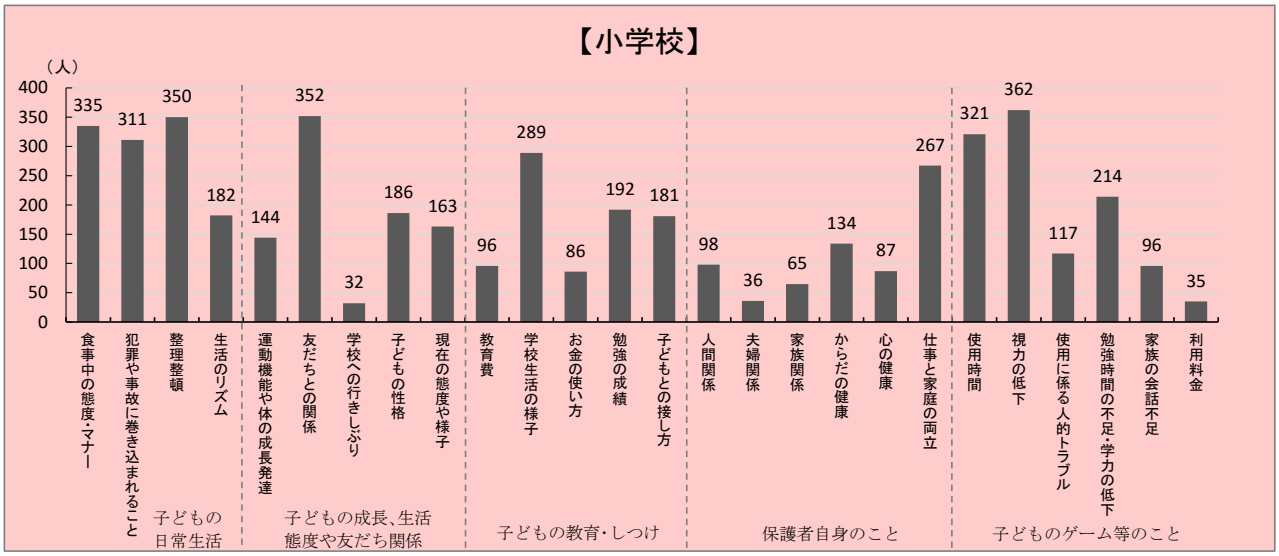
4　あなたは子どもと接している中で、楽しいと感じるのはどんなときですか。不安を感じるのは、どんなときですか。ご自由にお書き下さい。

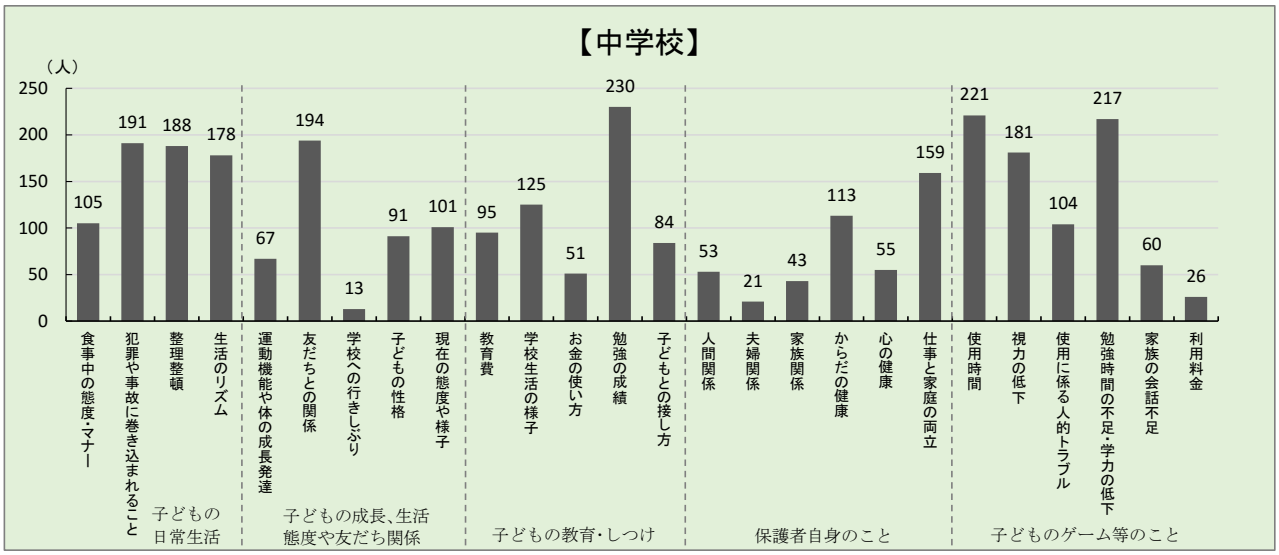
（　　）

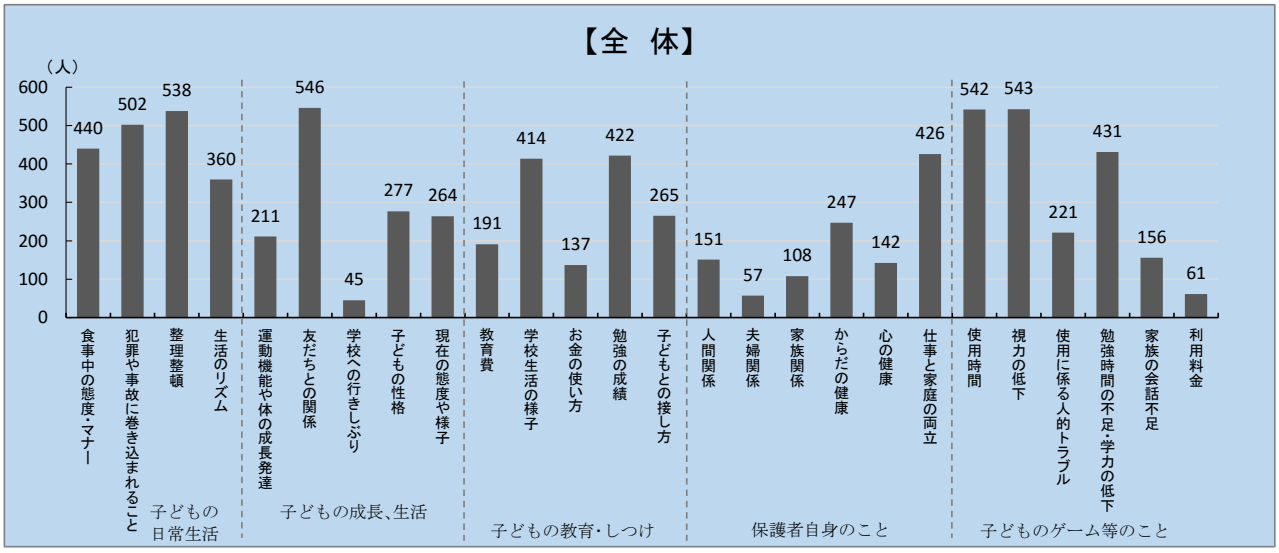
ご協力ありがとうございました。

子育て意識調査（対象：小中学生の保護者）

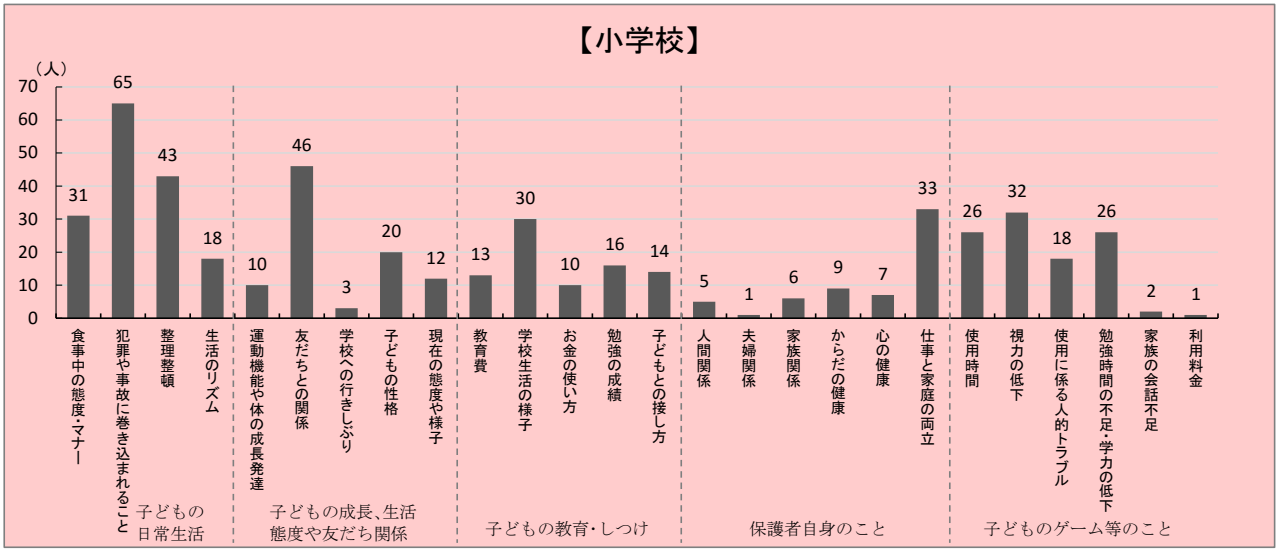
子育て意識調査 「悩みや気がかり」があるか（〇の部分、複数回答）

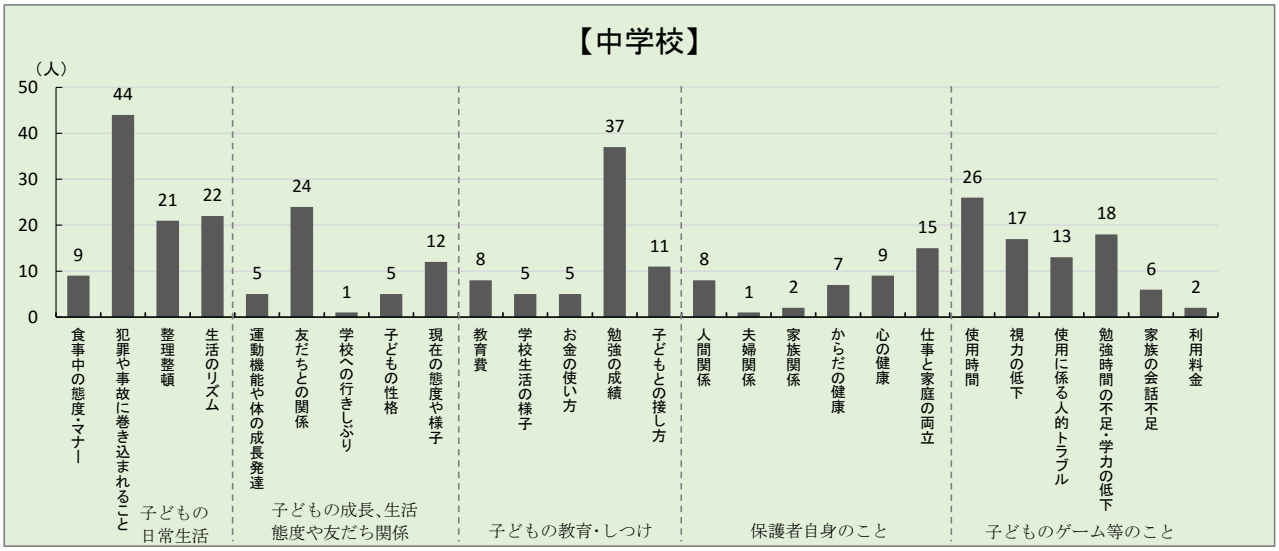


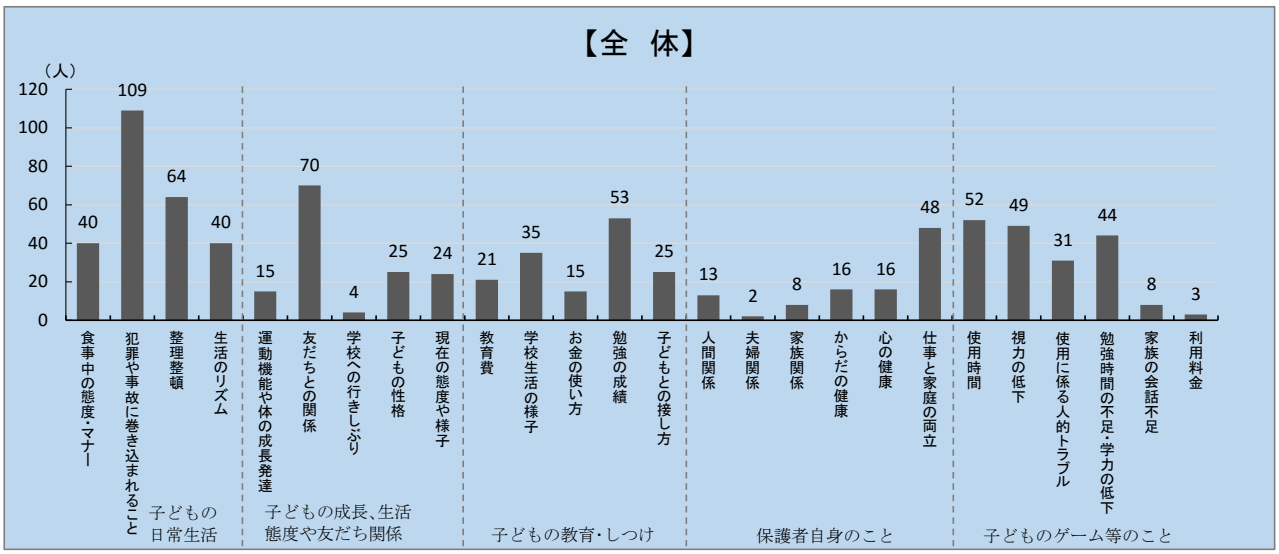




子育て意識調査　その中で、特に気になるもの（◎の部分）

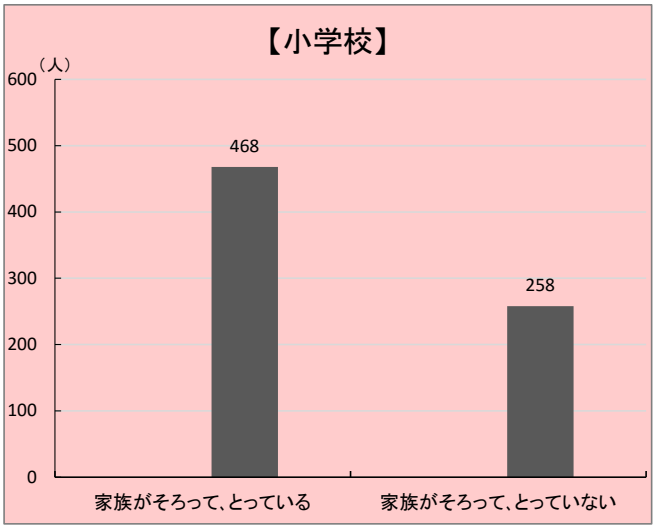


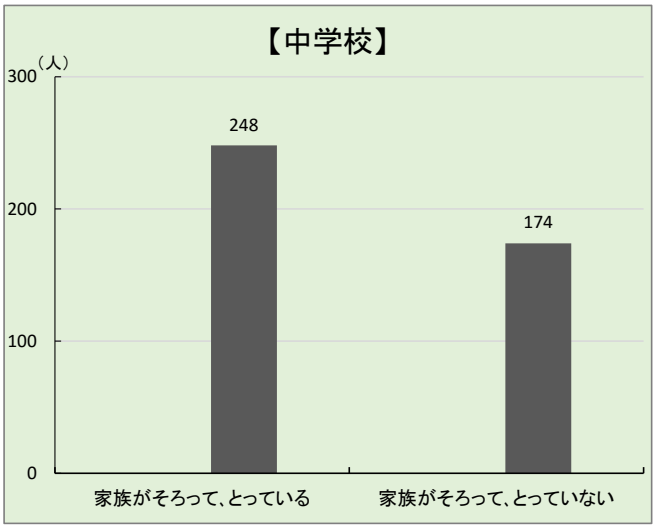


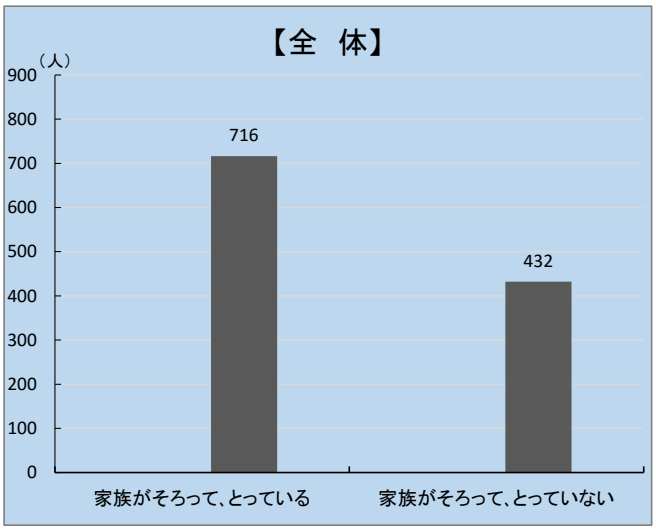


子育て意識調査　家族がそろって食事をとっているか

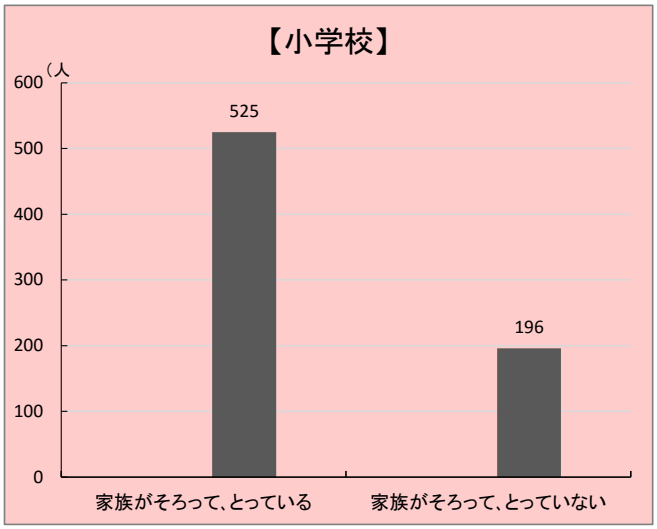
【朝食の摂取状況】

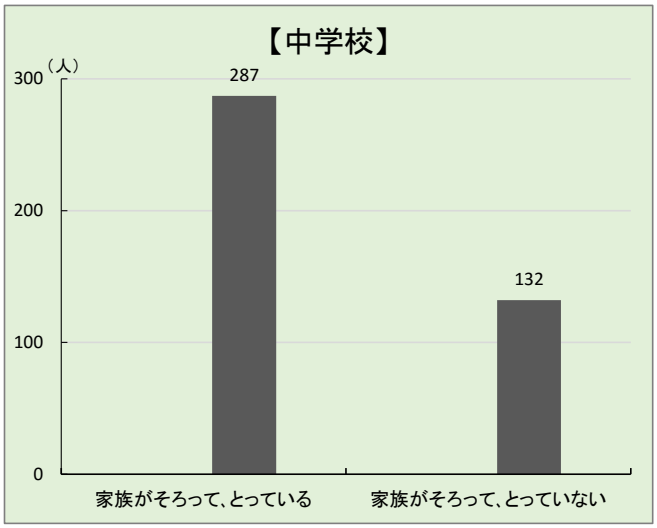


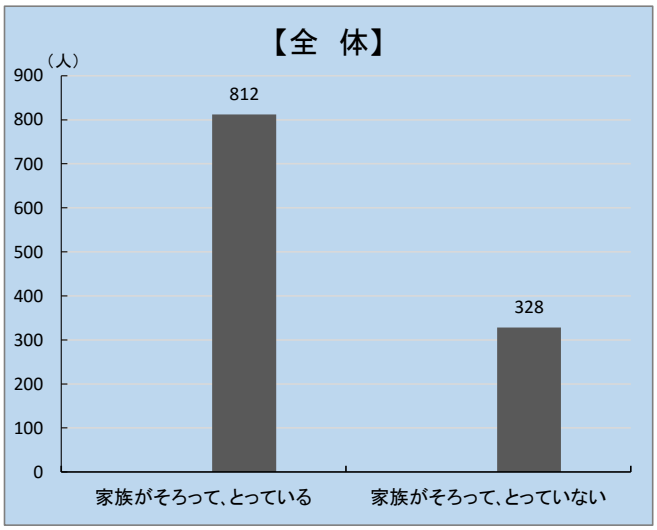




【夕食の摂取状況】







羽咋市内の高校に通う

高校生のスマートフォン等の利用について

引用：高校生のスマートフォン利用実態調査（MMD 研究所）

このアンケートは、みなさんの「**スマートフォン等**」の利用の様子を把握することを目的としています。
「**スマートフォン等**」というのは、このアンケートでは「**スマートフォン、携帯電話**」を指しています。パソコンやタブレット等は含みません。
本調査の結果は、すべて統計的に処理されますので、個人のプライバシーに関する事柄が公表されることは一切ありません。ありのままお答え下さい。

Q1. あなたは現在高校何年生ですか？ あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

１　高校１年生　　２　高校２年生

Q2. あなたの性別を教えて下さい。 あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

１　男子　　２　女子

Q3. あなたはスマートフォンや携帯電話（以下、スマートフォン等とする）**を持っていますか？**

あてはまる番号１つに○をつけて下さい。
複数所有している場合、メインで使用している端末に関してお答え下さい。

１　ｉＰｈｏｎｅ
２　Ａｎｄｒｏｉｄ
３　その他のスマートフォン（　　）
４　携帯電話（ガラケー）
５　持っていない

Q4. あなたはスマートフォン等を使って普段どんなことをしていますか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

１　インターネット検索
２　電話
３　メール
４　ＬＩＮＥ
５　LINE 以外のﾁｬｯﾄｱﾌﾟﾘ(ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰや Skype)
６　Ｔｗｉｔｔｅｒ（ツイッター）
７　Ｆａｃｅｂｏｏｋ（フェイスブック）
８　Ｉｎｓｔａｇｒａｍ（インスタグラム）
９　Twitter や Instagram 以外の SNS
10　勉強(勉強アプリの使用や辞書として)
11　写真を撮る
12　動画を撮る
13　動画を見る
14　音楽を聴く
15　動画を投稿する
16　ゲーム
17　ニュースや記事、ブログを見る
18　ブログを書く
19　掲示板に投稿する
20　動画や音楽のダウンロード
21　電子書籍・コミックを読む
22　買い物やチケットの予約
23　その他（　　）
24　上記のいずれもしていない

Q5. あなたがそれらのＳＮＳや掲示板に下記の内容を掲載したり書き込んだりしたことがありますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　自分の写真や動画
2　友達や恋人の写真や動画
3　自分の本名
4　自分のニックネーム
5　自分の通っている学校名
6　自分の住んでいる場所や最寄りの駅
7　自分のメールアドレス
8　自分の電話番号
9　その他（　　）
10　上記のことはいずれも掲載したり書き込んだりしたことがない

Q6. あなたが自分自身のスマートフォン等を持ち始めた時期を教えて下さい。

あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

1　小学校から
2　中学校から
3　高校に入学する前から（中学３年生の１～３月の時期）
4　高校に入学してから

Q7. あなたの学校にはスマートフォン等に関する校則・ルールはありますか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　学校への持ち込み禁止
2　構内での使用禁止
3　授業中の使用禁止
4　ＳＮＳの利用禁止
5　上記以外のスマートフォン等に関する校則がある
6　スマートフォン等に関する校則はない

Q8. あなたの１日のスマートフォン等のおおよその利用時間を教えて下さい。

＿＿＿＿に数値を記入して下さい。また、あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

夏休み現在の利用時間ではなく、授業のある平日の利用時間に関して教えて下さい。

＿＿＿＿時＿＿＿＿分　～　＿＿＿＿時＿＿＿＿分（24 時間制で記入して下さい。）

↑↓これらの時間がなるべく一致するようにして下さい。

1　３０分以下
2　３０分より多く１時間以下
3　１時間より多く２時間以下
4　２時間より多く３時間以下
5　３時間より多く４時間以下
6　４時間より多く５時間以下
7　５時間以上

裏に続く→

Q9. スマートフォン等を使用していて、良かったと思うことを教えて下さい。

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　知りたい、分からないと思ったことをすぐに調べられるようになったこと
2　友達との連絡を簡単にとれるようになったこと
3　家族との連絡を簡単にとれるようになったこと
4　勉強を効率よくできるようになったこと
5　新しい友人ができるようになったこと
6　動画や写真など、自分が見たいと思ったことをすぐに見られること
7　買い物などを簡単にできるようになったこと
8　知らないことを知ることができて世界が広がること
9　その他（　　）

Q10. スマートフォン等を勉強に使用することはありますか？使用している人はどのような方法で勉強していますか？　あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

また、あなたならではのスマートフォン等での勉強方法があれば「その他」の欄で教えて下さい。

1　勉強で分からないことをインターネットで調べる
2　勉強系アプリを使用する
3　分からないところを友達や知人にＬＩＮＥなどのＳＮＳで聞く
4　分からないところを友達や知人に電話で聞く
5　その他（　　）
6　スマートフォン等を勉強では使用しない

Q11. スマートフォン等を使用していて、気になることや体調の変化を教えて下さい。

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　視力の低下
2　目が疲れる
3　頭痛、首痛、肩こり等
4　腕がしびれる
5　姿勢が悪いと言われるようになった
6　寝不足
7　朝起きづらい
8　夜ふかししてしまう（深夜０時以降）
9　歩きスマホ等を注意される
10　家族や友人との会話が減った
11　その他（　　）

悪い姿勢の例

Q12.あなたはスマートフォン等を使っていて、以下に挙げたことをしたり起こったりしたことがありますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　サイトやアプリにわいせつなバナー広告などが出てきた
2　迷惑メールが送られてきた
3　LINE や Twitter など、掲示板にいやなことを書かれたり、嘘の噂を立てられた
4　SNS 上やﾈｯﾄ上に自分がアップしてほしくない写真や個人情報をあげられてしまった
5　自分の写真・個人情報を送るように強制された
6　有料スタンプやポイントをもらうかわりにアプリダウンロードや会員登録をした
7　メールやサイトのＵＲＬやリンクを押したら、お金を請求される画面が出てきた
8　親に言わずにアプリに課金したり、有料アプリの課金をした
9　直接知らない人とＳＮＳやＬＩＮＥ、掲示板などで繋がった
10　ＳＮＳや掲示板などで知り合った人と実際に会った
11　その他（　　）
12　特になし

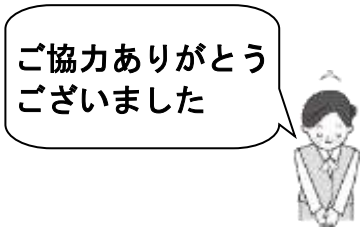
Q13.スマートフォン等の中でお小遣いかせぎ（交換できるポイントかせぎ）や有料のアイテムなどを得るためにしたことはありますか？どのような方法で行いましたか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　アンケートに答える
2　アプリダウンロード
3　ＵＲＬや広告のクリック（ＵＲＬをクリックするとポイントを得られるもの）
4　会員登録
5　動画の閲覧
6　くじやスクラッチやガチャなどのゲーム要素のもの
7　その他（　　）
8　特になし

Q14.あなたのスマートフォン等はインターネットで見れるものを制限したり、ウィルスを入りにくくする対策をしていますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　フィルタリングアプリを利用している
2　フィルタリングアプリを利用していない
3　セキュリティアプリを入れている
4　セキュリティアプリを入れていない
5　分からない



羽咋市家庭教育推進協議会

スマートフォン等利用実態調査 結果（対象：高校生）

各質問中、最も高い割合

1．スマートフォンや携帯電話（以下、スマートフォン等とする）の所有

単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
iPhone	539 (82.6)	153 (78)	122 (93)	157 (80)	107 (83)
Android	108 (16.6)	39 (20)	9 (7)	38 (19)	22 (17)
持っていない	3 (0.5)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他のスマートフォン	2 (0.3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
携帯電話（ガラケー）	0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

・全体で「iPhone」が539人（82．6%）と多い。
・「Android 」108人（16．6%）、「その他のスマートフォン」2人（0．3%）と合わせると、649人（99．5%）がスマートフォン等を所有していることになる。
・「持っていない」は3人（0．5%）であった。

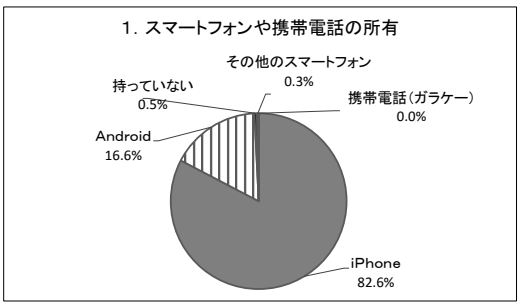
2．スマートフォン等を使って普段していること（複数回答）

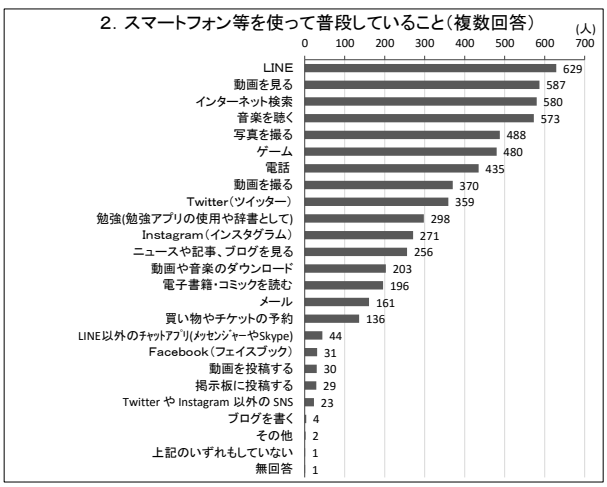
単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
LINE	629 (96.5)	185 (94)	129 (98)	186 (95)	129 (100)
動画を見る	587 (90.0)	176 (90)	120 (92)	176 (90)	115 (89)
インターネット検索	580 (89.0)	170 (87)	121 (92)	169 (86)	120 (93)
音楽を聴く	573 (87.9)	160 (82)	121 (92)	167 (85)	125 (97)
写真を撮る	488 (74.8)	117 (60)	116 (89)	138 (70)	117 (91)
ゲーム	480 (73.6)	173 (88)	66 (50)	174 (89)	67 (52)
電話	435 (66.7)	118 (60)	94 (72)	128 (65)	95 (74)
動画を撮る	370 (56.7)	81 (41)	83 (63)	111 (57)	95 (74)
Twitter（ツイッター）	359 (55.1)	80 (41)	69 (53)	120 (61)	90 (70)
勉強(勉強アプリの使用や辞書として)	298 (45.7)	65 (33)	69 (53)	83 (42)	81 (63)
Instagram（インスタグラム）	271 (41.6)	44 (22)	72 (55)	70 (36)	85 (66)
ニュースや記事、ブログを見る	256 (39.3)	77 (39)	49 (37)	94 (48)	36 (28)
動画や音楽のダウンロード	203 (31.1)	46 (23)	33 (25)	77 (39)	47 (36)
電子書籍・コミックを読む	196 (30.1)	45 (23)	36 (27)	61 (31)	54 (42)
メール	161 (24.7)	28 (14)	34 (26)	50 (26)	49 (38)
買い物やチケットの予約	136 (20.9)	26 (13)	23 (18)	46 (23)	41 (32)
LINE以外のﾁｬｯﾄｱﾌﾟﾘ(ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰやSkype)	44 (6.7)	8 (4)	7 (5)	19 (10)	10 (8)
Facebook（フェイスブック）	31 (4.8)	11 (6)	6 (5)	9 (5)	5 (4)
動画を投稿する	30 (4.6)	9 (5)	8 (6)	7 (4)	6 (5)
掲示板に投稿する	29 (4.4)	7 (4)	4 (3)	13 (7)	5 (4)
Twitter や Instagram 以外の SNS	23 (3.5)	3 (2)	1 (1)	8 (4)	11 (9)
ブログを書く	4 (0.6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
その他	2 (0.3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
上記のいずれもしていない	1 (0.2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
無回答	1 (0.2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

その他の記載内容
　楽譜を見る。 目覚まし時計。

・全体で「LINE」が629人（96．5%）と多い。
・次いで、「動画を見る」587人（90．0%）、「インターネット検索」580人（89．0%）が多い。
・「電話」としての利用は、435人（66．7%）にとどまった。
・「LINE」以外のSNSアプリとしては、「Twitter（ツイッター）」359人（55．1%）、「Instagram（インスタグラム）」271人（41．6%）の利用が多い。
・「勉強」としての利用は、298人（45．7%）だった。





３．ＳＮＳや掲示板に下記の内容を掲載したり書き込んだりしたことがあるか（複数回答）　単位:人(%)

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
いずれも掲載したり書き込んだりしたことがない	320 (49.1)	131 (67)	62 (47)	93 (47)	34 (26)
友達や恋人の写真や動画	162 (24.8)	24 (12)	41 (31)	42 (21)	55 (43)
自分の写真や動画	153 (23.5)	23 (12)	40 (31)	34 (17)	56 (43)
自分の本名	140 (21.5)	34 (17)	30 (23)	40 (20)	36 (28)
自分のニックネーム	133 (20.4)	29 (15)	31 (24)	39 (20)	34 (26)
自分の通っている学校名	120 (18.4)	24 (12)	29 (22)	33 (17)	34 (26)
自分の住んでいる場所や最寄りの駅	23 (3.5)	7 (4)	2 (2)	10 (5)	4 (3)
自分の電話番号	11 (1.7)	3 (2)	0 (0)	3 (2)	5 (4)
自分のメールアドレス	9 (1.4)	3 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (3)
その他	5 (0.8)	2 (1)	0 (0)	2 (1)	1 (1)
無回答	23 (3.5)	7 (4)	3 (2)	10 (5)	3 (2)
その他の記載内容 ゲーム。 趣味。 食べ物の写真。 部活の活動など。					

・全体で「いずれも掲載したり、書き込んだりしたことがない」が320人（49．1%）と多い。
・掲載したり書き込んだりした中で、最も多いものは「友達や恋人の写真や動画」が162人（24．8%）である。
・「写真や動画」「本名」「ニックネーム」「学校名」と回答する生徒がそれぞれ約2割いる。

４．自分自身のスマートフォン等を持ち始めた時期　単位:人(%)

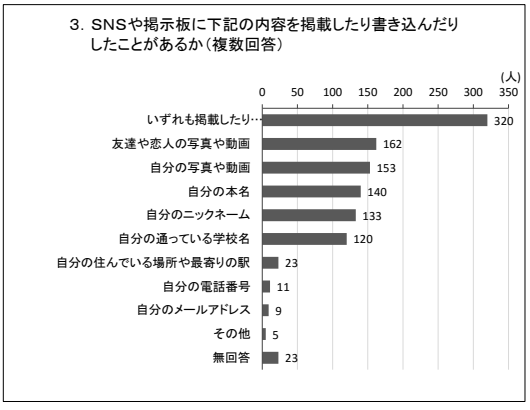
	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
小学校から	19 (2.9)	4 (2)	8 (6)	4 (2)	3 (2)
中学校から	125 (19.2)	44 (22)	31 (24)	30 (15)	20 (16)
高校に入学する前から（中学3年生の1～3月の時期）	388 (59.5)	114 (58)	77 (59)	113 (58)	84 (65)
高校に入学してから	119 (18.2)	33 (17)	15 (11)	49 (25)	22 (17)
無回答	1 (0.2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

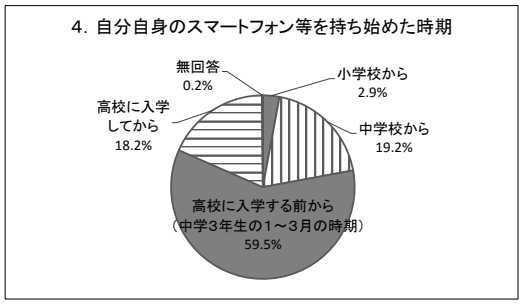
・全体で「高校に入学する前から（中学3年生の1～3月の時期）」が388人（59．5%）と半数以上を占める。
・進学先の高校の入試が終了した時点、あるいは合格発表の前後あたりから、スマートフォン等を持ち始める。
・一方、「小学校」「中学校」から持ち始めた生徒が、144人（22.1%）見られ、5人に1人が早い時期から所有していることがわかる。

５．学校にスマートフォン等に関する校則・ルールはあるか（複数回答）　単位:人(%)

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
校内での使用禁止	631 (96.8)	191 (97)	125 (95)	190 (97)	125 (97)
授業中の使用禁止	436 (66.9)	113 (58)	105 (80)	123 (63)	95 (74)
学校への持ち込み禁止	35 (5.4)	12 (6)	8 (6)	10 (5)	5 (4)
上記以外のスマートフォン等に関する校則がある	29 (4.4)	7 (4)	7 (5)	7 (4)	8 (6)
SNSの利用禁止	19 (2.9)	2 (1)	2 (2)	7 (4)	8 (6)
スマートフォン等に関する校則はない	2 (0.3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
無回答	1 (0.2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

・全体で「校内での使用禁止」が631人（96．8%）と多い。
・スマートフォン等が生活の必需品となりつつあるためか、「学校への持ち込み禁止」は少ないものの、生徒が学業等に専念するため、「校内」「授業中」の使用禁止の割合は高い。





6．1日のスマートフォン等のおおよその利用時間

単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
30分以下	9 (1.4)	3 (2)	1 (1)	4 (2)	1 (1)
30分より多く1時間以下	51 (7.8)	8 (4)	19 (15)	15 (7)	9 (7)
1時間より多く2時間以下	215 (33.0)	79 (40)	45 (34)	54 (28)	37 (29)
2時間より多く3時間以下	191 (29.3)	50 (25)	38 (29)	54 (28)	49 (38)
3時間より多く4時間以下	98 (15.0)	30 (15)	15 (11)	33 (17)	20 (15)
4時間より多く5時間以下	41 (6.3)	14 (7)	5 (4)	16 (8)	6 (5)
5時間以上	46 (7.1)	11 (6)	8 (6)	20 (10)	7 (5)
無回答	1 (0.1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

・全体で「1時間より多く2時間以下」が215人（33．0%）と多い。
・次いで、「2時間より多く3時間以下」が191人（29．3%）で、合わせると6割の生徒が、平日学校からの帰宅後に1時間から3時間ほどスマートフォン等を利用していることが伺える。

毎日スマートフォン等を利用し始める時間

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
13:00～17:00	30 (4.6)	5 (3)	9 (7)	10 (5)	6 (5)
17:00～	25 (3.8)	6 (3)	6 (5)	5 (2)	8 (6)
18:00～	74 (11.3)	24 (12)	18 (14)	19 (10)	13 (10)
19:00～	158 (24.2)	46 (23)	38 (29)	47 (24)	27 (21)
20:00～	159 (24.4)	53 (27)	33 (25)	39 (20)	34 (27)
21:00～	85 (13.1)	23 (12)	13 (10)	31 (16)	18 (14)
22:00～	37 (5.7)	7 (4)	3 (2)	15 (7)	12 (9)
23:00～	7 (1.1)	3 (1)	1 (1)	0 (0)	3 (2)
24:00～	3 (0.5)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)
無回答	74 (11.3)	29 (15)	8 (6)	29 (15)	8 (6)

・全体で「20:00～」の利用が159人（24．4%）と最も多い。
・同様に、「19:00～」の利用も158人（24．2%）いる。

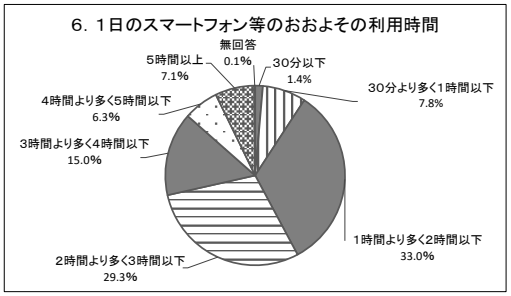
7．スマートフォン等を使用していて、良かったと思うこと（複数回答）

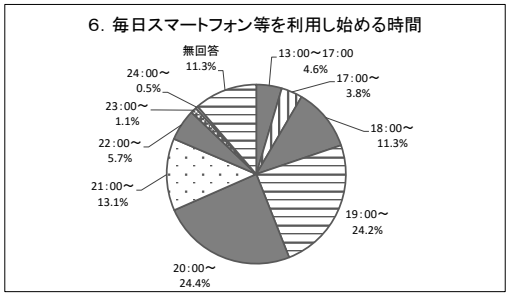
単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
友達との連絡を簡単にとれるようになったこと	602 (92.3)	171 (87)	129 (98)	178 (91)	124 (96)
知りたい、分からないと思ったことをすぐに調べられるようになったこと	593 (91.0)	169 (86)	122 (93)	178 (91)	124 (96)
家族との連絡を簡単にとれるようになったこと	537 (82.4)	142 (72)	118 (90)	160 (82)	117 (91)
動画や写真など、自分が見たいと思ったことをすぐに見られること	493 (75.6)	130 (66)	103 (79)	148 (76)	112 (87)
知らないことを知ることができて世界が広がること	232 (35.6)	62 (32)	34 (26)	86 (44)	50 (39)
新しい友人ができるようになったこと	186 (28.5)	47 (24)	39 (30)	59 (30)	41 (32)
勉強を効率よくできるようになったこと	176 (27.0)	41 (21)	34 (26)	54 (28)	47 (36)
買い物などを簡単にできるようになったこと	174 (26.7)	38 (19)	29 (22)	64 (33)	43 (33)
その他	5 (0.8)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
無回答	3 (0.5)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)

その他の記載内容
　ゲームのランキングで上位に入れたこと。 暇つぶし。 好きな時間に利用できる。

・全体で「友達との連絡を簡単にとれるようになったこと」が602人（92．3%）と多い。
・次いで、「知りたい、分からないと思ったことをすぐに調べられるようになったこと」593人（91．0%）、「家族との連絡を簡単にとれるようになったこと」537人（82．4%）が多い。





8. スマートフォン等を勉強に使用している人は、どのような方法で勉強しているか（複数回答）　単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
勉強で分からないことをインターネットで調べる	521 (79.9)	140 (71)	111 (85)	150 (77)	120 (93)
分からないところを友達や知人にLINEなどのSNSで聞く	372 (57.1)	89 (45)	68 (52)	122 (62)	93 (72)
勉強系アプリを使用する	132 (20.2)	31 (16)	32 (24)	34 (17)	35 (27)
分からないところを友達や知人に電話で聞く	119 (18.3)	25 (13)	22 (17)	41 (21)	31 (24)
スマートフォン等を勉強では使用しない	60 (9.2)	27 (14)	10 (8)	20 (10)	3 (2)
その他	7 (1.1)	4 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
無回答	8 (1.2)	5 (3)	0 (0)	3 (2)	0 (0)

その他の記載内容
教材社会員専用アプリ。 効率のよい勉強の仕方を調べる。 You Tubeにある授業動画で復習している。 英語・ドイツ語の翻訳。
動画などを見て、勉強する。 漢字を調べる。

・全体で「勉強で分からないことをインターネットで調べる」が521人（79．9%）と多い。
「分からないところを友達や知人にLINEなどのSNSで聞く」372人（57．1%）、「分からないところを友達や知人に電話で聞く」119人（18．3%）となっている。

9. スマートフォン等を使用していて、気になることや体調の変化（複数回答）　単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
目が疲れる	280 (42.9)	86 (44)	53 (40)	75 (38)	66 (51)
視力の低下	278 (42.6)	86 (44)	60 (46)	78 (40)	54 (42)
夜ふかししてしまう（深夜0時以降）	220 (33.7)	64 (33)	39 (30)	66 (34)	51 (40)
寝不足	178 (27.3)	57 (29)	37 (28)	51 (26)	33 (26)
朝起きづらい	127 (19.5)	44 (22)	27 (21)	40 (20)	16 (12)
頭痛、首痛、肩こり等	118 (18.1)	27 (14)	33 (25)	37 (19)	21 (16)
姿勢が悪いと言われるようになった	77 (11.8)	19 (10)	18 (14)	20 (10)	20 (16)
家族や友人との会話が減った	47 (7.2)	13 (7)	14 (11)	10 (5)	10 (8)
腕がしびれる	43 (6.6)	18 (9)	7 (5)	10 (5)	8 (6)
歩きスマホ等を注意される	36 (5.5)	5 (3)	10 (8)	12 (6)	9 (7)
その他	13 (2.0)	2 (1)	5 (4)	3 (2)	3 (2)
無回答	91 (14.0)	27 (14)	11 (8)	37 (19)	16 (12)

その他の記載内容
勉強の時間が減った。 学力低下。 勉強に手がつかない。 指の形が変わった。 特になし。

・全体で「目が疲れる」が280人（42．9%）、「視力の低下」が278人（42．6%）と多い。
・「家族や友人との会話が減った」と回答する生徒が47人（7．2%）いる。

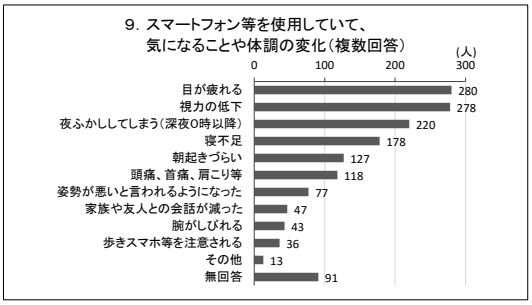
10. スマートフォン等はインターネットで見られるものを制限したり、ウィルスを入りにくくする対策をしているか（複数回答）
単位：人（%）

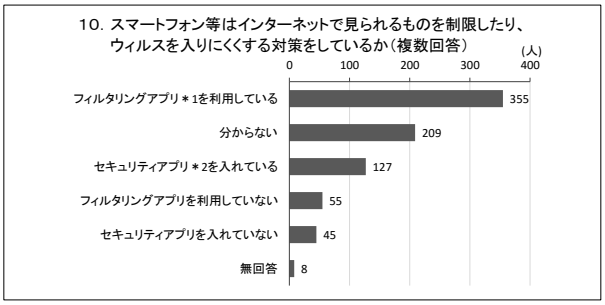
	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
フィルタリングアプリ*1を利用している	355 (54.4)	119 (61)	81 (62)	100 (51)	55 (43)
分からない	209 (32.1)	55 (28)	40 (31)	63 (32)	51 (40)
セキュリティアプリ*2を入れている	127 (19.5)	38 (19)	17 (13)	43 (22)	29 (22)
フィルタリングアプリを利用していない	55 (8.4)	17 (9)	8 (6)	20 (10)	10 (8)
セキュリティアプリを入れていない	45 (6.9)	12 (6)	7 (5)	18 (9)	8 (6)
無回答	8 (1.2)	4 (2)	0 (0)	2 (1)	2 (2)

*1「フィルタリング」＝未成年者にとって、有害なウェブサイトを閲覧できないようにする等の選別をすること。

*2「セキュリティ」＝スマートフォン等のインターネット機器をサイバー攻撃から守り、コンピューターの安全性を確保すること。

・全体で「フィルタリングアプリを利用している」が355人（54．4%）と多い。





11. スマートフォン等を使っていて、以下に挙げたことをしたり起こったりしたことがあるか（複数回答）　単位：人（%）

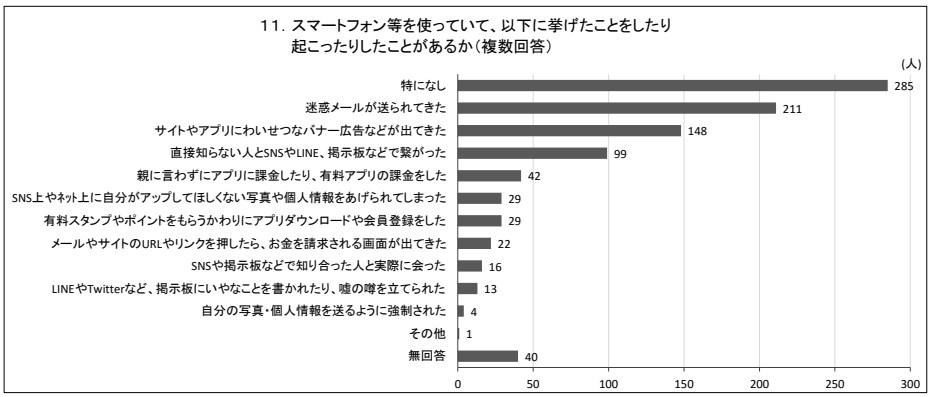
	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
特になし	285 (43.7)	97 (49)	61 (47)	77 (39)	50 (39)
迷惑メールが送られてきた	211 (32.4)	42 (21)	36 (27)	84 (43)	49 (38)
サイトやアプリにわいせつなバナー広告などが出てきた	148 (22.7)	40 (20)	23 (18)	53 (27)	32 (25)
直接知らない人とSNSやLINE、掲示板などで繋がった	99 (15.2)	19 (10)	24 (18)	26 (13)	30 (23)
親に言わずにアプリに課金したり、有料アプリの課金をした	42 (6.4)	19 (10)	0 (0)	17 (9)	6 (5)
SNS上やネット上に自分がアップしてほしくない写真や個人情報をあげられてしまった	29 (4.4)	5 (3)	12 (9)	7 (4)	5 (4)
有料スタンプやポイントをもらうかわりにアプリダウンロードや会員登録をした	29 (4.4)	9 (5)	8 (6)	5 (3)	7 (5)
メールやサイトのURLやリンクを押したら、お金を請求される画面が出てきた	22 (3.4)	6 (3)	0 (0)	12 (6)	4 (3)
SNSや掲示板などで知り合った人と実際に会った	16 (2.5)	3 (2)	2 (2)	3 (2)	8 (6)
LINEやTwitterなど、掲示板にいやなことを書かれたり、嘘の噂を立てられた	13 (2.0)	1 (1)	5 (4)	4 (2)	3 (2)
自分の写真・個人情報を送るように強制された	4 (0.6)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (2)
その他	1 (0.2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
無回答	40 (6.1)	16 (8)	7 (5)	12 (6)	5 (4)
その他の記載内容 架空請求・ワンクリック詐欺。					

・全体で「特になし」が285人（43．7%）と多い。
・スマートフォン等を使っていて、起こったことの中で、最も多いものは「迷惑メールが送られてきた」が211人(32.4%)である。

12. スマートフォン等の中でお小遣いかせぎや有料のアイテムなどを得るために、したことがある場合、どのような方法で行ったか（複数回答）　単位：人（%）

	総　数	高校1年生		高校2年生	
		男子	女子	男子	女子
総　　数	652 (100.0)	196 (100)	131 (100)	196 (100)	129 (100)
特になし	405 (62.1)	122 (62)	86 (66)	118 (60)	79 (61)
動画の閲覧	158 (24.2)	40 (20)	32 (24)	46 (23)	40 (31)
アンケートに答える	128 (19.6)	34 (17)	22 (17)	44 (22)	28 (22)
アプリダウンロード	71 (10.9)	18 (9)	12 (9)	29 (15)	12 (9)
会員登録	32 (4.9)	6 (3)	7 (5)	12 (6)	7 (5)
URLや広告のクリック	31 (4.8)	5 (3)	5 (4)	14 (7)	7 (5)
くじやスクラッチやガチャなどのゲーム要素のもの	28 (4.3)	6 (3)	3 (2)	10 (5)	9 (7)
その他	3 (0.5)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
無回答	37 (5.7)	14 (7)	4 (3)	14 (7)	5 (4)
その他の記載内容 友達追加。 カードを買った。					

・全体で「特になし」が405人（62．1%）と多い。
・スマートフォン等の中でお小遣いかせぎや有料のアイテムなどを得るために、行った方法の中で、最も多いものは「動画の閲覧」が158人（24．2%）である。



羽咋市内の
中学校に通う

中学生のスマートフォン等の利用について

引用：スマートフォン利用実態調査（MMD 研究所）

このアンケートは、みなさんの「**スマートフォン等**」の利用の様子を把握することを目的としています。「**スマートフォン等**」というのは、このアンケートでは「**スマートフォン、携帯電話、パソコンやタブレット、ipod touch等**」を指しています。

インターネットに、つながっているもの

本調査の結果は、すべて統計的に処理されますので、個人のプライバシーに関する事柄が公表されることは一切ありません。ありのままお答え下さい。

Q1. あなたは現在中学何年生ですか？

あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

１　中学１年生　　２　中学２年生　　３　中学３年生

Q2. あなたの性別を教えて下さい。

あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

１　男子　　２　女子

スマートフォン等とは、

- **スマートフォン**
- **携帯電話**
- **パソコン(インターネットにつながっているもの)**
- **タブレット**
- **ipod touch等**

Q3. あなたは自分が家で自由に使えるスマートフォンや携帯電話、パソコンやタブレット、ipod touch等（以下、スマートフォン等とする）を持っていますか？ あてはまる番号 1 つに○をつけて下さい。複数所有している場合、メインで使用している端末に関してお答え下さい。

１　スマートフォン
２　携帯電話
３　パソコン
４　タブレット
５　ipod touch
６　持っていない

「６ 持っていない」と回答した人は、ここでアンケートは終了です。ありがとうございました。

自分が家で自由に使えるスマートフォン等とは、

- **保護者が持っていて、子どもたちも使っていいと許可してもらっているスマートフォン等**
- **家族共有のスマートフォン等**

のことをいいます。

Q4. あなたは家でスマートフォン等を使って普段どんなことをしていますか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

１　インターネット検索
２　電話
３　メール
４　ＬＩＮＥ
５　LINE 以外のﾁｬｯﾄｱﾌﾟﾘ(ﾒｯｾﾝｼﾞｬｰや Skype)
６　Ｔｗｉｔｔｅｒ（ツイッター）
７　Ｆａｃｅｂｏｏｋ（フェイスブック）
８　Ｉｎｓｔａｇｒａｍ（インスタグラム）
９　Twitter や Instagram 以外の SNS
10　勉強(勉強アプリの使用や辞書として)
11　写真を撮る
12　動画を撮る
13　動画を見る
14　音楽を聴く
15　動画を投稿する
16　ゲーム
17　ニュースや記事、ブログを見る
18　ブログを書く
19　掲示板に投稿する
20　動画や音楽のダウンロード
21　電子書籍・コミックを読む
22　買い物やチケットの予約
23　その他（　　）
24　上記のいずれもしていない

Q5. あなたは前問の Q4 であるような<u>ＳＮＳ</u>や<u>掲示板</u>に下記の内容を掲載したり書き込んだりしたことがありますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　自分の写真や動画
2　友だちや知り合いの写真や動画
3　自分の本名
4　自分のニックネーム
5　自分の通っている学校名
6　自分の住んでいる場所や最寄りの駅
7　自分のメールアドレス
8　自分の電話番号
9　その他（　　）
10　上記のことはいずれも掲載したり書き込んだりしたことがない

<u>ＳＮＳ</u>とは、
Social Networking Service
(ｿｰｼｬﾙ･ﾈｯﾄﾜｰｷﾝｸﾞ･ｻｰﾋﾞｽ)の略
友人どうしのつながりから、コミュニティを広げるための集まりです。
・ＬＩＮＥ
・Ｔｗｉｔｔｅｒ
・Ｆａｃｅｂｏｏｋ等

<u>掲示板</u>とは、
インターネット上で記事を書き込んだり、閲覧したりできる仕組みです。「電子掲示板」とも呼びます。

Q6. あなたは自分が家で自由に使えるスマートフォン等を持ち始めた時期を教えて下さい。

あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

1　小学校に入学する前から
2　小学校１～３年生(低学年)から
3　小学校４～６年生(高学年)から
4　中学校に入学してから

Q7. あなたの学校や家庭にはスマートフォン等に関する校則・ルールはありますか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

【学校】
1　学校への持ち込み禁止の校則がある
2　校内での使用禁止の校則がある
3　授業中の使用禁止の校則がある
4　ＳＮＳの利用禁止の校則がある
5　上記以外のｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等に関する校則がある
6　ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等に関する校則はない

【家庭】
7　使用時間や場所のルールがある
8　使用時間のルールだけある
9　使用場所のルールだけある
10　上記以外のｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等に関するﾙｰﾙがある
(具体的に記入して下さい。　　)
11　家庭内にｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等に関するﾙｰﾙはない

Q8. あなたの家での１日のスマートフォン等のおおよその利用時間を教えて下さい。

＿＿＿＿に数値を記入して下さい。また、あてはまる番号１つに○をつけて下さい。

夏休み現在の利用時間ではなく、授業のある平日の利用時間に関して教えて下さい。

＿＿＿＿時＿＿＿＿分　～　＿＿＿＿時＿＿＿＿分（24 時間制で記入して下さい。）

↑↓これらの時間がなるべく一致するようにして下さい。

1　３０分以下
2　３０分より多く１時間以下
3　１時間より多く２時間以下
4　２時間より多く３時間以下
5　３時間より多く４時間以下
6　４時間より多く５時間以下
7　５時間以上

裏に続く→

Q9. スマートフォン等を使用していて、良かったと思うことを教えて下さい。

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　知りたい、分からないと思ったことをすぐに調べられるようになったこと
2　友だちとの連絡を簡単にとれるようになったこと
3　家族との連絡を簡単にとれるようになったこと
4　勉強を効率よくできるようになったこと
5　新しい友だちができるようになったこと
6　動画や写真など、自分が見たいと思ったことをすぐに見られること
7　買い物などを簡単にできるようになったこと
8　知らないことを知ることができて世界が広がること
9　その他（　　）

Q10. 家でスマートフォン等を勉強に使用することはありますか？使用している人はどのような方法で勉強していますか？　あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

また、あなたならではのスマートフォン等での勉強方法があれば「その他」の欄で教えて下さい。

1　勉強で分からないことをインターネットで調べる
2　勉強系アプリを使用する
3　分からないところを友だちや知人にＬＩＮＥなどのＳＮＳで聞く
4　分からないところを友だちや知人に電話で聞く
5　その他（　　）
6　スマートフォン等を勉強では使用しない

Q11. スマートフォン等を使用していて、気になることや体調の変化はありますか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　視力の低下
2　目が疲れる
3　頭痛、首痛、肩こり等
4　腕がしびれる
5　姿勢が悪いと言われるようになった
6　寝不足
7　朝起きづらい
8　夜ふかししてしまう（深夜０時以降）
9　歩きスマホ等を注意される
10　家族や友だちとの会話が減った
11　その他（　　）
12　特になし

悪い姿勢の例

Q12.あなたはスマートフォン等を使っていて、以下に挙げたことをしたり起こったりしたことがありますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　サイトやアプリにわいせつなバナー広告などが出てきた
2　迷惑メールが送られてきた
3　LINE や Twitter など、掲示板にいやなことを書かれたり、嘘の噂を立てられた
4　SNS 上やﾈｯﾄ上に自分がアップしてほしくない写真や個人情報をあげられてしまった
5　自分の写真・個人情報を送るように強制された
6　有料スタンプやポイントをもらうかわりにアプリダウンロードや会員登録をした
7　メールやサイトのＵＲＬやリンクを押したら、お金を請求される画面が出てきた
8　親に言わずにアプリに課金したり、有料アプリの課金をした
9　直接知らない人とＳＮＳやＬＩＮＥ、掲示板などで繋がった
10　ＳＮＳや掲示板などで知り合った人と実際に会った
11　その他（　　）
12　特になし

Q13.スマートフォン等の中でお小遣いかせぎ（交換できるポイントかせぎ）や有料のアイテムなどを得るためにしたことはありますか？どのような方法で行いましたか？

あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1　アンケートに答える
2　アプリダウンロード
3　ＵＲＬや広告のクリック（ＵＲＬをクリックするとポイントを得られるもの）
4　会員登録
5　動画の閲覧
6　くじやスクラッチやガチャなどのゲーム要素のもの
7　その他（　　）
8　特になし

Q14.あなたが家で自由に使えるスマートフォン等は、インターネットで見れるものを制限したり、ウィルスを入りにくくする対策をしていますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

「フィルタリング」＝未成年者にとって、有害なウェブサイトを閲覧できないようにする等の選別をすること。
「セキュリティ」＝スマートフォン等のインターネット機器をサイバー攻撃から守り、コンピューターの安全性を確保すること。

1　フィルタリングアプリを利用している
2　フィルタリングアプリを利用していない
3　セキュリティアプリを入れている
4　セキュリティアプリを入れていない
5　分からない

ご協力ありがとうございました

羽咋市家庭教育推進協議会

スマートフォン等利用実態調査 結果（対象：中学生）

各質問中、最も高い割合

１．スマートフォン、携帯電話、パソコンやタブレット、ipod touch等（以下、スマートフォン等とする）の所有

単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
スマートフォン	153 (34.9)	14 (26)	27 (30)	35 (42)	21 (32)	20 (31)	36 (44)
タブレット	148 (33.8)	17 (32)	31 (35)	31 (37)	25 (38)	22 (34)	22 (27)
ipod touch等	60 (13.7)	5 (9)	8 (9)	4 (5)	17 (26)	12 (18)	14 (17)
持っていない	49 (11.2)	11 (21)	15 (17)	11 (13)	2 (3)	6 (9)	4 (5)
パソコン	25 (5.7)	6 (11)	6 (7)	3 (4)	1 (2)	4 (6)	5 (6)
携帯電話	3 (0.7)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)

・自分が家で自由に使えるスマートフォン等の所有については、全体で「スマートフォン」が153人（34．9%）と多い。
・「タブレット 」148人（33．8%）、「ipod touch等」60人（13．7%）と合わせると、361人（82．4%）が自分が自由に使えるスマートフォン等を所有していることになる。
・「持っていない」は49人（11．2%）であった。

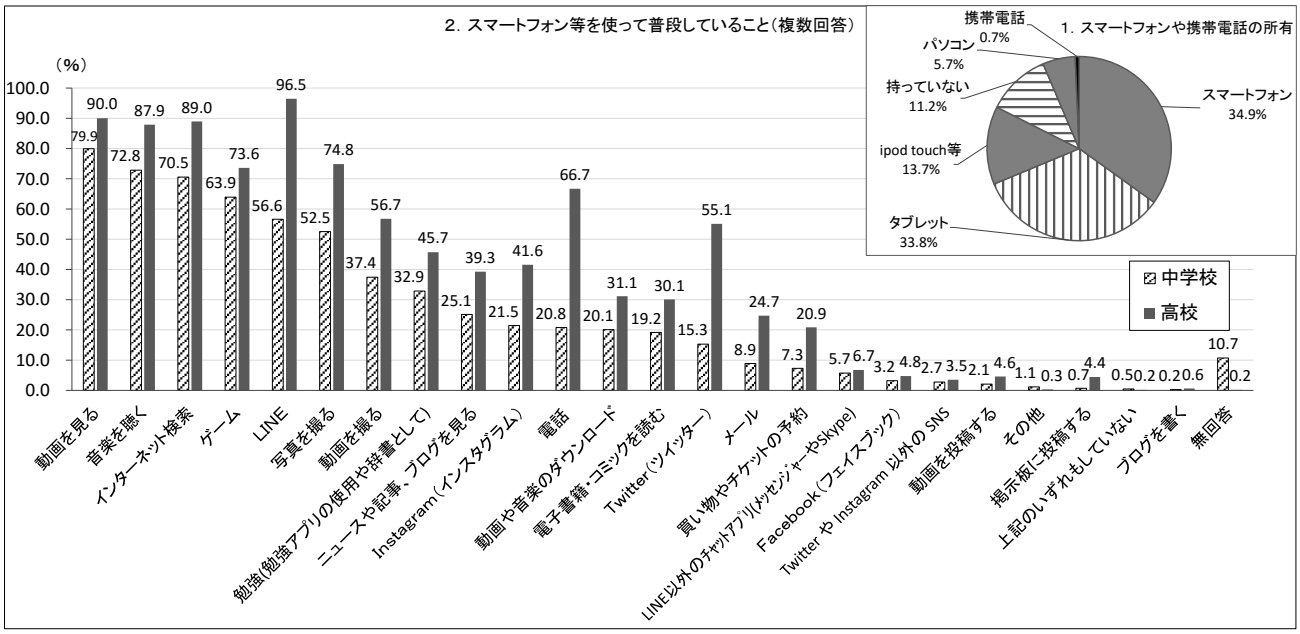
２．スマートフォン等を使って普段していること（複数回答）

単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
動画を見る	350 (79.9)	38 (72)	62 (70)	65 (77)	62 (94)	57 (88)	66 (81)
音楽を聴く	319 (72.8)	30 (57)	62 (70)	50 (60)	62 (94)	47 (72)	68 (84)
インターネット検索	309 (70.5)	30 (57)	61 (69)	53 (63)	52 (79)	49 (75)	64 (79)
ゲーム	280 (63.9)	36 (68)	49 (55)	64 (76)	44 (67)	50 (77)	37 (46)
LINE	248 (56.6)	16 (30)	46 (52)	33 (39)	52 (79)	39 (60)	62 (77)
写真を撮る	230 (52.5)	18 (34)	53 (60)	29 (35)	48 (73)	24 (37)	58 (72)
動画を撮る	164 (37.4)	11 (21)	33 (37)	25 (30)	35 (53)	21 (32)	39 (48)
勉強(勉強アプリの使用や辞書として)	144 (32.9)	11 (21)	30 (34)	24 (29)	31 (47)	17 (26)	31 (38)
ニュースや記事、ブログを見る	110 (25.1)	12 (23)	17 (19)	19 (23)	24 (36)	16 (25)	22 (27)
Instagram（インスタグラム）	94 (21.5)	6 (11)	13 (15)	8 (10)	33 (50)	9 (14)	25 (31)
電話	91 (20.8)	12 (23)	21 (24)	14 (17)	15 (23)	13 (20)	16 (20)
動画や音楽のダウンロード	88 (20.1)	7 (13)	20 (22)	15 (18)	21 (32)	13 (20)	12 (15)
電子書籍・コミックを読む	84 (19.2)	6 (11)	16 (18)	9 (11)	18 (27)	11 (17)	24 (30)
Twitter（ツイッター）	67 (15.3)	7 (13)	7 (8)	9 (11)	17 (26)	11 (17)	16 (20)
メール	39 (8.9)	4 (8)	9 (10)	6 (7)	8 (12)	6 (9)	6 (7)
買い物やチケットの予約	32 (7.3)	2 (4)	4 (4)	6 (7)	6 (9)	4 (6)	10 (12)
LINE以外のチャットアプリ(メッセンジャーやSkype)	25 (5.7)	3 (6)	5 (6)	6 (7)	4 (6)	7 (11)	0 (0)
Facebook（フェイスブック）	14 (3.2)	1 (2)	4 (4)	3 (4)	1 (2)	5 (8)	0 (0)
Twitter や Instagram 以外の SNS	12 (2.7)	2 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (3)	3 (5)	1 (1)
動画を投稿する	9 (2.1)	1 (2)	3 (3)	0 (0)	1 (2)	2 (3)	2 (2)
その他	5 (1.1)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	2 (3)	1 (2)	0 (0)
掲示板に投稿する	3 (0.7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	2 (2)
上記のいずれもしていない	2 (0.5)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ブログを書く	1 (0.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
無回答	47 (10.7)	11 (21)	14 (16)	10 (12)	2 (3)	6 (9)	4 (5)

その他の記載内容
　ニュースを見る、メモ、TikTok、小説や漫画の投稿、いろいろ調べる

・全体で、「動画を見る」が350人（79．9%）と多い。
・次いで、「音楽を聴く」319人（72．8%）、「インターネット検索」309人（70．5%）、「ゲーム」280人（63．9%）、「LINE」248人（56．6%）が多い。
・「電話」としての利用は、91人（20．8%）にとどまった。
・「LINE」以外のSNSアプリとしては、「Instagram（インスタグラム）」94人（21．5%）、「Twitter（ツイッター）」67人（15．3%）の利用が多い。



３．ＳＮＳや掲示板に下記の内容を掲載したり書き込んだりしたことがあるか（複数回答）　　単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
いずれも掲載したり書き込んだりしたことがない	306 (69.9)	35 (66)	66 (74)	64 (76)	43 (65)	44 (68)	54 (67)
自分の写真や動画	32 (7.3)	2 (4)	2 (2)	1 (1)	8 (12)	5 (8)	14 (17)
自分のニックネーム	32 (7.3)	2 (4)	5 (6)	0 (0)	9 (14)	7 (11)	9 (11)
自分の本名	31 (7.1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	12 (18)	5 (8)	12 (15)
友達や知り合いの写真や動画	28 (6.4)	1 (2)	6 (7)	2 (2)	7 (11)	4 (6)	8 (10)
自分の通っている学校名	15 (3.4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (9)	3 (5)	5 (6)
自分の住んでいる場所や最寄りの駅	8 (1.8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	3 (5)	3 (4)
自分のメールアドレス	4 (0.9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	2 (3)	1 (1)
その他	3 (0.7)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (2)	1 (2)	0 (0)
自分の電話番号	1 (0.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)
無回答	64 (14.6)	14 (26)	15 (17)	16 (19)	3 (5)	10 (15)	6 (7)
その他の記載内容 覚えていない、食べ物、部活・学年							

・全体で、「上記のことはいずれも掲載したり、書き込んだりしたことがない」が306人（69．9%）と多い。
・掲載したり書き込んだりした中で、最も多いものは「自分の写真や動画」「自分のニックネーム」がそれぞれ32人（7．3%）である。
・「自分の本名」「友達や知り合いの写真や動画」と回答する生徒が1割弱いるとみられる。

４．自分自身のスマートフォン等を持ち始めた時期　　単位：人（%）

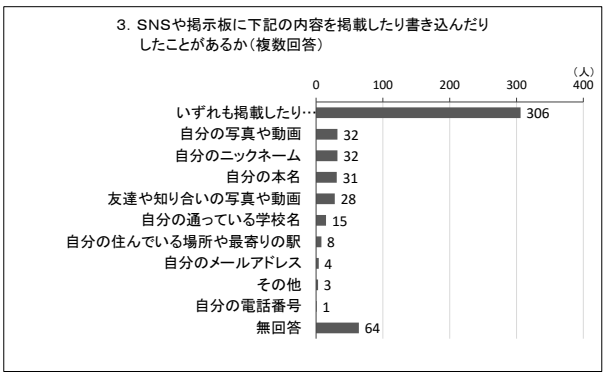
	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
小学校に入学する前から	3 (0.7)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)
小学校1～3年生(低学年)から	28 (6.4)	4 (8)	6 (7)	7 (8)	3 (5)	4 (6)	4 (5)
小学校4～6年生(高学年)から	215 (49.1)	29 (55)	53 (60)	42 (50)	43 (65)	24 (37)	24 (30)
中学校に入学してから	142 (32.4)	8 (15)	11 (12)	26 (31)	18 (27)	30 (46)	49 (60)
無回答	50 (11.4)	11 (21)	18 (20)	9 (11)	2 (3)	6 (9)	4 (5)

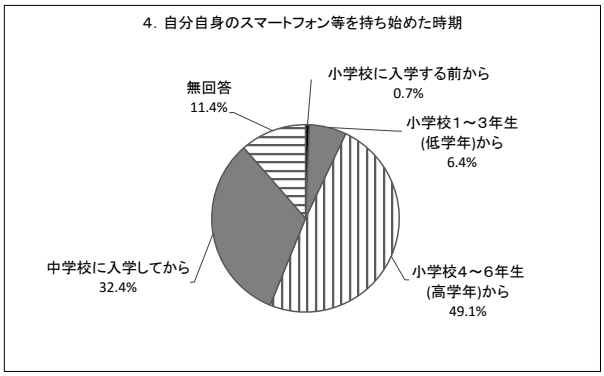
・全体で、「小学校4～6年生(高学年)から」が215人（49．1%）と多い。
・次いで、「中学校に入学してから」が142人（32．4%）となっている。
・「小学校1～3年生(低学年)から」「小学校に入学する前から」を合わせると7．1%となり、1割弱がスマートフォン等を幼少期から使用していることが伺える。

５．学校にスマートフォン等に関する校則・ルールはあるか（複数回答）　　単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
学校への持ち込み禁止	377 (86.1)	41 (77)	71 (80)	72 (86)	63 (95)	54 (83)	76 (94)
校内での使用禁止	332 (75.8)	39 (74)	67 (75)	64 (76)	59 (89)	40 (62)	63 (78)
授業中の使用禁止	328 (74.9)	37 (70)	67 (75)	63 (75)	59 (89)	40 (62)	62 (77)
家庭内にスマートフォン等に関するルールはない	153 (34.9)	12 (23)	21 (24)	36 (43)	24 (36)	28 (43)	32 (40)
家庭内に使用時間のルールだけある	128 (29.2)	19 (36)	25 (28)	19 (23)	23 (35)	18 (28)	24 (30)
それ以外のスマートフォン等に関する校則がある	76 (17.4)	16 (30)	27 (30)	10 (12)	4 (6)	11 (17)	8 (10)
家庭内に使用時間や場所のルールがある	75 (17.1)	6 (11)	22 (25)	12 (14)	12 (18)	9 (14)	14 (17)
SNSの利用禁止	72 (16.4)	12 (23)	16 (18)	13 (15)	7 (11)	16 (25)	8 (10)
家庭内にそれ以外のスマートフォン等に関するルールがある	27 (6.2)	5 (9)	12 (13)	4 (5)	2 (3)	0 (0)	4 (5)
家庭内に使用場所のルールだけある	22 (5.0)	0 (0)	7 (8)	3 (4)	3 (5)	5 (8)	4 (5)
スマートフォン等に関する校則はない	11 (2.5)	1 (2)	6 (7)	2 (2)	0 (0)	2 (3)	0 (0)
無回答	47 (10.7)	11 (21)	14 (16)	9 (11)	2 (3)	7 (11)	4 (5)
その他の記載内容 親の許可がいる。親がいるときに使う。テスト前のLINEやTikTokは禁止。兄弟or祖父母or両親など、だれかがいる空間でする。個人情報はSNSに乗せない。課金しない。使用するアプリのルールがある。知らない人に個人情報は知らせない。宿題はしっかりやる。睡眠時間は削らない。ダラダラしない。勝手にアプリなどをダウンロードしてはいけない。ネットに写真などを投稿しない。1日30分×3（ゲーム・スマホ合わせて）。保護者のスマホは、保護者がいいと言ったとき時間のみ貸してもらえる。SNSに手を出さない。あやしい事は相談する。テスト期間は使用したらダメ。WebだけOK、Youtubeを見ない。連絡した時に見れるように電池をなくさない。勝手に買い物したりしない。勝手に持っていかない。使わない。寝ながら使わない。動画を見すぎない。使える容量が決まっている。5ギガまで。						

・全体で、「学校への持ち込み禁止」377人（86．1%）が最も多い。
・次いで、「校内での使用禁止」332人（75．8%）、「授業中の使用禁止」328人（74．9%）となっている。
・家庭内でのルールについては、「家庭内にスマートフォン等に関するルールはない」153人（34．9%）が最も多い。
・「使用時間のルールがある」と回答する生徒が見られるが、一方「使用場所のルールがある」としている家庭は少なく見られる。





6．1日のスマートフォン等のおおよその利用時間

単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
30分以下	83 (18.9)	13 (25)	21 (24)	15 (18)	10 (15)	10 (15)	14 (17)
30分より多く1時間以下	100 (22.8)	12 (23)	25 (28)	19 (23)	17 (26)	9 (14)	18 (22)
1時間より多く2時間以下	98 (22.4)	9 (17)	14 (16)	19 (23)	17 (26)	19 (29)	20 (25)
2時間より多く3時間以下	43 (9.8)	2 (4)	5 (6)	10 (12)	9 (14)	7 (11)	10 (12)
3時間より多く4時間以下	32 (7.3)	5 (9)	3 (3)	6 (7)	6 (9)	5 (8)	7 (9)
4時間より多く5時間以下	20 (4.6)	1 (2)	4 (4)	2 (2)	5 (8)	2 (3)	6 (7)
5時間以上	12 (2.7)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	6 (9)	2 (2)
無回答	50 (11.4)	11 (21)	14 (16)	12 (14)	2 (3)	7 (11)	4 (5)

・全体で、「30分より多く1時間以下」が100人（22．8%）と多い。
・次いで、「1時間より多く2時間以下」が98人（22．4%）、「30分以下」が83人（18．9%）で、合わせると6割の生徒が、平日夕食前後に2時間以内でスマートフォン等を利用していることが伺える。

毎日スマートフォン等を利用し始める時間

単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
13:00～17:00	4 (0.9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (2)	1 (2)	1 (1)
17:00～	14 (3.2)	1 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (9)	5 (6)
18:00～	48 (11.0)	4 (8)	11 (12)	1 (1)	11 (17)	12 (18)	9 (11)
19:00～	108 (24.7)	15 (28)	24 (27)	30 (36)	15 (23)	6 (9)	18 (22)
20:00～	106 (24.2)	10 (19)	19 (21)	23 (27)	23 (35)	13 (20)	18 (22)
21:00～	37 (8.4)	1 (2)	6 (7)	8 (10)	4 (6)	9 (14)	9 (11)
22:00～	21 (4.8)	0 (0)	3 (3)	2 (2)	3 (5)	4 (6)	9 (11)
23:00～	5 (1.1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	1 (2)	2 (2)
24:00～	14 (3.2)	5 (9)	3 (3)	2 (2)	2 (3)	1 (2)	1 (1)
無回答	81 (18.5)	17 (32)	20 (22)	16 (19)	7 (11)	12 (18)	9 (11)

・全体で、「19:00～」の利用が108人（24．7%）と多い。
・同様に、「20:00～」の利用も106人（24．2%）いる。
・このことから、夕食前後に主に2時間以内でスマートフォン等を利用していることが伺える。

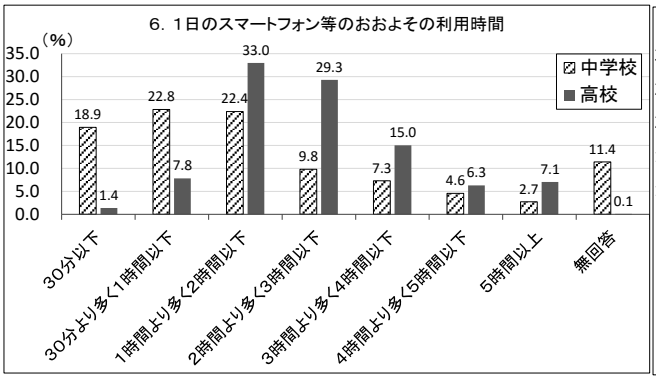
7．スマートフォン等を使用していて、良かったと思うこと（複数回答）

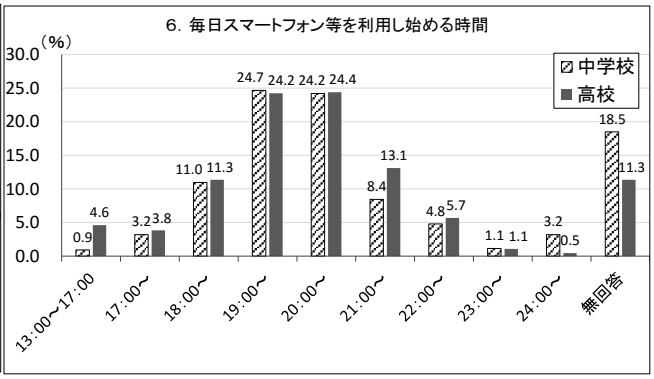
単位：人（%）

	総　数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総　　数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
知りたい、分からないと思ったことをすぐに調べられるようになったこと	348 (79.5)	33 (62)	71 (80)	63 (75)	62 (94)	48 (74)	71 (88)
動画や写真など、自分が見たいと思ったことをすぐに見られること	290 (66.2)	27 (51)	53 (60)	54 (64)	57 (86)	45 (69)	54 (67)
友達との連絡を簡単にとれるようになったこと	243 (55.5)	17 (32)	39 (44)	37 (44)	52 (79)	41 (63)	57 (70)
家族との連絡を簡単にとれるようになったこと	222 (50.7)	13 (25)	40 (45)	37 (44)	48 (73)	33 (51)	51 (63)
知らないことを知ることができて世界が広がること	164 (37.4)	14 (26)	30 (34)	28 (33)	29 (44)	32 (49)	31 (38)
勉強を効率よくできるようになったこと	108 (24.7)	13 (25)	14 (16)	21 (25)	19 (29)	20 (31)	21 (26)
新しい友人ができるようになったこと	75 (17.1)	6 (11)	14 (16)	10 (12)	15 (23)	13 (20)	17 (21)
買い物などを簡単にできるようになったこと	45 (10.3)	3 (6)	6 (7)	8 (10)	9 (14)	12 (18)	7 (9)
その他	16 (3.7)	3 (6)	1 (1)	5 (6)	2 (3)	3 (5)	2 (2)
無回答	53 (12.1)	14 (26)	15 (17)	11 (13)	2 (3)	7 (11)	4 (5)

その他の記載内容
　時間割の書き忘れの時に、友達に聞けること。勉強で分からなかったことを調べられる。音楽を聴く。たのしい。ひまがつぶせる。楽しくゲームができる。チケットをとれる。手本にできる。目覚ましアプリの使用で、早起きが楽になったこと。

・全体で、「知りたい、分からないと思ったことをすぐに調べられるようになったこと」が348人（79．5%）と多い。
・次いで、「動画や写真など、自分が見たいと思ったことをすぐに見られること」290人（66．2%）、「友達との連絡を簡単にとれるようになったこと」243人（55．5%）が多い。





8. スマートフォン等を勉強に使用している人は、どのような方法で勉強しているか（複数回答）　単位：人（%）

	総数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総数	438 (100.0)	53 (100.0)	89 (100.0)	84 (100.0)	66 (100.0)	65 (100.0)	81 (100.0)
勉強で分からないことをインターネットで調べる	278 (63.5)	26 (49)	59 (66)	45 (54)	55 (83)	36 (55)	57 (70)
分からないところを友達や知人にLINEなどのSNSで聞く	124 (28.3)	4 (8)	23 (26)	15 (18)	31 (47)	20 (31)	31 (38)
勉強系アプリを使用する	96 (21.9)	6 (11)	21 (24)	11 (13)	21 (32)	13 (20)	24 (30)
スマートフォン等を勉強では使用しない	72 (16.4)	12 (23)	7 (8)	22 (26)	3 (5)	18 (28)	10 (12)
分からないところを友達や知人に電話で聞く	28 (6.4)	3 (6)	5 (6)	4 (5)	7 (11)	6 (9)	3 (4)
その他	5 (1.1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	1 (2)	1 (2)	0 (0)
無回答	51 (11.6)	14 (26)	15 (17)	10 (12)	2 (3)	6 (9)	4 (5)
その他の記載内容 知らない人に個人情報は知らせない。動画などで解説などを見る。授業では分からない、さらに詳しい事を調べる。勉強の動画を見て、一緒にする。変換で漢字を調べる。							

・全体で、「勉強で分からないことをインターネットで調べる」が278人（63．5%）と多い。
　次いで、「分からないところを友達や知人にLINEなどのSNSで聞く」124人（28．3%）、「勉強系アプリを使用する」96人（21．9%）となっている。

9. スマートフォン等を使用していて、気になることや体調の変化（複数回答）　単位：人（%）

	総数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
特になし	163 (37.2)	23 (43)	30 (34)	29 (35)	25 (38)	27 (42)	29 (36)
視力の低下	129 (29.5)	7 (13)	28 (31)	29 (35)	26 (39)	17 (26)	22 (27)
目が疲れる	103 (23.5)	7 (13)	17 (19)	20 (24)	22 (33)	17 (26)	20 (25)
寝不足	81 (18.5)	6 (11)	13 (15)	10 (12)	18 (27)	12 (18)	22 (27)
姿勢が悪いと言われるようになった	64 (14.6)	3 (6)	19 (21)	13 (15)	11 (17)	8 (12)	10 (12)
夜ふかししてしまう（深夜0時以降）	63 (14.4)	1 (2)	9 (10)	12 (14)	9 (14)	12 (18)	20 (25)
朝起きづらい	55 (12.6)	4 (8)	7 (8)	12 (14)	10 (15)	10 (15)	12 (15)
頭痛、首痛、肩こり等	52 (11.9)	3 (6)	8 (9)	9 (11)	13 (20)	11 (17)	8 (10)
家族や友人との会話が減った	20 (4.6)	2 (4)	4 (4)	3 (4)	4 (6)	5 (8)	2 (2)
腕がしびれる	18 (4.1)	1 (2)	2 (2)	4 (5)	2 (3)	4 (6)	5 (6)
歩きスマホ等を注意される	12 (2.7)	0 (0)	0 (0)	3 (4)	4 (6)	0 (0)	5 (6)
その他	3 (0.7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	1 (2)	0 (0)
無回答	54 (12.3)	14 (26)	16 (18)	10 (12)	3 (5)	7 (11)	4 (5)
その他の記載内容 手がしびれる。不安が多くなった。ネットを利用できないといらいらする。							

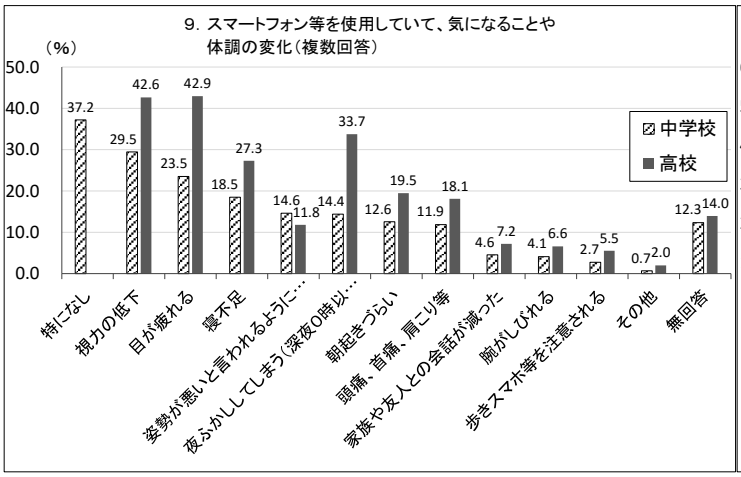
・全体で、「特になし」が163人（37．2%）と多い。
・気になることや体調の変化の中で、「視力の低下」が129人（29．5%）、「目が疲れる」が103人（23．5%）と多い。
・「夜ふかししてしまう」「朝起きづらい」と回答する生徒が1割強いる。

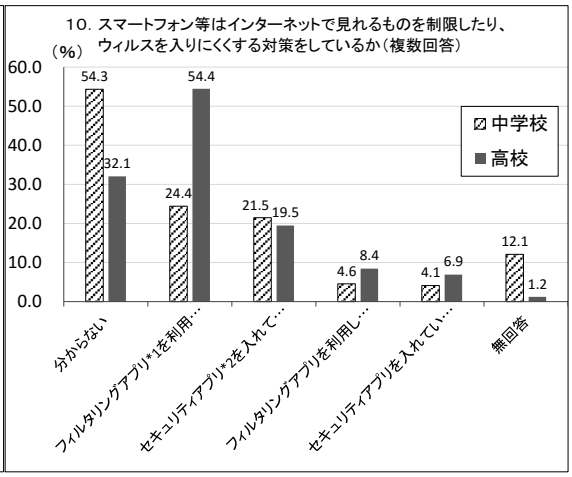
10. スマートフォン等はインターネットで見れるものを制限したり、ウィルスを入りにくくする対策をしているか（複数回答）　単位：人（%）

	総数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
分からない	238 (54.3)	22 (42)	47 (53)	45 (54)	44 (67)	29 (45)	51 (63)
フィルタリングアプリ*1を利用している	107 (24.4)	14 (26)	16 (18)	23 (27)	19 (29)	15 (23)	20 (25)
セキュリティアプリ*2を入れている	94 (21.5)	11 (21)	14 (16)	21 (25)	14 (21)	17 (26)	17 (21)
フィルタリングアプリを利用していない	20 (4.6)	2 (4)	5 (6)	1 (1)	2 (3)	9 (14)	1 (1)
セキュリティアプリを入れていない	18 (4.1)	2 (4)	7 (8)	1 (1)	0 (0)	7 (11)	1 (1)
無回答	53 (12.1)	13 (25)	15 (17)	11 (13)	3 (5)	7 (11)	4 (5)

*1「フィルタリング」＝未成年者にとって、有害なウェブサイトを閲覧できないようにする等の選別をすること。
*2「セキュリティ」＝スマートフォン等のインターネット機器をサイバー攻撃から守り、コンピューターの安全性を確保すること。

・全体で、「分からない」が238人（54．3%）と多い。
・次いで、「フィルタリングアプリを利用している」107人（24．4%）、「セキュリティアプリを入れている」94人（21．5%）と多い。





11. スマートフォン等を使っていて、以下に挙げたことをしたり起こったりしたことがあるか（複数回答）　単位：人（%）

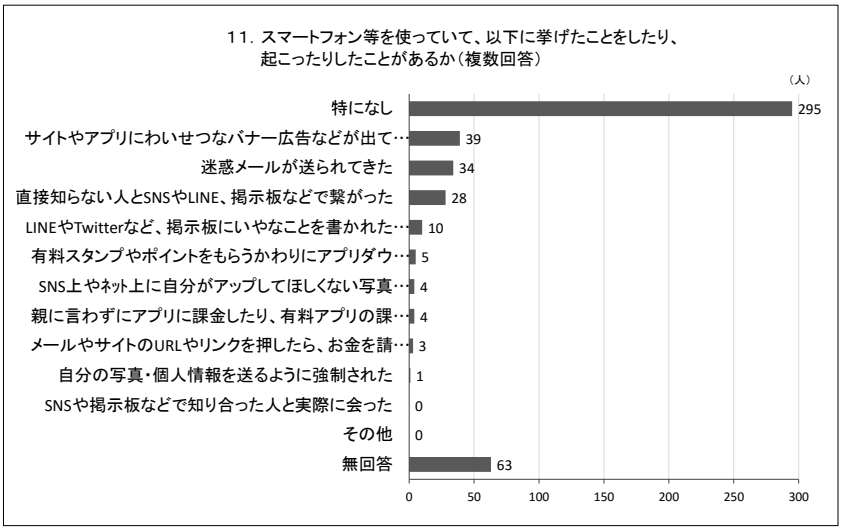
	総数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
特になし	295 (67.4)	33 (62)	57 (64)	60 (71)	45 (68)	44 (68)	56 (69)
サイトやアプリにわいせつなバナー広告などが出てきた	39 (8.9)	3 (6)	6 (7)	6 (7)	12 (18)	7 (11)	5 (6)
迷惑メールが送られてきた	34 (7.8)	3 (6)	9 (10)	5 (6)	7 (11)	3 (5)	7 (9)
直接知らない人とSNSやLINE、掲示板などで繋がった	28 (6.4)	0 (0)	6 (7)	3 (4)	7 (11)	4 (6)	8 (10)
LINEやTwitterなど、掲示板にいやなことを書かれたり、嘘の噂を立てられた	10 (2.3)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	2 (3)	3 (5)	1 (1)
有料スタンプやポイントをもらうかわりにアプリダウンロードや会員登録をした	5 (1.1)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (2)	1 (2)	1 (1)
SNS上やﾈｯﾄ上に自分がアップしてほしくない写真や個人情報をあげられてしまった	4 (0.9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	1 (2)	1 (1)
親に言わずにアプリに課金したり、有料アプリの課金をした	4 (0.9)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (5)	0 (0)
メールやサイトのURLやリンクを押したら、お金を請求される画面が出てきた	3 (0.7)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (2)	0 (0)
自分の写真・個人情報を送るように強制された	1 (0.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)
SNSや掲示板などで知り合った人と実際に会った	0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
無回答	63 (14.4)	14 (26)	17 (19)	12 (14)	4 (6)	9 (14)	7 (9)
その他の記載内容 なし							

・全体で、「特になし」が295人（67．4%）と多い。
・スマートフォン等を使っていて、起こったことの中で、最も多いものは「サイトやアプリにわいせつなバナー広告などが出てきた」39人（8．9%）であった。
・次いで、「迷惑メールが送られてきた」が34人（7．8%）、「直接知らない人とSNSやLINE、掲示板などで繋がった」が28人（6．4%）いた。

12. スマートフォン等の中でお小遣いかせぎや有料のアイテムなどを得るために、したことがある場合、どのような方法で行ったか（複数回答）　単位：人（%）

	総数	中学1年生		中学2年生		中学3年生	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
総数	438 (100.0)	53 (100)	89 (100)	84 (100)	66 (100)	65 (100)	81 (100)
特になし	291 (66.4)	28 (53)	56 (63)	63 (75)	46 (70)	46 (71)	52 (64)
動画の閲覧	65 (14.8)	4 (8)	16 (18)	3 (4)	15 (23)	7 (11)	20 (25)
アンケートに答える	38 (8.7)	3 (6)	6 (7)	3 (4)	9 (14)	9 (14)	8 (10)
アプリダウンロード	26 (5.9)	3 (6)	4 (4)	3 (4)	3 (5)	4 (6)	9 (11)
URLや広告のクリック	17 (3.9)	1 (2)	4 (4)	2 (2)	4 (6)	2 (3)	4 (5)
くじやスクラッチやガチャなどのゲーム要素のもの	15 (3.4)	1 (2)	3 (3)	4 (5)	1 (2)	3 (5)	3 (4)
会員登録	8 (1.8)	2 (4)	1 (1)	1 (1)	3 (5)	0 (0)	1 (1)
その他	2 (0.5)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
無回答	57 (13.0)	14 (26)	17 (19)	13 (15)	2 (3)	7 (11)	4 (5)
その他の記載内容 ポイントサイト、LINEの友だち追加							

・全体で、「特になし」が291人（66．4%）と多い。これは、高校生に比べ4．3%多い。
・スマートフォン等の中でお小遣いかせぎや有料のアイテムなどを得るために、行った方法の中で、最も多いものは「動画の閲覧」が65人（14．8%）である。



編集後記

昭和 55 年 6 月に、より健やかな家庭づくりをめざし、市民憲章実践活動の一環として、市民ぐるみで家庭教育の推進を図るため『羽咋市家庭教育推進協議会』が設立されました。当協議会では市民憲章の普及実践として、「豊かな心で、明るく住みよいまちづくり」のため、『あいさつ運動の推進』『家庭の日の推進』『家庭クリーン運動の推進』の３つの実践事項を掲げています。石川県では毎月第３日曜日を「家庭の日」と定め、家族のふれあいを呼びかけており、羽咋市でもその日を推奨しています。

その結果、平成 19 年度に「家族ふれあいカード」が新規事業として始まり今日に至っています。他の事業につきましても、子どもたちの発達段階に応じた事業が行われ、ご家庭での親子のふれあいを高める効果をもたらしました。40 年の長い歴史の中で、各事業が生まれたり、変化したりすることがあります。これは時代の流れに応じて、現状に合った課題を解決すべく変動していかなければならない事柄だと思います。

昭和に始まり、平成、そして令和に元号が変わった現代においては、高校生一人ひとりがスマートフォン等を持つ時代になりました。かつては、一家に一台あればよかった電話機を個々が所有し自由に使用できるようになり、今では日常生活に欠かせない物になりましたが、これを上手く利用してほしいものです。当協議会では、スマートフォン等のある生活を認めつつ、親子のふれあいを保っていってほしいと願っています。

家庭教育の充実を図るために、長年にわたり多くの関係機関と連携し、多大なる協力をいただきました。これからも次代を担う子どもたちを社会全体で育んでいく意識の醸成を図っていきたいものです。

本誌の執筆、資料や写真の提供などに協力をいただいた皆様に改めて感謝申し上げ、本誌が羽咋市家庭教育推進協議会の更なる発展に少しでも寄与できることと、10 年後の 50 周年に繋がることを祈りながら後書きといたします。

羽咋市家庭教育推進協議会の事務局を担当して、15 年が経ちました。
また、二児の母としてもこの事業に大きく関わらせていただき、親子ふれあいアルバム、ふれあい読書、家族ふれあいカード、家族川柳等を通して親子で楽しみ、数多くの思い出が残っています。これら一つひとつが大切な事業であると個人としても実感いたしました。これから先、子育てに関わる保護者の方々には、是非これらを通して親子のふれあいを持っていただけたらと思います。
子どもたちの心に伝わるとともに、きっと楽しい思い出が残ることでしょう。

（岡田）

羽咋市家庭教育推進協議会
会　長　八島和彦
事務局　滝口一彦、中村茂樹、岡田順子

発　行　羽咋市家庭教育推進協議会

連絡先　羽咋市教育委員会 生涯学習課内
羽咋市家庭教育推進協議会事務局
〒925-8501 羽咋市旭町ア 200
Tel 0767(22)9331　Fax 0767(22)9332
Ｅ-mail：gakusyu@city.hakui.lg.jp

発行：２０２０年２月